

令和4年度 国語科「現代文B」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	園芸・自動車・情処 3年 A・B・C・D組
教科書	標準 現代文B (第一学習社)	副教材等	常用漢字オールクリア (尚文出版)、プリント

1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 重点目標

様々な文章を読み味わうことで読書に対する興味・関心を持たせるとともに、社会生活に必要な語彙力の育成を図る。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	人間と社会	「経験の教えについて」 森本哲郎	論理的な文章を読んで、筆者の考え方やその展開の仕方などについて考えを深める。	作品の内容が理解できたか、語句の理解が正確か、発問・ノート・感想等を通じて確認する。
5		中間考査		
6	小説を読む	「山椒魚」 井伏鱒二	文学的な文章を読んで、自分の生き方やその表現の仕方などについて話し合う。小説に込められた寓意やユーモアのある表現について考えを深める。	小説の内容が理解できたか、語句の意味を把握できたか、発問・ノート・感想等を通じて確認する。
7		期末考査		
9	小説を読む	「こころ」 夏目漱石	文学的な文章を読んで、自分の生き方やその表現の仕方などについて話し合う。人間関係における人物の性格と心情を的確に把握して、人の心のありようについて考えを深める。	小説の内容が理解できたか、語句の理解が正確か、発問・ノート・感想等を通じて確認する。
10		中間考査		

11	小説を読む	「山月記」 中島敦	文学的な文章を読んで、自分の生き方やその表現の仕方などについて話し合う。登場人物の視点に沿いつつ、〈語り手〉が構成する場面の意味を考える。	小説の内容が理解できたか、登場人物の心理を捉えることができたか、発問・ノート・感想等を通じて確認する。
12				
		期末考査		
1	小説を読む	「卒業」 魚住直子	小説を読むおもしろさをあじわい、鑑賞と分析のしかたを身につける。	小説の内容が理解できたか、語句の理解が正確か、発問・ノート・感想等を通じて確認する。
2		学年末考査		
3				

4 評価の観点

関心・意欲・態度	国語を理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じて適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

5 評価の方法

関心・意欲・態度、話す・聞く能力、書く能力、読む能力、知識・理解の5観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

毎時間の板書内容のノートへの書き取りを忘れない、怠らない。ノート提出及び点検があるので、それに備えておく。常用漢字テストではできるだけ得点を重ねられるよう、事前学習を確実にする。プリントや課題の提出をおろそかにしない。以上が十分にできれば、単位修得の可能性は高い。
--

令和4年度 国語科「国語表現（選択科目）」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸・自動車・情処科 3年 A・B・C・D組
教科書	国語表現（大修館書店）	副教材等	常用漢字オールクリア（尚文出版）、プリント

1 学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 重点目標

実践的なコミュニケーションの練習を通じて伝え合う力を高め、社会生活に必要な能力を育成する。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	書いて伝える	整った文を書く 絵や写真を見て書く	文章を書くための基礎を養う。誤りがなく読みやすい文章を書くことで、他者へ伝える力を身につけることを重点とする。 接続詞を的確に使用し、文脈を論理的につなぐ方法を学ぶ。絵や写真を説明できるようにする。	言葉・表現への関心を深め、わかりやすい文を書くための技術を理解できたか、プリント等で確認する。
5	声とコミュニケーション	言葉のストレッチ体操 リーダーズシアターを開こう	「耳を澄ます」「声を人に届ける」「人と言葉を交わす」といったコミュニケーションの基礎的な力を養う。 朗読劇に取り組み、伝えたいことがらや気持ちにふさわしい声の使い方を身につける。	意識を集中して注意深く聞いているか。目的に応じて言葉遣いや表現を工夫しているか確認する。
6	表現力を養う 自己PRと面接	効果的の自己PR 志望動機	自分の特長や魅力を明確に言語化し、印象的に表現できるようにすることに重点を置く。	今後の進路を考えた上で、自分がどのような人間なのかを表現できたか、プリント等で確認する。
7		面接 期末考査	面接でのマナーを学び、質問に対しての具体的な答え方を身につける。	面接のマナーや正しい言葉遣いが身についたか、実践練習やプリント等で確認する。
9	メディアを駆使する	通信文を書き分ける 電話を使いこなす	通信文の書き方と使い分けを学ぶ。改まった場面での電話のやりとりを身につける。メディアの特徴を理解し、吟味しながら活用する。	受け手のことを考え、効果的に伝達するための工夫ができたか。ネットを使ったコミュニケーションについて理解できたか。メディアを知り、活用できたか、プリント等を通じて確認する。
10		ネット社会とコミュニケーション		

11	会話・議論・発表	相手や場面に応じた会話	相手や場面に応じた話し方を学ぶ。集団で議論を重ね、結論を導く。プレゼンテーションの方法とコツを学ぶ。	場面にふさわしい話し方や言葉遣いを身につけられたか。建設的な議論を行えたか。発表を工夫して情報を効果的に伝えられたか、実践における発言やプリント等で確認する。
12		議論して結論を出す		
		プレゼンテーションの工夫		
		期末考査		
1	小論文・レポート入門	小論文とは何か反論を想定して書く	小論文とはどういうもので、表現上どういうことが大切なのかを理解する。対立する立場を想定し、強い説得力をもたせる。	小論文の性質や、基本的な構成、推敲の方法を学ぶことができたか。文章に説得力をもたせられたか、小論文、プリント等で確認する。
2				
3				

4 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
読む能力	
知識・理解	言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。

5 評価の方法

関心・意欲・態度、話す・聞く能力、書く能力、知識・理解、の4観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

毎時間の板書内容のノートへの書き取りを忘れない、怠らない。ノート提出及び点検があるので、それに備えておく。プリントや課題の提出をおろそかにしない。議論で意見発表を積極的に行う。以上が十分にできれば、単位修得の可能性は高い。

令和4年度 国語科「古典A」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	情報処理科 3年 D組
教科書	古典A 物語選 改訂版(大修館)	副教材等	プリント

1 学習の到達目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

2 重点目標

日本や中国の幅広い名作に触れ、古典のおもしろさを味わうと共に、日本の伝統文化に対する理解を深める。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	古文編・説話	「安倍晴明」 今昔物語集 「小野篁広才のこと」 「検非違使忠明のこと」 宇治拾遺物語	説話文学を読解、鑑賞することで、往時の人々の価値観や生活に触れる。	読解、鑑賞は十分にできたか。特に説話の中でどの部分におもしろさや巧みさがあったのか。その理解の度合いはどうかであったか。
5	漢文編・物語	「桃花源記」 陶潜	中国の代表的な古典を読み、不思議な世界にこめられた人間批判について理解する。	
6	古文編・随筆	「すさまじきもの」 枕草子 「行く河の流れ」 方丈記 「家居のつきづきしく」 徒然草	日本の古典の三大随筆を鑑賞し、作者の鋭いものの見方や考え方を理解する。	読解、鑑賞は十分にできたか。特に説話の中でどの部分におもしろさや巧みさがあったのか。その理解の度合いはどうかであったか。
7	漢文編・漢詩	「竹里館」 王維 「春夜」 蘇軾 期末考査	中国の漢詩の名作を鑑賞し、中国文学の世界に触れる。	
9	古文編・物語	「初冠」「関守」 伊勢物語	日本の物語文学の代表的な作品を読み、物語文学の流れを理解する。	読解、鑑賞は十分にできたか。特に説話の中でどの部分におもしろさや巧みさがあったのか。その理解の度合いはどうかであったか。
10		「桐壺」「若紫」 「葵」 源氏物語 「忠度都落ち」 平家物語		

11	漢文編・史伝	「鴻門の会」 「項王の最期」 史記	中国の史伝を読み、英雄の物語について理解する。	読解、鑑賞は十分にできたか。特に説話の中でどの部分におもしろさや巧みさがあつたのか。その理解の度合いはどうであったか。
12				
		期末考査		
1	百人一首	百人一首	和歌について学び、日本の伝統についての理解を深める。	関心・意欲をもって和歌の暗記にとりくめているか。
2				
3				

4 評価の観点

関心・意欲・態度	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。
話す・聞く能力	
書く能力	
読む能力	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。

5 評価の方法

関心・意欲・態度、読む能力、知識・理解、の3観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

毎時間の板書内容のノート・プリントへの書き取りを忘れない、怠らない。ノート・プリント提出及び点検があるので、それに備えておく。提出物をおろそかにしない習慣を身に付ける。以上が十分にできれば、単位修得の可能性は高い。

令和4年度 地歴・公民科「現代社会」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	全科 3年 A組～D組
教科書	「最新現代社会」 (実教出版)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

- ・政治・経済・法制度について学習し、社会の基礎的ルールを理解する。
- ・多くの社会問題への興味関心を育てる。
- ・社会人として必要な基礎的教養を学ぶ。

2 重点目標

- ・良識ある公民として必要な一般常識を身につける。
- ・社会情勢等を認識するために、新聞等のメディアを利用できるようにする。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	私たちの生きる社会 青年期と自己形成	地球環境問題 資源・エネルギー問題 生命科学と情報技術の課題 青年期と自己形成	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学と情報技術の課題について確認する。 ・青年期と自己の課題について学習し、人間として・日本人としてよく生きることについて意見を出し合う。 	ノートやワーク シートの記述点検 発言等の行動観察
5	現代の民主政治と 日本国憲法	民主政治の基本 原理 世界の主な政治 制度 日本国憲法の制 定 平等に生きる権 利 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の世界史で学習した内容を復習する。 ・民主政治の意味について確認する。 ・各国の制度を比較する。 ・日本国憲法の基本原則を確認する。 ・憲法に規定された平等権について学習し、現実に差別が存在することについて意見を出し合う。 	ノートやワーク シートの記述点検 発言等の行動観察 ノートやワーク シートの記述点検
6	現代の民主政治と 日本国憲法	平和主義と我が 国の安全 今日の防衛問題	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法の規定を学習する。 ・視聴覚教材等を利用して、太平洋戦争等の状況を確認する。 ・沖縄の基地等について確認し、沖縄の抱える問題点について意見を出し合う。 	ノートやワーク シートの記述点検 発言等の行動観察 ノートやワーク シートの記述点検
7		政治機構と国会 政党政治と選挙 制度 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・国会のしくみを確認する。 ・模擬政党を作り、模擬投票をおこなう。 	ノートやワーク シートの記述点検 発言等の行動観察
9	現代の経済社会と 国民生活	市場のしくみ 金融の役割 財政の役割と租 税 日本経済のあゆ み 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・経済主体間の流れを理解する。 ・身近な金融機関の役割について意見を出し合い、具体的に理解する。 ・税のしくみを理解する。日本の財政問題を把握する。 ・現在に至る日本経済のあゆみを把握する。 	ノートやワーク シートの記述点検 発言等の行動観察 ノートやワーク シートの記述点検
10				

11		消費者問題 労働問題と労働者の権利 こんにちの労働問題	<ul style="list-style-type: none"> 悪質商法について、具体的に理解する。 これから、社会人として働く時の法的な関係を理解する。 非正規雇用の増加等、労働問題についての興味関心を高める。 	ノートやワークシートの記述点検発言等の行動観察
12	国際社会と人類の課題	社会保障の役割 第二次世界大戦後の国際政治 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 将来避けられない問題である社会保障について、現在の状況及び将来の展望を把握する。 現在の国際状況の中で、安全を確保するためにはどうすれば良いのかを考察する。 	ノートやワークシートの記述点検発言等の行動観察
1	国際社会と人類の課題	経済協力と日本の役割 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> 世界的な規模での貧困問題に関して確認する。 	ノートやワークシートの記述点検発言等の行動観察

4 評価の観点

関心・意欲・態度	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を探究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。
思考・判断・表現	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。
技能	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通じて収集し、有用な情報を適切に選択、活用した学び方を身に付けている。
知識・理解	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。

5 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能、知識・理解の4観点から評価基準に従い、総合的に評価する。
--

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

ルールを守って授業に参加することが重要である。これから社会の一員として生活していくために、世の中の状況を的確に把握し、判断を下す事が出来る知識、技能や、より良い生活を目指す意欲を身に付けられるようにしよう。

令和4年度 数学科「数学A」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科・自動車科・情報処理科 3年 A,B,C,D組
教科書	高校数学A (実教出版)	副教材等	担当者による自作プリント

1 学習の到達目標

順列と組合せ，確率，整数の性質について学ぶ。どの項目も数学 I との関連性はそれほど強くないが，出来るだけ身近な例と関連させながら，小・中学校で学習した基礎事項を適宜復習して進め，数学的な考えを身につける。

2 重点目標

数学的な考え方を使って，問題を解決できるようにする。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 順列と組合せ 1 集合	①集合と要素	<ul style="list-style-type: none"> ・数学における集合の意味を理解する。 ・部分集合，全体集合と補集合，共通部分と和集合，空集合について学ぶ。 ・集合の要素の個数を学ぶ。 	行動観察 ワークシート分析
5	2 順列	①和の法則と積の法則 ②順列	<ul style="list-style-type: none"> ・場合の数を求めるときの基本法則として和の法則，積の法則を理解する。 ・順列の意味を理解し，順列の式の見方や考え方を理解する。 ・円順列や重複順列について学ぶ。 	
		中間考査		
6	3 組合せ	③組合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・組合せの意味を理解する。 ・組合せの総数の公式を理解する。 ・組合せの簡便な計算方法を学ぶ。 	行動観察 ワークシート分析
7			<ul style="list-style-type: none"> ・最短距離の道順の総数の求め方を学ぶ。 	
		期末考査		
9	第2章 確率 1 確率とその基本性質	①事象と確率(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・身の周りにおける確率を学ぶ。 ・試行や事象の意味を理解し，確率の基本的な考え方を学ぶ。 ・組合せの確率を学ぶ。 	行動観察 ワークシート分析
10		②事象と確率(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・排反事象の確率を学ぶ。 ・余事象の確率を学ぶ。 ・和事象の確率を学ぶ。 	
		③独立な試行と確率	<ul style="list-style-type: none"> ・独立な試行の確率を学ぶ。 	
		④反復試行の確率	<ul style="list-style-type: none"> ・反復試行の確率を学ぶ。 	
		中間考査		

11	第3章 整数の性質 1 整数の性質	⑤条件つき確率 ①倍数と約数 ②素数と素因数分解 ③最小公倍数と最大公約数	<ul style="list-style-type: none"> 条件つき確率を学ぶ。 乗法定理を学ぶ。 約数と倍数を学ぶ。 素数と素因数分解を学ぶ。 最小公倍数と最大公約数を学ぶ。 	行動観察 ワークシート分析
12	2 ユークリッドの互除法と不定方程式 3 整数の性質の活用	⑤2つの整数の最小公倍数と最大公約数 ②ユークリッドの互除法 ①2進法の仕組み ②分数と小数 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 最小公倍数と最大公約数の関係を学ぶ。 ユークリッドの互除法を学ぶ。 2進法を学ぶ。 有限小数と循環小数を学ぶ。 	
1	第4章 図形の性質 2 三角形の性質 3 円の性質	①三角形の角 ②三角形と線分の比 ③三角形の外心・内心・重心 ①円周角 ③円と四角形 ④方べきの定理 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の内角と外角を学ぶ。 平行線と線分の比, 中点連結定理, 角の2等分線と線分の比について学ぶ。 外心, 内心, 重心について学ぶ。 円周角の定理, 接線と弦のつくる角を学ぶ。 円に内接する四角形を学ぶ。 方べきの定理を学ぶ。 	行動観察 ワークシート分析

4 評価の観点

関心・意欲・態度	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。
思考・判断・表現	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通じて、場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質における数学的な見方や考え方を身に付けている。
技能	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。

5 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「数学的な見方や考え方」、「数学的な技能」、「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>授業は集中して聞き、ノートをきちんと取って下さい。</p> <p>数学は、反復練習が大切なので問題練習にきちんと取り組んで、できるだけたくさん問題を解いて下さい。</p> <p>また、ノートやプリント等の提出物はしっかり提出すること。</p> <p>長期休業等の課題なども平常点に加算しますので、必ず提出すること。</p>
--

令和4年度 理科「生物総合」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科 情報処理科 3年 A,B,D 組
教科書	改訂新生物基礎(第一学習社)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高める。
 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てる。
 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2 重点目標

生物総合で学習する生物現象は、日常生活や社会と関連しているということに気がつく。
 授業を通して、自分自身(ヒト)の体の中での出来事に興味を持つ。
 目に見える世界だけでなく、目には見えないマイクロワールドの世界にも興味を持つ。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第3章 体内環境と恒常性	体内環境の調整の仕組み 自律神経系の働き	・ヒトのからだでは、自律神経系と内分泌系の働きによって、体内環境の状態が一定に維持されていることを理解する。	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 ワークシート 提出物 ノート 小テスト 考査
		第2節 体内環境を維持するしくみ	・自律神経系の分布と各器官における作用を理解する。 ・ホルモンの概要と各ホルモンの働きを理解する。 ・血糖濃度の調節 ・体温の調節	
5		血糖濃度の調節 体温の調節 中間考査	・血糖量の調節のしくみと糖尿病について理解する。 ・体温調節のしくみについて理解する。	
6	第3節 生体防御	生体防御	・免疫を担う細胞や器官の種類と働きの概要を理解する。	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 ワークシート 提出物 ノート 小テスト 考査
		自然免疫 獲得免疫 免疫と医療	・自然免疫が獲得免疫を誘導することについて理解する。 ・獲得免疫の流れと抗体の働きと二次応答について理解する。 ・アレルギーや自己免疫疾患、エイズなどが生じるしくみについて理解する。 ・予防接種や抗体を用いた医療と拒絶反応が起こるしくみについて理解する。	
7		免疫と医療 期末考査		
9	第4章 植生の多様性と生態系	植物と環境	・環境と生物の関わりと、植物について光の強さと光合成速度の関係を、理解する。	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 ワークシート 提出物 ノート 小テスト 考査
10	第1節 植生と遷移	さまざまな植生 植生の遷移	・陸上の植生について、階層構造などの森林の特徴を理解する。 ・遷移について、土壌や光環境などに着目して理解する。	
11	第2節 気候とバイオーム	気温・降水量とバイオーム 世界のバイオーム 中間考査	・気温と降水量の違いによってさまざまなバイオームが成立していることを理解する。 ・世界のバイオームの種類と分布から、生育する植物が環境に適応しているものであることを理解する。	
12	第3節 生態系と物質循環	日本のバイオーム 生態系 生態系の物質循環とエネルギーの流れ 物質循環	・日本のバイオームの水平分布と垂直分布を理解する。 ・生態系における食物連鎖と、栄養段階について理解する。 ・生物間での物質の循環とエネルギーの流れを理解する。 ・生態系において重要な、炭素及び窒素の循環と人間活動などの関わりについて理解する。	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 ワークシート 提出物 ノート

		期末考査	小テスト 考査
1	第4節 生態系のバ ランスと保全	生態系のバランス 人間活動と生態系	授業態度 授業への取り組 み 発問に対する対 応 ワークシート 提出物 ノート 小テスト
2		生態系の保全	
3		<ul style="list-style-type: none"> 生態系のバランスが食物連鎖などによって保たれていることを理解する。 人間活動が水質や大気に影響を及ぼし、地球温暖化など引き起こされていることを理解する。 森林の減少や、外来生物による生態系への影響を理解する。 森林の回復や外来種の駆除、絶滅危惧種の保護など、人間が行える生態系の保全方法について理解する。 	

4 評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、 生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身につけている。
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
技 能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物、現象を科学的に探究する技能を身につけている。
知 識 ・ 理 解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。

5 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能および知識・理解の4観点から総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

・ 自他の生命時間を奪う行為をしないこと。

・ 授業は生物室で行います。

・ 移動が大変ですが、チャイムと共に始められるように、教科書、ノート、プリント、筆記用具を持ってチャイムと共に始められるようにしてください。

・ 勝手な座席の移動はしないこと

・ 生物室は飲食物の持ち込み禁止です。(コロナ対策)

私語は、他の人の勉強時間を奪います

無断で行う行為は周りの人の注意力を奪い、その分、命を削る行為です。

・ **提出物は期限までに出すこと。**

提出期限を過ぎただけ命は削られます。

復習を行い、分からないこと、理解できないことはすぐに先生に質問するなどして、わからないままにしておかないでください。

授業は集中して聞いて、必ずノートを取ってください。

ノートやプリント等の提出物をしっかり提出してください。

復習を行い、分からないこと、理解できないことはすぐに先生に質問するなどして、わからないままにしておかないでください。

授業は集中して聞いて、必ずノートを取ってください。ノートやプリント等の提出物をしっかり提出してください。

令和4年度理科「化学基礎」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科・情報処理科 3年 A・B・D 組
教科書	高等学校 新化学基礎 (第一学習社)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化への関心を高める。
- ・目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てる。
- ・化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

2 重点目標

物質とその変化についての関心を高め、化学的観点から自然を理解する態度・能力を養う。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 第1節 物質とその構成要素	物質の成分と分離 化合物と単体・元素 原子の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の成分を理解し、その分離方法を学ぶ。 ・単体と化合物の違いを学ぶ。 ・原子の構造と原子配置を学ぶ。 ・原子の周期性を理解して、周期表の成り立ちを学ぶ。 	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
5		原子の電子配置 元素の周期律と周期表 中間考査		
6	第2節 物質と化学結合	イオン イオンからできる物質 共有結合	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンの状態を学ぶ。 ・イオンからできている物質を学ぶ。 ・イオンとは異なる共有結合を学ぶ。 	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
7		期末考査		
9		原子の構造 分子からできる物質 共有結晶 金属結合、金属の利用 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の構造・電子配置を学ぶ。 ・分子の構造とその構成方法を学ぶ。 ・金属の構造を学ぶ。 ・実際の生活の中で金属の使用に関する知識を学ぶ。 	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
10				
11	第2章 第1節 物質質量と化学反応式	原子量、分子量 物質質量	<ul style="list-style-type: none"> ・原子、分子の相対質量を学ぶ。 ・化学の基本である物質質量（モル）を学ぶ。 	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
12		期末考査		
1		溶解度 化学変化と化学反応式 化学反応式と量的関係 化学反応における法則	<ul style="list-style-type: none"> ・固体、気体の溶解に関することを学ぶ ・原子、分子が起こす変化（化学反応）を学ぶ。 ・化学変化における量的関係を学ぶ。 	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート

4 評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
技能	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

5 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しい事項など)

- ・授業に積極的に参加し、有意義なものにしてください。
- ・ノートをつくり、ノートをしっかりととること。
- ・ノート、課題などの提出物は、きちんと仕上げ、確実に提出すること。
- ・復習し、基本事項をしっかりと定着させてください。

令和4年度 理科「物理基礎」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	自動車科 3 年 C 組
教科書	高等学校 新物理基礎 (第一学習社)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高める。
- ・目的意識を持って観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てる。
- ・物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

2 重点目標

専門の工業で学んでいる内容と、物理学の基本的な概念や原理・法則を関係させながら、物理の理解が深められるようにする。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第2章 エネルギー 第2節 熱とエネルギー	1 温度と熱運動	<ul style="list-style-type: none"> ・熱や温度の概要を学ぶ。 	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
5		2 熱と熱平衡	<ul style="list-style-type: none"> ・温度・熱運動・熱量・比熱・熱容量について学ぶ。 ・熱量の保存について学ぶ。 ・物質の三態や熱膨張について学ぶ。 	
6		中間考査		
7		3 熱と仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュールの実験について学ぶ。 ・熱力学第一法則について学ぶ。 	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
7	4 エネルギーの変換と保存	<ul style="list-style-type: none"> ・熱現象の不可逆性について学ぶ。 ・エネルギー保存の法則について理解する。 		
9	第3章 波動 第1節 波の性質	1 波と媒質の運動	<ul style="list-style-type: none"> ・波の発生と伝わり方について学ぶ。 ・波長や周期、振動数などの波の要素について学び、基本的な関係式を理解する。 	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
10		2 波の伝わり方	<ul style="list-style-type: none"> ・波の独立性と波の重ね合わせについて学ぶ。 ・波の反射について学ぶ。 	
10	第2節 音波	1 音の速さと音の3要素	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な音の現象を知る。 ・音の伝わり方について学ぶ。 ・音の3要素や超音波などについて知る。 	
		中間考査		

11		2 波としての音の性質	・音の反射、うなりについて学ぶ。	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
		3 弦の固有振動	・固有振動、共振を学ぶ。 ・弦でおこる固有振動について学ぶ。	
		4 管の固有振動	・管内での空気の固有振動について学ぶ。	
12	第4章 電気 第1節 電荷と電流	1 電荷	・静電気について理解を深める。	
		期末考査		
1		2 電流と電気抵抗	・電流とそれに関する規則について学ぶ。	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
		3 物質と抵抗率	・物質による電気の導きについて理解を深める。	
		4 直流回路	・直流回路の理解を深める。	

4 評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。
思考・判断・表現	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程と通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
技 能	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。
知 識 ・ 理 解	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。

5 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能および知識・理解の4観点から総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に参加し、有意義なものにしてください。 ・ノートをつくり、ノートをしっかりとること。 ・ノート、課題などの提出物は、きちんと仕上げ、確実に提出すること。 ・復習し、基本事項をしっかりと定着させてください。
--

令和4年度 理科「物理基礎」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科 3 年 A・B 組
教科書	高等学校 新物理基礎 (第一学習社)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高める。
- ・目的意識を持って観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てる。
- ・物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

2 重点目標

日常生活や身の回りにあるさまざまな自然現象を物理学的観点から理解しようとする態度・能力を養う。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 力と運動 第1節 物体の運動	1 速度 2 加速度	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な物体の運動と力の関係について概略を知る。 ・物体の運動の様子の表し方を知る。 ・速度・加速度など運動に関する物理量を知る。 ・等速直線運動の取り扱い方を学ぶ。 	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
5		中間考査		
6		3 落体の運動	<ul style="list-style-type: none"> ・等加速度直線運動の取り扱い方について学ぶ。 ・落下する物体の運動について学ぶ。 	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
7		期末考査		
9	第2節 運動の法則	1 力とそのはたらき 2 力のつりあい	<ul style="list-style-type: none"> ・力の性質を学ぶ。 ・力のつりあいについて理解を深める。 	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
10		3 運動の法則 4 摩擦力	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュートンの運動の三法則を学び、物体の運動がこの法則から説明できることを理解する。 ・摩擦力について詳しく学ぶ。 	
		中間考査		

11	第2章 エネルギー 第1節 仕事と力学的エネルギー	1 仕事	・仕事について学ぶ。	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
12		2 運動エネルギー	・エネルギーの考え方について学ぶ。 ・運動エネルギーについて学ぶ。	
		3 位置エネルギー	・位置エネルギーについて学ぶ。	
		4 力学的エネルギーの保存	・力学的エネルギー保存の法則について学ぶ。	
		期末考査		
1	第2節 熱とエネルギー	1 温度と熱運動	・熱や温度の概要を学ぶ。	授業態度 授業への取り組み 発問に対する対応 課題プリント レポート
		2 熱と熱平衡	・温度・熱運動・熱量・比熱・熱容量について学ぶ。 ・熱量の保存について学ぶ。	

4 評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。
思考・判断・表現	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
技 能	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。
知 識 ・ 理 解	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。

5 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能および知識・理解の4観点から総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・授業に積極的に参加し、有意義なものにしてください。
- ・ノートをつくり、ノートをしっかりととること。
- ・ノート、課題などの提出物は、きちんと仕上げ、確実に提出すること。
- ・復習し、基本事項をしっかりと定着させてください。

令和4年度 理科「理科課題研究」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	情報処理科 3 年 D 組
準教科書	新生物基礎 (第一学習社)	副教材等	科学と人間生活 (数研出版)

1 学習の到達目標

科学に関する課題を設定する。
 観察・実験などを通して研究を行う。
 科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、創造性の基礎を養う。

2 重点目標

日常生活をとりまくさまざまな現象について、自分なりに課題を見だし、探究する姿勢を養う。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	序章 「見る」技術の広がり 1 視覚の世界 2 見るという能力 3 見る世界の拡大 4 大宇宙～小宇宙へ 5 視覚化の発達 6 人間生活の変化		<ul style="list-style-type: none"> ・「見る」技術における科学 と人間生活とのかかわりを理解する。 	行動観察
				ワークシート分析 実験レポート分析
5	第1編 物質の科学 1章 金属プラスチックとその再利用 2章 衣料と食品		<ul style="list-style-type: none"> ・金属・プラスチックについて理解する。 ・衣料・食品について理解する。 	
				研究テーマの選考レポート
6	第2編 生命の科学 1章 生物と光 2章 微生物とその利用	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・生物、光と人間生活とのかかわりを理解する。 ・微生物について理解する。 ・1年生の復習 ・顕微鏡による観察 ・繊維と染色を学ぶ。 ・発酵について学習する。 	
				研究テーマの選考レポート
7	第3編 熱や光の科学 1章 熱の性質 2章 光の性質		<ul style="list-style-type: none"> ・熱についてその性質を理解する。 ・光についてその性質を理解する。 	行動観察
				ワークシート分析 実験レポート分析
7	第4編 地球や宇宙の科学 1章 自然景観と自然災害 2章 太陽系における地球	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観や自然災害の特徴等を理解する。 ・太陽系、天体について理解する。 ・1年生の復習 	研究テーマの選考レポート
				<p>※上記の教科書の観察・実験や1年時には行えなかった実験等教員の演示する基礎実験等を学び、自分の研究テーマの参考にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを自分で設定する。 ・学習したことをもとにして、身の回りの現象や自然観察の中から自分の研究する題材を取り上げること目標にする。

			※1 学期は基礎実験等をクラス全体で行い、自分の研究テーマを選ぶ参考とする。中間・期末の単元を分けずに適宜行う。	
9 10	これからの科学と人間生活 ・科学が人間生活に与える影響	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術と人間生活とのかかわりを理解する。 ・研究テーマを探究する為に、具体的にはどのようなことを調べたらよいかを考える。 ・レポートの書き方を理解する。 ・設定した研究テーマに対して、どのような課題が考えられるのか、それを探究するための方法などを検討する。 ・さまざまなアイデアの中で、自分たちにできるものは何か、ということを考える。 ・課題研究 特定の自然の事物・現象に対する研究、先端科学や学際的領域に関する研究、自然の調査に関する研究、科学を発展させた実験に関する研究等を内容する。 	行動観察 ワークシート分析 文献学習 質疑応答・討論 レポート分析 レポート
11 12		期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究 特定の自然の事物・現象に対する研究、先端科学や学際的領域に関する研究、自然の調査に関する研究、科学を発展させた実験に関する研究等を内容する。 	行動観察 ワークシート分析 レポート
1	課題研究のまとめ		<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して調査・研究を行ってきたことを、他の人に理解できるようにまとめる。 ・各自の研究を発表する。 	レポート提出 発表

4 評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら科学に関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	科学に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。
技 能	科学に関する考察し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知 識 ・ 理 解	科学について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

5 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

興味を持ち、自ら探究する態度が求められます。積極的に動く意欲や、自分と周りの事象を捉える能力が必要です。最終的に自分の研究の発表を目標にしています。計画的に進めていくことが大切です。

令和4年度 保健体育科「体育」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	全学科 3年 A～D組
教科書		副教材等	

1 学習の到達目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 重点目標

- ・自主的活動を基本とし、他と協力して積極的に授業を進める。
- ・体を動かす楽しさを感じ、生涯スポーツに繋げる。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体づくり運動	体ほぐしの運動	心と体は互いに影響し変化することに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行える。	行動観察 発言内容
	球技	ゴール型 ネット型 ベースボール型	球技、武道、ダンスから1種目選択 ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。 ・ベースボール型では状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。	行動観察 発言内容 スキルテスト
5	武道	柔道	相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防を展開する。	行動観察 発言内容 スキルテスト
	ダンス	創作ダンス 現代的なリズムのダンス	・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、対極の動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊る。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して、全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊る。	行動観察 発言内容 スキルテスト
6	体育理論	各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方	スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することを学習する。	ワークシート 分析 発言内容
7		スポーツ振興のための施策と諸条件 スポーツと環境	生涯にわたってスポーツを継続するためには、自己に適した運動機会をもつこと、施設などを活用して活動の場をもつこと、ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方を見付けることなどが必要であることを学習する。 スポーツの振興は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることを学習する。 スポーツを行う際は、スポーツが環境にもたらす影響を考慮し、持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること。	
9	体づくり運動	体力を高める運動	自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組む。 ・疲労回復、体調維持、健康の保持増進をねらいとして、卒業後も継続可能な手軽な運動の計画を立てて取り組む。	行動観察 発言内容
10	球技	ゴール型 ネット型 ベースボール型	球技、武道、ダンスから1種目選択 ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。 ・ベースボール型では状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。	行動観察 発言内容 スキルテスト
11	武道	柔道	柔道では、相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりする	行動観察 発言内容 スキルテスト
12				

	ダンス	創作ダンス 現代的なリズムのダンス	などの攻防を展開する。 ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊る。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して、全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊る。	ト 行動観察 発言内容 スキルテスト ワークシート 分析 発言内容
	体育理論	各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方 スポーツ振興のための施策と諸条件 スポーツと環境	スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することを学習する。 生涯にわたってスポーツを継続するためには、自己に適した運動機会をもつこと、施設などを活用して活動の場をもつこと、ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方を見付けることなどが必要であることを学習する。 スポーツの振興は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることを学習する。 スポーツを行う際は、スポーツが環境にもたらす影響を考慮し、持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること。	
1	体づくり運動	体ほぐしの運動	心と体は互いに影響し変化することに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行える。	行動観察 発言内容
2	球技	ゴール型 ネット型 ベースボール型	球技、武道、ダンスから1種目選択 ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。 ・ベースボール型では状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。	行動観察 発言内容 スキルテスト
	武道	柔道	相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防を展開する。	行動観察 発言内容 スキルテスト
3	ダンス	創作ダンス 現代的なリズムのダンス	・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊る。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して、全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊る。	行動観察 発言内容 スキルテスト

4 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。
技 能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・理解	選択した運動の技能の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

5 評価の方法

実技全般に、運動の技能や態度、楽しさや安全な学習態度であったかを考慮し、スキルテスト・参加意欲・参加態度・審判法ルールの理解度等を4観点から総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・体育にとって必要なことは、基礎的な知識、技能のもとに意欲をもってスポーツを実践することです。体力の向上を目指し、日頃の運動の実践に心がけましょう。 ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけてください。 ・授業はチャイムと同時に開始しますので、活動場所への移動は休み時間の内に完了するようにしてください。また、授業見学は授業担当者に申し出て指示を受けてください。 ・貴重品の管理をしっかりと行い、授業に関係のないものは持ち込まないようにしてください。 ・体育は実技を行う授業ですので、怪我等の安全には十分留意してください。また、装飾品は絶対に身に付けしないでください。
--

令和4年度 外国語科「コミュニケーション英語Ⅰ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	全学科 3年ABCD組
教科書	All Aboard! English Communication I (東京書籍)	副教材等	アクセスアンカー英和辞典 (学習研究社)

1 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2 重点目標

聞いたり読んだりした事柄について積極的に理解しようとしたり、情報や考えなどを積極的に伝えようとする。

3 学習の計画

月	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	Lesson7 Living on Ice コウテイペンギンの世界	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅の危機に直面しているコウテイペンギンについての説明文を読み、地球温暖化の影響について考える。 ・現在完了形の基本的な用法について理解する。 	活動観察 ワークシート 小テスト
5	中間考査		
6	Lesson 8 Building Trust in Space 若田光一	<ul style="list-style-type: none"> ・国際宇宙ステーションの船長となった若田光一さんについての情報を読み、船長の重要な職務に対する若田さんの考えを学ぶ。 ・It の基本的な用法について理解する。 	活動観察 ワークシート 小テスト
7	文法のまとめ3	<ul style="list-style-type: none"> ・受け身 / 現在完了形 / it の用法 / 文の構造について理解する。 	
7	期末考査		
9	Lesson 9 Pigs from across the Sea 海の向こうからの贈り物	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の沖縄の惨状とそれを救おうとしたハワイの日系アメリカ人について学ぶ。 ・関係代名詞の基本的な用法について理解する。 	活動観察 ワークシート 小テスト
10	中間考査		
11	Lesson 10 I Am Malala すべての子供に教育を	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で教育を受ける権利について立ち上がった少女マララさんと彼女の考えについて学ぶ。 ・比較表現の基本的な用法について理解する。 	活動観察 ワークシート 小テスト
12	期末考査		
1	Reading 2 Alone 【授業内テスト】	<ul style="list-style-type: none"> ・仲良しのガマ君 (Toad) とカエル君 (Frog) の友情についてのストーリーを読み、場面や心情を読み取る。 	活動観察 ワークシート 小テスト

4 評価の観点

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、自分の考えなどを適切に伝えている。
外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
言語や文化についての知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

5 評価の方法

コミュニケーションへの関心・意欲・態度、外国語表現の能力、外国語理解の能力、言語や文化についての知識・理解の4観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

◎授業について

1. 英語の授業は、体育や芸術の授業と似ています。教師が黒板に書き、それを皆さんがノートに書き写すだけではなく、皆さん自身が積極的に参加して初めて成立する授業と言えます。少しだけ行動する勇気を持って参加してください。
2. NO 欠席, NO 遅刻, NO 未提出, NO おしゃべり, FULL 活動, FULL MARKS。これがBESTです。

◎評価について

1. 年4回の定期考査
2. 授業内で行う音読テスト, 書き取りテスト, 聞き取りテスト, インタビューテストなど
3. 課題や提出物(ノート・プリント)の提出状況とその内容
4. 授業への取組み, 出席状況など

上記1～4を総合的に判断して評価します。評価の割合は、1については60～70%、2～4についてはトータルで30～40%を標準とします。ただし、2～4の個々の割合は科目の特性や授業の実施状況に応じて変化するものとします。

令和4年度 外国語科「英語表現I」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	全学科 3年ABCD組 選択
教科書	Revised BIG DIPPER English Expression I (数研出版)	副教材等	アクセスアンカー英和辞典 (学習研究社)

1 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

2 重点目標

身近な事柄について、情報や考えなどを積極的に理解したり適切に伝えたりしようとする。

3 学習の計画

月	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	Part I		
	Lesson 1 はじめに①	<ul style="list-style-type: none"> ・「だれが」「～する」をはっきりと表現する。 ・英文の基本構造(主語+動詞+...)や it の用法について理解する。 	活動観察 ワークシート インタビュー 発表 小テスト
	Lesson 2 はじめに②	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な動詞を用いて表現する。 ・there is 構文について理解する。 	
Lesson 3 はじめに③	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞の数などに気をつけて表現する。 ・名詞(可算・不可算)や冠詞について理解する。 		
5	Lesson 4 My Friends	<ul style="list-style-type: none"> ・肯定文, 否定文, 疑問文について理解する。 	
	中間考査		
6	Lesson 5 My Family	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形と現在進行形について理解する。 ・過去形と過去進行形について理解する。 	活動観察 ワークシート インタビュー 発表 小テスト
	Lesson 6 Pastime	<ul style="list-style-type: none"> ・未来表現について理解する。 ① be doing / be going to do ② will [単純未来・意志未来] 	
	Lesson 7 My Town	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形や現在完了進行形について理解する。 ① 現在完了形[完了・結果, 経験] ② 現在完了[継続]・現在完了進行形 	
	Lesson 8 Our Teachers	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞について理解する(1)。 ① can[可能・許可] ② may/must[推量] 	
7	期末考査		
9	Lesson 9 Visiting a Museum	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞について理解する(2)。 ① should/must[提案・義務, 必要] ② Will you ~?[依頼] / Shall I ~?[提案] 	活動観察 ワークシート インタビュー 発表 小テスト
	Lesson 10 Famous People	<ul style="list-style-type: none"> ・文型について理解する。 ① <SVC>/<SVO> ② <SVOO>/<SVOC> 	
	Lesson 11 Reading	<ul style="list-style-type: none"> ・受け身について理解する。 ① be 動詞+過去分詞 ② be known to / be satisfied with, etc. 	
10	Lesson 12 Studying Abroad	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞について理解する(1)。 ① 名詞的用法 ② how to do/形容詞的用法 	
	中間考査		

11	Lesson 13 Advice	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞について理解する(2)。 ① 副詞的用法 ② ask ~ to do/ see ~ do[原形不定詞], etc. 	活動観察 ワークシート インタビュー 発表 小テスト
	Lesson 14 Hobbies	<ul style="list-style-type: none"> 動名詞について理解する。 ① 名詞的用法/意味上の主語 ② to-不定詞と動名詞 	
	Lesson 15 My Vacation	<ul style="list-style-type: none"> 分詞について理解する。 ① 形容詞的用法 ② go doing / see O doing, etc. 	
	Lesson 16 In a Zoo	<ul style="list-style-type: none"> 比較表現について理解する(1)。 ① as ~ as ... / not as ~ as ... ② ~er than ... / more ~than ... 	
12	期末考査		
1	Lesson 17 Our Team	<ul style="list-style-type: none"> 比較表現について理解する(2)。 ① the ~est/the most ~ ② twice as ~ as ... / as ~ as possible 	活動観察 ワークシート インタビュー 発表 小テスト
	Lesson 18 Neighbors	<ul style="list-style-type: none"> 関係詞について理解する(1)。 ① who, which [主格] ② whom, which [目的格] 	
	Lesson 19 Speeches	<ul style="list-style-type: none"> 関係詞について理解する(2)。 ① what/what we call ② where, when [関係副詞] 	
	【授業内テスト】		

4 評価の観点

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
外国語表現の能力	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。
外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
言語や文化についての 知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

5 評価の方法

コミュニケーションへの関心・意欲・態度、外国語表現の能力、外国語理解の能力、言語や文化についての知識・理解の4観点から、評価規準に従い総合的に評価する。
--

6 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>◎授業について</p> <ol style="list-style-type: none"> 英語の授業は、体育や芸術の授業と似ています。教師が黒板に書き、それを皆さんがノートに書き写すだけではなく、皆さん自身が積極的に参加して初めて成立する授業と言えます。少しかだけ行動する勇気を持って参加してください。 NO 欠席, NO 遅刻, NO 未提出, NO おしゃべり, FULL 活動, FULL MARKS。これがBESTです。 <p>◎評価について</p> <ol style="list-style-type: none"> 年4回の定期考査 授業内で行う音読テスト, 書き取りテスト, 聞き取りテスト, インタビューテストなど 課題や提出物(ノート・プリント)の提出状況とその内容 授業への取組み, 出席状況など <p>上記1~4を総合的に判断して評価します。評価の割合は, 1については60~70%, 2~4についてはトータルで30~40%を標準とします。ただし, 2~4の個々の割合は科目の特性や授業の実施状況に応じて変化するものとします。</p>
--

令和4年度 外国語科「英語表現Ⅰ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	情報処理科 3年D組 選択
教科書	BIG DIPPER English Expression I (数研出版)	副教材等	アクセスアンカー英和辞典 (学習研究社)

1 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

2 重点目標

身近な事柄について、情報や考えなどがある程度適切に理解したり伝えたりすることができる。

3 学習の計画

月	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	PART2 Lesson 1 School Life	勧誘する、提案する ① Would you like to ~? ② Why don't we ~? ③ How about ~?	行動観察 ワークシート分析 インタビュー 発表 小テスト
	Lesson 2 School Subjects	依頼する、理由を聞く・述べる ① Will you ~? / Can you ~? ② Why ~? / Because....	
5	Lesson 3 Free Time	確認する、訂正する ① ~, isn't she? / actually ② You mean ~?	
	中間考査		
6	Lesson 4 Feeling Well?	心配する、助言する ① What's the matter? ② You'd better ~ ③ I think you should ~	行動観察 ワークシート分析 インタビュー 発表 小テスト
	Lesson 5 Housework	義務・必要を述べる ① need to ~ ② (don't) have to ~ ③ be supposed to ~	
	Lesson 6 The Internet Is Fun	期待・確信を述べる ① can't wait to ~ ② look forward to ~ ③ be certain[sure] ~	
7	期末考査		
9	Lesson 7 I've Lost Your Book	謝罪する、謝罪に応じる ① I'm sorry ~ ② Excuse me for ~, etc.	行動観察 ワークシート分析 インタビュー 発表 小テスト
	Lesson 8 Planning a Trip	計画する、予定する ① be planning to ~ / be going to ~ ② be thinking of ~	
10	Lesson 9 Experiences Abroad	感想を尋ねる・述べる ① How did you like ~? / I found ~ ② My best experience was ~	
	中間考査		

11	Lesson 10 Exchange Students	程度・結果を述べる ① so ~ that ... ② enough to ~	行動観察 ワークシート分析 インタビュー 発表 小テスト
	Lesson 11 I Want to Be a ...	願望・目的を述べる ① What do you want to ~?/in order to ~, etc. ② have a dream of ~	
	Lesson 12 Cheer Up Your Friend	同情する, 励ます ① What's bothering you?/I'm very sorry to hear ~/I hope ~, etc.	
12	期末考査		
1	Lesson 13 Farewell Party	感謝する, 喜ぶ ① I'm really grateful to ~ ② I'm glad ~, etc.	行動観察 ワークシート分析 インタビュー 発表 小テスト
	Lesson 14 Saving Resources	賛成する, 反対する ① agree with/be in favor of[against] ~, etc. ② I agree, etc.	
	Lesson 15 Social Problems	意見を尋ねる・述べる ① How do you feel about ~?, etc. ② It seems to me that ~, etc. ③ In my opinion, ~, etc.	
	【授業内テスト】		

4 評価の観点

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち, 積極的に言語活動を行い, コミュニケーションを図ろうとする。
外国語表現の能力	事実や意見などを多様な観点から考察し, 論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。
外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして, 情報や考えなどを的確に理解している。
言語や文化についての知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに, 言語の背景にある文化などを理解している。

5 評価の方法

コミュニケーションへの関心・意欲・態度, 外国語表現の能力, 外国語理解の能力, 言語や文化についての知識・理解の4観点から, 評価規準に従い総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

◎授業について

- 英語の授業は, 体育や芸術の授業と似ています。教師が黒板に書き, それを皆さんがノートに書き写すだけではなく, 皆さん自身が積極的に参加して初めて成立する授業と言えます。少しだけ行動する勇気を持って参加してください。
- NO 欠席, NO 遅刻, NO 未提出, NO おしゃべり, FULL 活動, FULL MARKS。これが BEST です。

◎評価について

- 年4回の定期考査
 - 授業内で行う音読テスト, 書き取りテスト, 聞き取りテスト, インタビューテストなど
 - 課題や提出物(ノート・プリント)の提出状況とその内容
 - 授業への取組み, 出席状況など
- 上記1~4を総合的に判断して評価します。評価の割合は, 1については60~70%, 2~4についてはトータルで30~40%を標準とします。ただし, 2~4の個々の割合は科目の特性や授業の実施状況に応じて変化するものとします。

令和4年度 外国語科「英語会話」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	情報処理科 3年D組 選択
教科書	Select English Conversation (三省堂)	副教材等	アクセスアンカー英和辞典 (学習研究社)

1 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、身近な話題について会話する能力を養う。

2 重点目標

平易な単語やジェスチャーを用いるなどして、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

3 学習の計画

月	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
4	Lesson 1 New Friends はじめまして	<ul style="list-style-type: none"> ・興味あるものを言う。 ・未来表現や不定詞(名詞用法)について理解する。 	活動観察 ワークシート インタビュー 発表 小テスト	
	Lesson 2 Free Time フリータイム	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇について話す。 ・現在形や過去形について理解する。 		
	Lesson 3 Are you okay? 元気?	<ul style="list-style-type: none"> ・体調についてのアドバイスを話す。 ・助動詞 should について理解する。 		
	5	亜紀と拓の留学日記1 The Host Family's House		<ul style="list-style-type: none"> ・海外生活・ホームステイ先でのあいさつを学ぶ。
		Games in English 1: Square Game 【授業内テスト】		英語でゲーム1:スクエアゲーム
6	Lesson 4 Our school 私たちの学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校について話す。 ・There is / are ~について理解する。 	活動観察 ワークシート インタビュー 発表 小テスト	
	Lesson 5 Weather 天気・気候	<ul style="list-style-type: none"> ・天気・気候について話す。 ・助動詞 will について理解する。 		
	Lesson 6 TV Programs 好きな番組	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好みを言う。 ・動名詞について理解する。 		
	亜紀と拓の留学日記2 Helping the Family	<ul style="list-style-type: none"> ・海外生活・ホームステイ先での日常会話を学ぶ。 		
7	Games in English 2: Guess What! Game	英語でゲーム2:なぞなぞゲーム		
	期末考査			
9	Lesson 7 Talking on a Cell Phone 携帯電話	<ul style="list-style-type: none"> ・都合をたずねる、待ち合わせをする(今話せるか、電源を切る、メールなど携帯電話特有の表現)。 ・現在完了形について理解する。 	活動観察 ワークシート インタビュー 発表 小テスト	
	Lesson 8 Telling the Way 道案内	<ul style="list-style-type: none"> ・道をたずねる。 ・S+V+O+Oの文型について理解する。 		
	亜紀と拓の留学日記3 School Life	<ul style="list-style-type: none"> ・海外生活・学校での会話を学ぶ。 		
10	Lesson 9 Kyoto 観光案内	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り物での行き方をたずねる。 ・How long ~? について理解する。 		
	Lesson 10 Shopping 買い物 【授業内テスト】	<ul style="list-style-type: none"> ・欲しいものを買う。 ・現在進行形やS+V+Cの文型について理解する。 		

11	Lesson 11 Restaurant 食事	・食事を注文する。 ・不定詞(形容詞的法)について理解する。	活動観察 ワークシート インタビュー 発表 小テスト
	亜紀と拓の留学日記4 Enjoying Holidays	・海外生活・観光に必要な会話を学ぶ。	
	Games in English 3: Math Bingo Game	英語でゲーム3:算数ビンゴゲーム	
12	Lesson 12 Making a Plan 約束	・誘う、誘いに応じる。 ・Let's ~ / Shall we ~?について理解する。	活動観察 ワークシート インタビュー 発表 小テスト
	期末考査		
1	Lesson 13 Future Jobs 将来やりたいこと 【授業内テスト】	・なりたい職業について話す。 ・Why-Because や不定詞(副詞用法)について理解する。	活動観察 ワークシート インタビュー 発表 小テスト

4 評価の観点

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
外国語表現の能力	日常生活の身近な話題について、情報や考えなど自分が伝えたいことを英語で話して伝えている。
外国語理解の能力	日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解している。
言語や文化についての知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

5 評価の方法

コミュニケーションへの関心・意欲・態度、外国語表現の能力、外国語理解の能力、言語や文化についての知識・理解の4観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

◎授業について

- 英語の授業は、体育や芸術の授業と似ています。教師が黒板に書き、それを皆さんがノートに書き写すだけではなく、皆さん自身が積極的に参加して初めて成立する授業と言えます。少しだけ行動する勇気を持って参加してください。
- NO 欠席, NO 遅刻, NO 未提出, NO おしゃべり, FULL 活動, FULL MARKS.これがBESTです。

◎評価について

- 年2回の定期考査(1学期末考査・2学期末考査)
 - 授業内で行う音読テスト, 書き取りテスト, 聞き取りテスト, インタビューテストなど
 - 課題や提出物(ノート・プリント)の提出状況とその内容
 - 授業への取組み, 出席状況など
- 上記1~4を総合的に判断して評価します。評価の割合は、1については60~70%, 2~4についてはトータルで30~40%を標準とします。ただし、2~4の個々の割合は科目の特性や授業の実施状況に応じて変化するものとします。

令和4年度 芸術科「音楽表現」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	情報処理科3年D組（選択6）
教科書	MOUSA II（教育芸術社）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てると共に感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 重点目標

ミュージカルを作り上げる課程で、音楽の歴史・ミュージカルの成り立ちに触れ、歌、踊り、演奏を通じて自分を見つめ、表現することを目標とする。また、歩き方等の立ち居振る舞いを意識し、常に他人からどのように見られるのかを考える。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	ミュージカル	ミュージカルとは	ミュージカルの成り立ちを知る。	ワークシート
	鑑賞	サウンドオブミュージック	楽曲の背景を知り、アリア・レチタティボの要素に関心を持つ。	感想文提出
	歌唱	ドレミアンコーラル	発声を学び、美しい声を出し楽曲にふさわしい曲想を考える。	発声の仕方・取り組む姿勢
	ダンス 創作	ウォーキング ストーリー決め	良い姿勢での歩き方を知り、立ち居振る舞いに気をつける。 自分の芸名や、どの様なストーリー作りをするかを考える。	取り組む姿勢 ワークシート
5	歌唱	朝の風景	美女と野獣の楽曲を使い、曲の作り方や美しさに関心を寄せセリフを言うタイミングをつかむ。	曲想に注意し、羞恥心からの脱却を目指す
		ア・ホールニューワールド	アラジンのストーリーを考えながら、主人公の気持ちになって歌う	ワークシート
6	楽典	読譜について	音楽理論の復習をワークシートにより行う。	
		中間考査	授業時間内で行う	
7	歌唱・鑑賞	Let it go	曲の背景や、どの様なタイミングで使われるかを認識し、表現する。	発声・取り組む姿勢・曲想の創造性
	ダンス	ウォーキング ステップ	美しい歩き方をマスターし、ステップに応用する。	取り組む姿勢・美しさ
	創作 声出し	ストーリー作り セリフの発声	ストーリー制作の開始（アンケートによる）。 楽曲を歌う時との違いを学ぶ。	ワークシート 取り組む姿勢
	歌唱・鑑賞 創作	とびら開けて 台本制作	歌唱とセリフの兼ね合いや、音程・ハーモニー・曲想に気を配る。 文化祭に向けた具体的な台本作りに取り組む。	主体的に関わろうとする姿勢 ワークシート
		期末考査	授業時間内で行う	

9	創作	配役 作曲・振り付け	台本の読み合わせ後、配役を決め、ストーリーに沿った曲作り 振り付けを考える。	自他の人物像を見 極め、主体的に行動 する ワークシート 取り組む姿勢
	歌唱 ダンス	創作曲の練習 振り付け	音程やハーモニー、曲想に注意してストーリー内容を表現する。 創作曲、挿入曲に応じて、オリジナルの振り付けを考え、踊る。	
10	伴奏	ギター・ピアノ ドラム	劇の内容を効果的に表現するための伴奏を考え、練習する。	役割を認識し取り 組む姿勢
	舞台稽古	舞台上での表現	創作したミュージカルを自分なりに感じ取り、表現する。	役割を認識し取り 組む姿勢
		中間考査	授業時間内で行う	

11	文化祭	発表	学んで来た様々なものを文化祭という場で総合的に表現する。 (コロナ禍で文化祭が中止、または舞台(体育館)が使用できない場合は、音楽室で行う。)	役割を積極的に引 き受け自己の責任 を目指して行う 仲間の評価をする 曲想をつかみ表現 する
12	歌唱	Memory	ミュージカル体験前後で、歌唱することの変化、違いを感じる。	
		期末考査	授業時間内で行う	
1	日本音楽	さくらさくら	日本音楽概論を学び、三味線・箏の歴史に触れ 和楽器の構造を理解しさくらさくらを演奏する。	取り組む姿勢
	鑑賞 歌舞伎	京鹿子娘道成寺	ミュージカルと日本の舞台物である歌舞伎を比較し、 外国と本国との音楽の違いを感じる。	感想文提出
		学年末考査	授業時間内で行う	

4 評価の観点

関心・意欲・態度	ミュージカル活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
思考・判断・表現	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し表現意図を持っている。
技 能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。
鑑 賞	ミュージカルの背景を理解し、曲想や旋律を感受し、その良さや美しさを創造的に味わっている。

5 評価の方法

音楽への関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能及び鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。
--

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

「人前で表現する」ということは恥ずかしさを感じる事ですが、まず羞恥心を捨て、技能を磨き、表現する事に少しでも満足感や達成感を感じてもらえたらいいなと思っています。

令和4年度 芸術科「書道表現」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	情報処理科 3年 D組
教科書	書道II（東京書籍）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

- ・書道の創造的な諸活動をとおして、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
- ・書に親しむ活動をとおして、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞する能力を伸ばす。
- ・書の伝統と文化についての理解を深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	オリエンテーション	書道の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・書写と書道の共通性と相違を理解し、書道の世界を知る。 ・用具の扱い方や、姿勢・執筆法等の基本を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への姿勢
	実用の書	硬筆の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールペンを使用して、漢字の筆順・部首名・誤字の訂正・草書の熟語・文章書き等を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢
5	篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・選文 ・検字 ・印稿 ・印面整備 ・布字 ・運刀 ・押印 ・補刀 	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻の意義と効用について学ぶ。 ・印ができあがるまでの行程を知る。 ・自分の名前を、白文・朱文で制作する。 ・篆刻の名品や各自が制作した印を鑑賞し、方寸の美を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢
6	漢字の書 ・楷書	・楷書の用筆法	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の氏名を楷書で書く。 ・楷書の成立と特徴を知る。 ・古典の意義や拓本について学び、臨書の仕方を理解する。 ・楷書の古典を臨書し、用筆法・運筆法について理解し、基本的な点画の表現法を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢
7				
9	・行書	・行書の用筆法	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の氏名を行書で書く。 ・行書の成立と特徴を知る。 ・行書の古典を臨書し、特徴や用筆法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢
10	・草書	・草書の用筆法	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の氏名を草書で書く。 ・草書の成立と特徴を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢

1 1	漢字仮名交じりの書	・漢字と仮名の調和	<ul style="list-style-type: none"> ・草書の古典を臨書し、特徴や用筆法を理解する。 ・学習した古典の表現を応用した漢字仮名交じり書の制作をする。 ・題材を自分で選択し、形式・構成を工夫する。 ・各自の作品について制作の意図を発表したり、相互批評を行ったりして、それぞれの違いや良さを鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢
1 2				
1	創作	・卒業制作	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した技術をもとに書の制作をする。 ・題材を自分で選択し、形式・構成を工夫する。 ・各自の作品について制作の意図を発表したり、相互批評を行ったりして、それぞれの違いや良さを鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・提出作品 ・授業への姿勢

3 評価の観点

知識・技能	・創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけ表している。
思考・判断・表現	・書の実しさや良さを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	・書の創造的活動の喜びを味わい、伝統文化に関心をもって主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

書への関心・意欲・学習態度・思考・表現等を総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材の正しい扱い方を理解し、丁寧に使用してください。 ・授業に集中して積極的に取り組んでください。 ・提出物等の課題をやりきるよう心がけてください。 ・作品の善し悪しだけでなく、作品が完成するまでの過程・取り組む姿勢がとても大事なことです。

「課題研究」(作物) シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A組・B組
教科書	作物 (実教出版)	副教材等	課題研究ノート

1 学習の到達目標

農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

2 重点目標

農業選択 (作物) で学んでいる基礎的な知識・技術を生かし、地域に即した課題を設定する。また、自身が興味ある課題に取り組むことで、学習に対する「やる気」を高め、内容を理解することにより学習効果を高めていく。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4		課題設定	ガイダンス テーマ決定	ガイダンスに興味をもって参加した (行動観察)
5		研究計画策定	目的の設定 計画立案	専門科目の学習に基づいて、課題を設定することができる (課題研究ノート分析)
6		調査研究	研究方法の検討 調査項目の決定 調査研究、資料収集	自律的な研究計画を立案できた (課題研究ノート分析) 学んだ知識を活かし調査・研究を実施した (行動分析)
7				意欲を持って調査・研究・記録を実施している (課題研究ノート分析) プロジェクト学習についての成果と反省事項を分析できる (課題研究ノート分析)
9		調査研究	1学期の結果を踏まえ、研究・調査継続	学んだ知識を活かし調査・研究を実施した (行動分析)
10		中間報告	文化展示発表準備 中間報告まとめ	記録、作品制作などを通して、各科目で学習した知識と技術について、課題研究に活用できた (行動観察)

11		プロジェクトまとめ	文化祭展示発表	作品制作や文化祭展示において主体的に取り組み、チームワークのもとで研究を実施できる(行動観察)
12			データ整理	研究の記録、情報を収集、分類し、内容をまとめて、評価することができる(課題研究ノート分析)
1		プロジェクト発表	プロジェクト発表準備、練習	学習の成果を自ら分析し、整理することができる(課題研究ノート分析)
2			プロジェクト発表	活動の過程や成果を学校でわかりやすく発表できる(行動観察)
3				

4 評価の観点

関心・意欲・態度	自らの興味・関心、専門科目の学習及び希望する進路に基づいて、個人又はグループで課題を設定することができる。また、自らの興味・関心につながる学習の意義を理解し、自律的な学習ができる。
思考・判断・表現	学習の成果を自ら分析し、整理することができる。また、活動の過程や成果を学校や地域などでわかりやすく発表すること等を通して、課題の理解の深化を図ることができる。
技能	情報を収集、分類し関心をもてる事象を選択できる。また、課題解決に必要な材料、方法などの検討を行い、計画を立てることができる。計画に基づき科学的な調査・研究等に取り組み、内容をまとめ、評価することができる。
知識・理解	調査・研究・実験、作品制作、職業資格の取得などを通して、各科目で学習した知識と技術を再確認させ、自ら課題研究に活用できる知識を身に付けている。

5 評価の方法

<p>課題研究ノートの分析、実習・研究中等の行動観察、出席状況等を観点別に評価する。</p> <p>関心・意欲・態度・思考・判断・表現・技能・知識・理解を総合的に評価する。</p>
--

6 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>(1) 安全面は重要です。怪我防止の観点からも、実習着等の着用をきちんとしましょう(授業規律)。</p> <p>(2) 課題に対する取り組み状況や、出席状況を重視します(意欲重視)。</p> <p>(3) 自らよく考え、的確に判断しながら行動しましょう(的確な行動)。</p> <p>(4) 課題研究ノートの提出をしましょう(提出物はきちんと記入し、提出)。</p>
--

「課題研究」(果樹) シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A・B組
教科書	果樹 (実教出版)	副教材等	自校編集「課題研究ノート」

1 学習の到達目標

農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

2 重点目標

- ・ 2年間の農業学習果樹により身につけた知識を、より発展できるように具体的な事例や問題発見し、課題解決の取り組みをしっかりと検討話し合いを充分行う。
- ・ 問題解決のための調査を充分行う。
- ・ 細かく丁寧に課題研究ノートを記入し、結果に対する考察をより慎重に検証する。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	計画	ガイダンス テーマ決定 目的・課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本科目の目標を理解し、今までの農業学習のまとめや卒業生の記録、地域農業の具体的な事例の探索を通して問題発見の方法と課題を設定する。 	課題研究ノート
		果樹の栽培に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 果樹の栽培の意義と有用性を理解し、本校の有する施設で可能な販売方法を検討する。 	課題研究ノート
5	調査	計画立案 実験区の設定 調査項目の決定	<ul style="list-style-type: none"> ・ データ集積の技法、測定機器の操作技術を習得する。 	行動観察
		結果の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容、反省、感想などを整理する。 	
6	調査	データ整理 栽培方法の再検討 調査項目の再検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いに協力しながら適切かつ有用なデータ収集を行う。 ・ 結果を持ち寄り、考察し、必要であれば調査項目の追加・削除を行う。 	課題研究ノート 行動観察
		後整理、次作準備 施設修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次作に向けての整理と準備を行う。 	行動観察
7		結果の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容、反省、感想などを整理する。 	課題研究ノート
9	調査	果樹栽培に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期の結果、反省をふまえ、継続調査を行う。 	課題研究ノート
		調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ データ集積の技法、測定機器の操作技術を習得する。 	行動観察
10	考察	調査 結果整理・考察	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いに協力しながら適切かつ有用なデータ収集を行う。 	課題研究ノート 行動観察
		発表資料作成 結果の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点までの結果を考察し、展示発表の作成準備を行う。 ・ 学習内容、反省、感想などを整理する。 	行動観察 課題研究ノート

11	発表	反省・考察・まとめ	・文化祭で展示発表をする。	揭示物・模型
	考察		・グループで話し合いを行い、反省と考察を行い、まとめる。	
12		レポート作成	・結果の分析やまとめ、報告書を作成する。	課題研究ノート 行動観察
		結果の整理	・学習内容、反省、感想などを整理する。	研究集録原稿
1	まとめ	レポート制作	・研究の成果を論文にまとめることで、報告書の作成方法や情報処理を学ぶ。	課題研究ノート 発表用資料 研究集録原稿 行動観察
2	発表	研究発表	・課題研究発表会に参加する。	
3		結果の整理	・学習内容、反省、感想などを整理する。	

4 評価の観点

関心・意欲・態度	自らの興味・関心、専門科目の学習及び希望する進路に基づいて、個人又はグループで課題を設定することができる。また、自らの興味・関心につながる学習の意義を理解し、自律的な学習ができる。
思考・判断・表現	学習の成果を自ら分析し、整理することができる。また、活動の過程や成果を学校や地域などでわかりやすく発表し、交流することを通して、課題の理解の深化を図ることができる。
技能	情報を収集、分類し関心をもてる事象を選択できる。また、課題解決に必要な材料、方法などの検討を行い、計画を立てることができる。そして、この計画に基づき科学的な調査・研究等に取り組み、内容をまとめ、評価することができる。
知識・理解	調査・研究・実験、作品制作、職業資格の取得などを通して、各科目で学習した知識と技術を再確認させ、自ら課題研究に活用できる知識を身に付けている

5 評価の方法

<p>課題研究ノートの分析、実習・研究中等の行動観察、出席状況等を観点別に評価する。</p> <p>関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解を総合的に評価する</p>

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>1 安全面は重要です。怪我防止の観点からも、実習服等の着用をきちんとしましょう（授業規律）。</p> <p>2 出席状況を重視します（出席重視）。</p> <p>3 自らよく考え、的確に判断しながら行動しましょう（的確な行動）。</p> <p>4 課題研究ノートの提出をしましょう（提出物はきちんと記入し、提出）。</p>
--

「課題研究」(食品製造) シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A・B組
教科書	食品製造 (実教出版)	副教材等	課題研究ノート、教員作成資料

1 学習の到達目標

農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

2 重点目標

農業選択 (食品製造) で学んでいる基礎的な知識・技術を生かし、地域に即した課題を設定する。また、自身が興味ある課題に取り組むことで、学習に対する「やる気」を高め、内容を理解することにより学習効果を高めていく。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4		課題設定	ガイダンスを聞き、本科目の目標と食品製造部門における現状を理解し、問題発見の方法と課題を設定する。	興味を持ちガイダンスを聞き、食品製造部門の現状を理解し、問題発見と課題を設定することができたかを、取り組む姿勢と提出物で確認
		研究計画策定	テーマを決定し、目的の設定と計画立案をする。 本校農場で栽培している学校農産物の活用方法を検討するなど、研究方法を検討する。	
5		調査研究	調査項目を決定する。 資料を収集しながら、調査研究をすすめる。	自らの興味・関心につながる学習の意義を理解し、自立的な研究計画を立案することができたかを取り組む姿勢と提出物で確認 学校農産物を活用した研究方法を検討・立案することができたかを提出物で確認 個人又はグループで課題を設定し、他科目で習得した知識・技術を活用できる能力を身に付けているか、取り組む姿勢と提出物で確認
		調査研究	資料を収集しながら、調査研究をすすめる。	調査や研究、実験・実習を通して、他科目で学んだ知識・技術を、本科目で活用できる知識を身に付けているか、取り組む姿勢と提出物で確認 意欲を持ち調査や研究、実験・実習に取り組み、研究の記録を的確にノートにまとめているか、取り組む姿勢と提出物で確認
6		中間検討	研究プロジェクトの中間までをまとめ、反省し、検討する。	取り組んできた研究内容について、的確にまとめることができているか、取り組む姿勢と提出物で確認
7				成果と反省事項を分析し、以後の研究に役立つ計画を立てることができているか、提出物で確認
9		調査研究	1学期の結果を踏まえ、調査や研究、実習に継続的に取り組む。	調査や研究、実験を通して、専門科目等で学習した知識と技術について、課題研究に活用できる知識を身に付けているか、取り組む姿勢と提出物で確認
			これまでの研究プロジェクトをまとめ、文化展示発表の準備をする。	意欲を持ち調査や研究、実験・実習に取り組み、研究の記録を的確にノートにまとめているか、取り組む姿勢と提出物で確認
10		中間報告	文化祭で中間報告をする。	的確な記録や加工品製造などを通して、各科目で学習した知識と技術を、課題研究に活用できる知識・技能を身に付けているか、取り組む姿勢と提出物で確認 これまでの研究内容を的確にまとめることができているか、提出物で確認

11		プロジェクトまとめ	文化祭展示発表	加工品製造や文化祭展示に主体的に取り組み、グループ毎に協力し、研究に取り組むことができているか、取り組む姿勢と中間報告、掲示物で確認
12			データ整理	的確に研究の記録を取り、情報を収集・分類することができ、内容をまとめて、評価することができるか、取り組む姿勢と入力データ、提出物で確認
1		発表リハーサル	テーマ毎に発表のリハーサルに取り組み、より良い発表の仕方を身につける。	発表会と同様に積極的に発表のリハーサルに取り組むことができているか、取り組む姿勢と入力データ、提出物で確認
2		研究発表会	研究の成果を総括して、校内課題研究発表会に参加する。	発表態度、機器の操作等、主体的に発表に取り組むことができているか、取り組む姿勢で確認
3				他の発表時、聞き手側として適切に取り組むことができているか、取り組む姿勢と提出物（課題研究発表会の評価表）で確認

4 評価の観点

関心・意欲・態度	自らの興味・関心、専門科目の学習及び希望する進路に基づいて、個人又はグループで課題を設定することができる。また、自らの興味・関心につながる学習の意義を理解し、自律的な学習ができる。
思考・判断・表現	学習の成果を自ら分析し、整理することができる。また、活動の過程や成果を学校や地域などでわかりやすく発表したり、交流することを通して、課題の理解の深化を図ることができる。
技能	情報を収集、分類し関心をもてる事象を選択できる。また、課題解決に必要な材料、方法などの検討を行い、計画を立てることができる。そして、この計画に基づき科学的な調査・研究等に取り組む、内容をまとめ、評価することができる。
知識・理解	調査・研究・実験、作品制作、職業資格の取得などを通して、各科目で学習した知識と技術を再確認させ、自ら課題研究に活用できる知識を身に付けている。

5 評価の方法

出席状況と観点別評価（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解）を総合的に評価する。
--

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

1 安全面は重要です。怪我防止の観点からも、実習服等の着用をきちんとしましょう（授業規律）。
2 機器類をたくさん使います。丁寧に扱い、加工室は常に清潔に保ちましょう。
3 出席状況を重視します（出席重視）。
4 自らよく考え、的確に判断しながら行動しましょう（的確な行動）。
5 課題研究ノートの提出をしましょう（提出物はきちんと記入し、提出）。

「課題研究」(草花) シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科 3年A・B組
教科書	草花 (実教出版)	副教材等	課題研究ノート

1 学習の到達目標

農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

2 重点目標

プロジェクト学習を理解し、体験的な学習をとおして課題の発見・解決を図る力を身につける。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4		課題設定	オリエンテーション テーマの設定 (1) 調査・研究 (2) 作品製作 (3) 学校農業クラブ活動 (4) その他	興味・関心を持って取り組むことができる。 1・2年生の学習をベースに課題研究の分野からテーマを設定できる。
		計画作成	目的の設定と計画の作成 (1) 目的 (2) 計画 (3) その他	テーマに合わせて目的を設定できる。 年間行事予定を考慮して計画を作成できる。
5		実施	(1) 調査・研究 ① 実施のための準備をおこなう ② 適期に必要な管理等を適切におこなう ③ 定期的の実施の記録を正確にとる (観察記録及び数値やデータ等) ④ その他	内容に合わせて準備ができる。 計画に沿って実施できる。
6			(2) 作品製作 ① 実施のための準備をおこなう ② 作品製作 ③ 製作過程の記録 ④ その他 (3) 学校農業クラブ活動	実施のために必要な基礎・基本の知識・技術を身につけている。 適切に記録等ができる。
7			① 実施のための準備をおこなう ② 意見発表、プロジェクト研究、技術競技等の活動をおこなう ③ その他	
(8)			1学期の整理と今後の実施に向けた計画の追加・修正をおこなう	必要に応じて計画の修正・追加等ができる。

9		実施	(1) 調査・研究 ①実施のための準備をおこなう ②適期に必要な管理等を適切におこなう ③定期的な実施の記録を正確にとる (観察記録及び数値やデータ等) ④その他 (2) 作品製作 ①実施のための準備をおこなう ②作品製作 ③製作過程の記録 ④その他 (3) 学校農業クラブ活動 ①実施のための準備をおこなう ②意見発表、プロジェクト研究、技術競技等の活動をおこなう ③その他	内容に合わせて準備ができる。 計画に沿って実施できる。 実施のために必要な基礎・基本の知識・技術を身につけている。 適切に記録等ができる。 必要に応じて計画の修正・追加等ができる。
10				
11		反省・評価	実施のまとめ 中間報告書の作成と小御門祭において展示発表をおこなう 実施報告書の作成 プロジェクト発表会準備	記録等を整理し、実施内容の整理・まとめができる。 実施内容についての考察及び反省ができる。 報告書が作成できる。
12				

1			実施報告書の作成 プロジェクト発表会準備 プロジェクト発表	プレゼンテーションソフトを活用して発表準備ができる。 プレゼンテーションソフトを活用して発表ができる。
---	--	--	---	--

3 評価の観点

関心・意欲・態度	農業に関する諸課題について興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を実践的な態度を身につけている。
思考・判断・表現	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。
技能	農業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、農業の意義や役割を理解している。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」・「思考・判断・表現」・「技能」・「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、欠席をしない。 ・授業の準備 (授業に臨む気持ち、時間を守る、教科書、ノート、実習手帳、服装、不要な物は持ってこない等) を確実にする。 ・観察、記録等を丁寧かつ正確におこなう。 ・作業は丁寧、確実にこなす。(できるようになったらスピードアップ) ・次に何をすべきか、常に考える習慣をつける。 ・コミュニケーション能力を育成する意識を持つ。 <p>以上について意識して授業に臨んでください。</p>
--

「農業情報処理」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A・B組
教科書	農業情報処理 (実教出版)	副教材等	全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集3級テキスト

1 学習の到達目標

社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解し、情報に関する知識と技術を習得するとともに、農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。

2 重点目標

- ・時間厳守、適切な態度で授業に臨む。
- ・表計算ソフト (Excel) 及びプレゼンテーションソフト (PowerPoint) の操作を学習し理解する。
- ・基本的な操作ができるようになる。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第3章 コンピュータによる情報の活用 2. 日本語ワードプロセッサの利用	1. ワードプロセッサの利用 (p50~59)	日本語ワードプロセッサ (ワープロ) の特徴と機能を理解する。 Word を活用し、キーボードを利用した文字の入力実習を通して、ワープロの利用方法とキーボード操作を習得する。 授業始めの10分間で、文章の入力問題に取り組む。(以下、「速度問題」と表記、年間を通して繰り返し実施) 繰り返しの入力実習を通して、キーボード操作の習得を着実にすすめ、速度と正確さを高める。 文書作成に必要な機能と利用方法を理解する。(以下、「文書作成問題」と表記、次の学習項目まで繰り返し実施) 繰り返し、文書作成問題の実習を通して、文書作成の速度と正確さを向上させる。 (※速度問題および文書作成問題の内容については、公益財団法人全国商業高等学校協会ビジネス文書実務検定の2級~3級程度を参考にして作成。)	ワープロソフトに主体的に取り組むことができるか確認 速度問題に積極的に取り組むことができているかを姿勢と入力データで確認 速度問題に取り組み、的確に印刷し、提出することができるかを提出物で確認 速度問題に取り組み、速度が向上し、正確に入力することができるかを入力データと提出物で確認 Word 機能を理解し、文書を作成することができるかを入力データで確認 文書作成問題に取り組むことで、速度が向上し、正確に入力することができるかを入力データ確認と提出物で確認
5			2. 表計算ソフトウェアの利用 (p60~78)	表計算ソフトウェアの特徴と機能を理解する。 表計算ソフトウェアの利用方法を習得する。 関数の利用方法を習得する。 グラフの作成方法を習得する。
6	3. 表計算ソフトウェアの利用	2. 表計算ソフトウェアの基礎と編集機能 (p60~78)	表計算ソフトウェアの特徴と機能を理解する。 表計算ソフトウェアの利用方法を習得する。 関数の利用方法を習得する。 グラフの作成方法を習得する。	表計算ソフトウェア (Excel) への関心が高まり、文字と数値を正確に入力することができるかを入力データと提出物で確認 データ修正や計算式の作成、編集が正確にできるかを取り組み姿勢と入力データで確認 資料を読み取り、表作成ができるかを入力データと提出物で確認 関数とグラフ作成が的確に処理できるかを取り組み姿勢と入力データ、提出物で確認
7			期末考査	
9	(3. 表計算ソフトウェアの利用)	3. 表計算ソフトウェアの応用 (p79~81)	表作成やグラフ作成の実習を通して、他科目での活用方法を理解し、習得する。	正確に資料を読み取ることができ、表やグラフ作成を科目課題研究で活用できるかを提出物で確認
10	6. プレゼンテーションソフトウェアの利用 ①プレゼンテーションの概要 ②プレゼンテーションの基本操作	4. プレゼンテーションソフトウェアの利用 (1) プレゼンテーションの概要 (p102~104) (2) プレゼンテーションソフトウェアの基本操作 (p105~110)	プレゼンテーションソフトウェアの特徴と機能を理解する。 スライドの作成実習を通して、プレゼンテーションソフトウェアの「企画」を理解し、習得する。 スライドの作成実習を通して、プレゼンテーションソフトウェアの「資料の作成」を理解し、習得する。	プレゼンテーションソフトウェアへの関心が高まり、プレゼンの進め方「企画」、「資料の作成」、「リハーサル」、「実施・評価」が理解できたかを入力データで確認 目標やテーマを設定することができるかを入力データと提出物で確認 概要の説明や理由等をもとに、まとめることができるかを入力データと提出物で確認 簡単・明瞭な資料の作成ができるかを入力データと提出物で確認

11			<p>スライドの作成と編集を習得する。</p> <p>スライドの作成実習を通して、「リハーサル」の必要性を理解し、習得する。</p> <p>スライドの作成実習を通して、リーフレットの作成実習や演習を通して、プレゼンテーションソフトの基本操作を身につける。</p> <p>スライドの作成実習を通して、表計算ソフトの活用方法を理解する。</p>	<p>文章だけでなく、箇条書きや絵・図・表など、効果的にスライドをつくることができるかを入力データと提出物で確認</p> <p>配色やアニメーションによる強調をうまく取り入れることができるかを入力データと提出物で確認</p> <p>話の流れや構成をつくることのできるかを入力データと提出物で確認</p> <p>演習やスライドの作成をし、自ら発表することができるかを発表の取り組む姿勢と入力データで確認</p> <p>聴き手の立場に立った発表と質疑応答ができるかを発表時に確認</p> <p>自ら改善点を見つけることができるかを提出物で確認</p>
		期末考査		
1	<p>第4章</p> <p>マルチメディア</p> <p>1. マルチメディアの概要</p> <p>2. マルチメディアによる情報発信</p> <p>3. 新しいマルチメディアの技術と活用</p> <p>4. マルチメディア社会の注意点</p>	<p>5. マルチメディア</p> <p>(1) 概要と情報発信 (p112～125)</p> <p>(2) マルチメディアの技術と活用 (p126～129)</p> <p>(3) マルチメディア社会の注意点 (p130～132)</p> <p>6. 各種ソフトウェアとインターネット利用</p>	<p>インターネットでの検索実習を通して、マルチメディア技術の生活での利用を知り、活用を理解する。</p> <p>ネットワーク使用上の注意点を理解し、コンピュータ犯罪や不正行為に対して対処できる。</p> <p>時事問題に注目し、インターネットや各種ソフトウェアを活用し、プレゼンテーションできる。</p>	<p>マルチメディアへの関心が高まり、インターネットを正しく活用することができるかを取り組む姿勢と入力データ、提出物で確認</p> <p>知的所有権やコンピュータウイルス、ネット犯罪等を理解し、セキュリティを設定することができるかを取り組む姿勢を観察</p> <p>課題を的確に捉えることができ、自らプレゼンテーションをすることができるかを発表の取り組む姿勢と入力データ、提出物を確認</p>
2				
3		学年末考査		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	進展する情報社会の特徴や仕組みに関心を持ち、その仕組みや効果について体系的に取り組むとともに、農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を身に付けている。
思考・判断・表現	学校での実習や産業現場での体験を通して、目的や条件に合わせて各種の情報の価値を判断し、情報通信ネットワークを活用した情報の収集・分析・統合・加工・発信などの方法や手法を選択できるとともに、成果を効果的に表現している。
技能	情報技術や情報通信ネットワークの活用、その仕組みや効果についての体系的な学習を通して、情報に関する基本的、体系的な技術を習得するとともに、農業情報及び環境情報に関する体系的な技能を身に付けている。
知識・理解	多様で大量の情報と情報技術が産業社会や人間に与える影響などを考察し、情報の意義や役割を体系的に理解し、農業情報及び環境情報に関する知識を身に付けている。

4 評価の方法

<p>考査、4観点（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解）、出席点を総合的に評価する。</p>

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・出席を常にご確認ください。 ・パソコンを使う演習中心の科目です。機器類を丁寧に扱い、室内を常に清潔にご確認ください。 ・移動教室なので集合時間を厳守してください。
--

「農業選択」(作物) シラバス

単位数	5 単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A組・B組
教科書	作物 (実教出版)	副教材等	オリジナルワークシート

1 学習の到達目標

作物の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、作物の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。

2 重点目標

イネを中心として、作物の基本的な栽培方法や収穫調整方法などの技術を習得する。また、これらの体験学習をとおして、ものづくりの基礎的知識、技術を身につけ、社会で必要な関心・意欲・態度を養う。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	作物の特性と栽培技術	イネの栽培的特性	イネの播種、育苗 ジャガイモの植え付け 本田準備	育苗の目的と方法を理解できる(行動観察) 稲の種類や栽培について理解した(ワークシート分析) 栽培計画作成(レポート分析) 移植、本田の管理実施(行動観察)
		イモ類の栽培的特性	イネの定植 本田管理 サツマイモの植え付け マメ類播種	
5	イネ	中間考査		イモ類の特性について興味を持って学ぶ(行動観察) マメ類の品種とその特性を知る(ワークシート分析)
		麦類	ムギ類の栽培的特性	小麦の収穫、調整 麦類の種類と栽培上の特性を理解(ワークシート分析) 麦類の収量と収量構成要素を理解(ワークシート分析)
6	イネ	イネの栽培管理	本田管理	麦の収穫調整を実施(行動観察) 米ができるまでの生長過程を理解(ワークシート分析)
		イモ類	イモ類の栽培管理	ジャガイモの収穫 病害虫防除実施(行動観察) 収穫までのイモ類栽培管理を理解(ワークシート分析)
7		期末考査	サツマイモ管理	イモ類の栽培管理実施(行動観察)
		イネ	イネの栽培計画と評価	ネ収穫・調整
10	イモ類	イモ類の栽培的特性	イモ類の栽培管理	イモ類の特性と栽培方法について理解(ワークシート分析)
		マメ類の栽培的特性	イモ類の収穫調整 マメ類の栽培管理	マメ類の栽培管理について理解し、生育段階に応じた適切な栽培管理実施(行動観察)

11	麦類	ムギ類の栽培的特性	ムギ播種	ムギ類の種類と特性を理解(ワークシート分析) 収穫までのサツマイモ等の栽培管理実施(行動観察) イモ類の収穫や調整の方法を理解し、的確に実施(行動観察) マメ類の栽培管理実施(行動観察)
	イモ類	イモ類の栽培的特性	イモ類の収穫調整	
12	マメ類	マメ類の栽培的特性	マメ類の収穫調整	
期末考査				
1	作物生産の実践	イネの農業経営の特性	イネの農業経営の特性と経営の改善点考察	実習の記録を整理し、問題点を見つけ出すことができる(実習簿分析) 日本と世界のイネの種類や栽培の現状について理解(ワークシート分析) 収量構成要素を理解し、生育段階に応じた適切な栽培管理実施(行動観察)
2		ムギ類の栽培的特性	ムギ類の栽培管理	
3		期末考査		

4 評価の観点

関心・意欲・態度	学習内容に興味・関心をもち、探究しようとする。学習内容をより深く理解しようとする。農業に関する課題について、問題を提起したり学習に意欲的に取り組む。
思考・判断・表現	栽培や学習したことがらをもとにして総合的に考えることができる。実験や調査したことを分析し、理論的に考えたりして、科学的に判断できる。データ処理で得られた結果を的確に表現できる。
技能	目的に則した実習の技能を習得し、観察や計測ができる。実験実習で得られたデータを的確に処理し、事後に生かすことができる。
知識・理解	栽培などの学習をとおして、基本的なことがらについて正しく理解し、知識を身に付けている。実験や調査などから栽培と環境との関係を正しく把握し、理解している。

5 評価の方法

オリジナルワークシートの分析、レポートの分析、定期考査、実習中等の行動観察、出席状況等を観点別に評価する。 関心・意欲・態度・思考・判断・表現・技能・知識・理解を総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>(1) 安全の確保は重要です。時間を守り、実習着等をきちんと着用しましょう(授業規律)。</p> <p>(2) 出席状況・実習に取り組む姿勢を重視します(意欲重視)。</p> <p>(3) 説明をよく聞いて、的確に判断しながら行動しましょう(的確な行動)。</p> <p>(4) オリジナルワークシート等の提出をしましょう(提出物はきちんと記入し、提出)。</p>

「農業選択」(果樹) シラバス

単位数	5単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 AB組
教科書	果樹 (実教出版)	副教材等	教員作成資料 (プリント等)

1 学習の到達目標

果樹の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、果樹の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。

2 重点目標

- ・一年間の果樹の栽培管理を理解する。
- ・果樹 (ナシ・カキ・ウメ・キウイフルーツ・ブドウ等) の生育管理技術 (摘果・剪定等) の習得。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第3章 果樹栽培の基礎	1 基本となる栽培管理技術	(1) 摘蕾・開花・人工授粉 ナシの受粉・開花特性を理解する。	・樹木樹勢、生育状況を見る観察力が身に付いた。(行動観察)
5			(2) ネット張り ナシネット設置の意味を理解し、病害虫・気象災害防除の大切さを理解する。	・ネット設置の確実性と作業に対する積極的な姿勢である。(行動観察)
5			(3) 摘果 ナシの着果特性と摘果の目的を学習し、摘果法を理解する。	・摘果の目的を理解し、幼果への観察力、摘果する果実の判断力がついた。(行動観察) ・作業に対する積極的な姿勢、集中力がある。(行動観察)
6		中間考査	(4) 病害虫防除・気象災害防止 ナシを中心とした果樹の病害虫を理解し、その防除法や防除機械等を学習する。	・各種病害虫被害を正確に判別できる。(行動観察) ・様々な環境条件によって、ナシ(果樹)への各種病害虫被害があることを理解し、その原因を科学的に判断し、防除法を実践できる。(行動観察)
7			(5) 花芽分化 ナシ(果樹)の花芽分化特性を理解し、特性を利用した栽培法を習得する。	・花芽分化期を理解し、果樹側枝の誘引(花芽分化促進)が実践できる。(行動観察)
			(6) 袋掛け 袋掛けの意味を学習し、果実に対する市場での評価を理解する。	・袋掛けの正確な作業、実習への積極的な姿勢である。(行動観察) ・袋掛け作業の意義を理解しているか評価する。(行動観察)(レポート分析)
9		(7) 収穫と調整	ナシの収穫法と調整法を学び、果実の価値や需要等を学習する。	・実習をとおして、果実収穫に取り組む姿勢と技能を評価し、販売実習におけるコミュニケーション力を評価する。(行動観察)
10	第2章 果樹の成長と果実生産	(1) 各器官の成長と果実生産	果実の肥大・収穫・貯蔵・加工を学び、果樹の生理を理解すると同時に、品種による肥大や貯蔵性・加工まで理解する。	・果樹の生育と栽培管理を学ぶ姿勢を評価すると共に、収穫期を迎えたナシを中心とした果実の収穫、調整作業、販売実習への取り組み状況が良好である。(行動観察) ・果樹の種類と品種を理解しているか評価する。(レポート分析)

	第1章 果実の生産と利用	(1) 果実の利用と果樹栽培	果実の特性と利用法を学び、多角的な果樹の価値を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 我が国及び世界の果樹生産の現状を理解している。(レポート分析) 統計等の資料の分析力を評価する。(ワークシート分析) 果樹生産地及び原産地を理解し、本校の立地に関する正確な知識、理解力が着いた。(レポート分析) 実習と座学を連動させ、本校果樹園の環境条件に対しての興味関心、科学的分析力を評価する。(行動観察)
	第3章 果樹栽培の基礎	(1) 果樹栽培の適地	日本における果樹生産地を学習し、気候、土壌等の栽培条件を理解する。 また各果樹の原産地を学習し、果樹の基本的な生育条件を理解する。	
		中間考査		
11	学園祭果樹展示	(2) 病害虫・生理障害	学園祭での発表により、自主的な学習態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 学びを中心とした果樹栽培記録のまとめる力や積極的な参加態度、リーダーシップ等を評価する。(行動分析) 病害虫防除や生理障害への学習意欲を評価すると共に、実習をとおして樹木の観察力や判断力等の科学的分析力を評価する。(行動分析)
12		期末考査	果樹の病害虫や生理障害について学び、予防法や対処法を理解する。	
1		(3) 生育と栽培管理	作物の休眠やナシ等の果樹の剪定管理を学習する。 GAPの基礎的な内容について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な果樹の剪定技術の習熟度を評価する。(行動分析) 用具の知識と正しい使用法を評価する。(行動分析)
		学年末考査		

4 評価の観点

関心・意欲・態度	生産技術の仕組みや果樹生産の果たす社会的な意義や役割などについて関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、労働生産性や資本生産性などの向上を図る能力と態度を身に付けている。
思考・判断・表現	生産と経営の現状や今日的な課題を見だし、果樹にかかわる体験的、継続的な栽培活動を通して、観察、実験、調査、記録などの活動をし、その経過や結果を的確に表現している。
技能	実践的な生産活動と、知識の深化を図る課題解決的な学習活動などを通して、基本的、体系的な技術を習得するとともに、果樹生産などに応用できる体系的な技能を身に付けている。
知識・理解	果樹の生理・生態的な特性や生産に適した環境とそれらと生育の相互関係などの基本的な概念や各種の果樹生産、経営管理や情報管理及びフードシステムを理解し、知識を身に付けている。

5 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の4観点から評価基準に従い、総合的に評価する。 (毎時の記録簿、自己評価票、調査レポート、授業ノート、プリントの記入状況、学習に取り組む姿勢、(積極性、協調性、自発性)、出席状況)

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ol style="list-style-type: none"> 安全面は重要です。怪我防止の観点からも、実習服等の着用をきちんとしましょう (授業規律)。 出席状況を重視します (出席重視)。 自らよく考え、的確に判断しながら行動しましょう (的確な行動)。 ノートの提出をしましょう (提出物はきちんと記入し、提出)。

「農業選択」(食品製造) シラバス

単位数	5 単位	学科・学年・学級	園芸科 ・ 3年 A・B組
教科書	食品製造 (実教出版)	副教材等	教員作成プリント

1 学習の到達目標

食品製造に必要な知識と技術を習得し、食品の特性と加工方法及び貯蔵の原理を理解するとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。

2 重点目標

- ・食品衛生の知識や内容を理解し、食品の加工・製造に取り組む態度と姿勢を身につける。
- ・HACCPの基礎的な内容を理解し、安心・安全な加工品の製造や品質の向上を図る能力と態度を身につける。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第5章 果実類の加工	1. ブルーベリーと圃場管理について ①ブルーベリーについて ②圃場づくり ③定植方法について	ブルーベリー園の圃場づくりや定植等の実習を通して、栽培方法や管理方法について理解する。 ブルーベリーの品種や特性等についても実習ノートにまとめ、理解を深める。 茶園管理や機械の整備等の実習を通して、茶園の管理・茶樹の管理方法について理解する。	果実の栽培や管理実習への取り組み姿勢を確認 品種や特性を的確に捉え、観察でき、記録できているか取り組みと実習手帳を確認 栽培や管理方法について、取り組み姿勢や実習手帳を確認 茶の特性の理解、観察を的確に記録できているか実習手帳を確認
5	付録 茶 (教科書 p131～p136、234、235)	2. 茶園管理について ①茶について ②茶樹の管理 ③茶樹浅刈り 中間考査	座学においても、茶についての実習ノートを整理し、まとめ、理解を深める。	茶園管理に使用する機械や器具を適切に取り扱うことを確認 実習内容をノートに整理し、圃場での栽培や管理方法が理解できているか実習手帳、ノートを確認
6	第6章 農産物の加工 第4章 食品加工と 食品衛生	3. 小麦について ①小麦の特性と加工について ②小麦の栽培・収穫方法について(播種:2学期) 4. 食品衛生について ①食品衛生の重要性について ②食品衛生行政について ③食品衛生に関する法律について 期末考査	小麦(夢四方・農林61号)圃場での実習を通して、小麦の特性や栽培、収穫方法について理解する。 小麦の加工原理を理解し、小麦を利用した加工食品のつくりかたを習得する。 小麦の特性とその加工について、ノートを整理し、まとめ、理解を深める。 小麦粉の加工実習を通して、食品の安全を守る食品衛生の重要性を理解する。 食品の安全を守るための食品衛生の重要性を理解する。 HACCPの基礎的な内容を理解する。 食品衛生行政のしくみを理解する。 食品衛生に関する法律には、どのようなものがあるかを理解する。	原材料(小麦)の生産実習への取り組み姿勢を確認 小麦の特性を的確に捉え、観察でき、記録できているか取り組みと実習手帳を確認 収穫実習への取り組みと実習内容を的確にまとめているか、取り組み姿勢と実習手帳、ノートを確認 食品衛生の重要性を理解し、実習に正しく取り組み、記録できているか実習手帳を確認 食品衛生と関係法規を理解でき、食品を取り扱う服装や身だしなみを適切に整えているかを確認
7	(教科書 p77～86、46～49)			
9	第5章 果実類の加工	5. 果実類の加工 ①果実の特徴とその加工品 ②ジャム類 ③果実飲料 ④シラップ漬け ⑤乾燥果実	果実の特徴とその加工原理を理解する。 ブルーベリーを利用した加工実習を通して、ブルーベリーの特徴について理解し、ジャム加工のつくりかたを習得する。 学校農産物(加工用梨)を利用した加工実習をとおして、加工用梨の特徴について理解し、ジャム加工のつくりかたを習得する。	食品衛生を理解し、的確に実習に取り組む姿勢を確認 果実の特徴が理解でき、適切にジャム加工に取り組む姿勢と実習手帳を確認 加工用果実の特徴が理解でき、適切にジャム加工に取り組む姿勢と実習手帳・ジャム加工実習を衛生的に取り組む姿勢を確認
10	第6章 農産物の加工 (教科書 p131～150、87～95)	6. 穀類の加工 ①パン 中間考査	ジャムの加工実習を通して、貯蔵の原理と貯蔵方法を理解する。 パンの製造実習を通して、原材料やパン加工のつくりかたを習得する。	安全に製品をつくることができるか、取り組み姿勢と実習記録・継続的な実習の活動記録が適切にできているか実習手帳を確認 食品衛生が理解でき、適切に製パン実習に取り組む姿勢と実習記録を確認

11	第6章 農産物の加工	ア. 食パン イ. 菓子パン (日本風) ウ. メロンパン エ. デニッシュ ②菓子類	食パンと菓子パンの製造実習を通して、日本風菓子パンを理解する。 食パンや日本風菓子パン、メロンパンのつくりかたを習得する。 デニッシュ生地の製造実習を通して、デニッシュ生地の特徴を理解する。 デニッシュ生地を扱うことで、洋風菓子パンを理解し、つくりかたを習得する。	パン加工について関心が高まり、適切に製パン実習に取り組む姿勢と実習の記録を確認 各種日本風菓子パンの特徴を理解でき、適切に取り組む姿勢と実習記録を確認 デニッシュ生地や各種洋風菓子パンの加工について関心が高まり、特徴を理解でき、適切に製パン実習に取り組む姿勢と実習記録を確認 菓子類の加工について関心が高まり、適切に各種菓子をつくることのできるかを確認
12	(教科書 p87~99、 113~114)	※小麦の播種 7. 農産物の加工 ①いも類の加工 期末考査	ビスケットやスポンジケーキの製造実習を通して、菓子類の特徴を理解する。 洋菓子系の各種菓子のつくりかたを習得する。 ※小麦の播種方法を理解し、習得する。 さつまいも（ベニハルカ）の特徴と加工特性を理解する。	
1	第6章 農産物の加工	(6. 穀類の加工) ③米の加工	さつまいもの加工実習を通して、加工品のつくりかたを習得する。 米の加工実習を通して、米の加工原理を理解する。 米の加工品を理解し、加工品のつくりかたを習得する。	さつまいも加工について関心が高まり、適切に加工実習に取り組む姿勢と実習の記録を確認 米の加工について関心が高まり、食品衛生を理解し、適切に米の加工実習に取り組む姿勢と実習の記録を確認
2	(教科書 p113~ 114、78~81)	学年末考査		
3				

4 評価の観点

関心・意欲・態度	食品（穀類、野菜、果実及び畜産物の加工品並びに発酵食品）について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、品質と生産性の向上並びに衛生管理の徹底を図る能力と態度を身に付けている。
思考・判断・表現	食品製造の現状や今日的な課題を見だし、食品製造にかかわる体験的、継続的な実習を通して、観察、実験、調査、記録などの活動をし、その経過や結果を的確に表現している。
技能	実践的な加工と貯蔵に関する実習と、知識の深化を図る課題解決的な学習活動を通して、基本的な食品の加工と貯蔵に関する基本的、体系的な技術を習得するとともに、各種食品の製造に応用できる体系的な技能を身に付けている。
知識・理解	食品産業が安全な食料を安定的に供給し、人々に豊かな食生活を提供する社会的役割についての基本的な概念や食品の特性と加工方法及び貯蔵の原理を理解し、知識を身に付けている。

5 評価の方法

<p>考査（農業鑑定を含む）、4観点（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解）、出席点を総合的に評価する。</p>
--

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ol style="list-style-type: none"> 1 安全面は重要です。怪我防止の観点からも、実習服等の着用をきちんとしましょう（授業規律）。 2 機器類をたくさん使います。丁寧に扱い、加工室は常に清潔に保ちましょう。 3 出席状況を重視します（出席重視）。 4 自らよく考え、的確に判断しながら行動しましょう（的確な行動）。 5 ノートの提出を確実にしましょう（提出物はきちんと記入する）。

「農業選択」(草花) シラバス

単位数	5 単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A・B組
教科書	草花 (実教出版)	副教材等	自作プリント

1 学習の到達目標

草花の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、草花の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。

2 重点目標

体験的な学習をとおして農業の基礎的な知識・技能の習得を目指す。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第3章 草花の特性と栽培 技術	1 草花の生育と環境 (1) 草花の一生 (2) 光合成 2 品種改良と繁殖 (1) 草花の繁殖方法 (2) 種子繁殖 (3) 栄養繁殖 3 草花の生育と栽培技術 (1) 草花の生育と土・水・肥料 (2) 草花の栽培管理	各内容の講義と実習を併行して実施し、基礎的な事項について反復学習する。 (講義) 2年次の復習 草花の一生について理解する。 光合成について理解する。	授業の準備ができる。(教科書、ノート、実習服、実習手帳等) 学習に興味・関心を持って取り組むことができる。 ノートの記入ができる。 観察記録ノートの記入ができる。 提出物をきちんと提出できる。 必要な管理を理解し、各管理作業を適期に確実にこなうことができる。
5			草花の繁殖方法について理解する。 種子繁殖について理解する。 栄養繁殖について理解する。 草花の生育と土・水・肥料について理解する。	
6	第5章 鉢もの生産	1 鉢もの生産の特色 2 鉢ものの生産資材と商品化技術 (1) 鉢の種類 (2) 用土 (3) 水と肥料 (4) 鉢ものの用途と商品化技術 3 鉢花 (1) 鉢花の種類と栽培上の特性 (2) シクラメン	草花の栽培管理について理解する。 鉢もの生産の特色について理解する。	
7			鉢の種類について理解する。 用土について理解する。 水と肥料について理解する。 鉢ものの用途と商品化技術について理解する。 (講義) 鉢もの生産 鉢花の種類と栽培上の特性について理解する。 シクラメンの栽培管理について理解する。 (実習) シクラメンの栽培(鉢上げから出荷までの各管理作業を継続的にこなう)	
7	第4章 切り花生産	1 切り花生産の特色 (1) 切り花生産の経営と栽培の特性 (2) 切り花の種類と特性 (3) 切り花の栽培と商品化 2 切り花の品質保持 (1) 切り花の品質変化 (2) 切り花の品質管理技術 (3) 品質保持剤 3 一・二年草の切り花	(講義) 切り花生産 切り花生産の経営と栽培の特性について理解する。 切り花の種類と特性について理解する。 切り花の栽培と商品化について理解する。 切り花の品質変化について理解する。 切り花の品質管理技術について理解する。 品質保持剤 アスターの栽培管理について理解する。	
7			(実習) アスターの栽培(播種から収穫までの各管理作業を継続的にこなう) (講義) 花壇用草花生産 花壇用草花生産の特性について理解する。 花壇用草花の栽培管理について理解する。 ハボタンの栽培管理について理解する。 (実習) ハボタンの栽培(播種から出荷までの各管理作業を継続的にこなう)	
7	第6章 花壇用草花生産	1 花壇用草花生産の特色 (1) 花壇用草花生産の特性 2 花壇用草花の生産 (1) 花壇用草花の栽培管理	(実習) アスターの栽培(播種から出荷までの各管理作業を継続的にこなう)	

9	第3章 草花の特性と栽培技術	1 草花の生育と環境 2 品種改良と繁殖 3 草花の生育と栽培技術 3 鉢花	各内容の講義と実習を併行して実施し、基礎的な事項について反復学習する。 (講義) 復習 草花の生育と環境について理解する。 品種改良と繁殖について理解する。 草花の生育と栽培技術について理解する。 (講義) 鉢もの生産	授業の準備ができる。(教科書、ノート、実習服、実習手帳等) 学習に興味・関心を持って取り組むことができる。 ノートの記入ができる。 観察記録ノートの記入ができる。
10	第5章 鉢もの生産	(1) シクラメン	シクラメンの栽培管理について理解する。 (実習)	提出物の提出ができる。 適期に必要な管理を理解し、各管理作業を確実にこなうことができる。
11		(2) シネリリア	(1) シクラメンの栽培(鉢上げから出荷までの各管理作業を継続的にこなう) シネリリアの栽培管理について理解する。 (2) シネリリアの栽培(播種から出荷までの各管理作業を継続的にこなう) (講義) 切り花生産	
	第4章 切り花生産	一・二年草の切り花	ストックの栽培管理について理解する。 (実習) ストックの栽培(播種から収穫までの各管理作業を継続的にこなう) (講義) 花壇用草花生産	
12	第6章 花壇用草花生産	1 花壇用草花生産の特性 ①花壇用草花生産の特性 2 花壇用草花の生産 ①花壇用草花の栽培管理	花壇用草花生産の特性について理解する。 花壇用草花の栽培管理について理解する。 ハボタンの栽培管理について理解する。 (実習) ハボタンの栽培(播種から出荷までの各管理作業を継続的にこなう)	

1	第3章 草花の特性と栽培技術	1 草花の生育と環境 2 品種改良と繁殖 3 草花の生育と栽培技術 3 鉢花	各内容の講義と実習を併行して実施し、基礎的な事項について反復学習する。 (講義) 復習 (講義) 鉢もの生産	授業の準備ができる。(教科書、ノート、実習服、実習手帳等) 学習に興味・関心を持って取り組むことができる。 ノートの記入ができる。 観察記録ノートの記入ができる。
	第5章鉢もの生産	1 鉢もの生産の特色 2 鉢ものの生産資材と商品化技術	シネリリアの栽培管理について理解する。 (実習) シネリリアの栽培(播種から出荷までの各管理作業を継続的にこなう) (講義) 切り花生産	提出物の提出ができる。 適期に必要な管理を理解し、各管理作業を確実にこなうことができる。
	第4章切り花生産	3 1・2年草の切り花	ストックの栽培管理について理解する。 (実習) ストックの栽培(播種から収穫までの各管理作業を継続的にこなう)	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	草花の生産技術の仕組みや草花生産が果たす社会的な意義と役割など、生産と経営の現状や今日的な課題などについて関心を持ち、草花の生産と経営に対して意欲的に取り組む態度を身につけている。
思考・判断・表現	草花の生育状況と環境条件を観察・記録して、今後の生育を予測しながら、作業の適期や方法を判断して適切に実施できる能力を身につけている。
技能	草花の体験的、継続的な栽培活動と、観察、実験、調査、記録などの学習活動をとおして、各種の草花生産に応用できる体系的な技能を身につけている。
知識・理解	草花の生理・生態的な特性や生産に適した環境及びそれらと生育の相互関係などの基本を理解し、各種の草花生産に応用できる体系的な知識を身につけている。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」・「思考・判断・表現」・「技能」・「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> 遅刻、欠席をしない。 授業の準備(授業に臨む気持ち、時間を守る、教科書、ノート、実習手帳、服装、不要な物は持ってこない等)を確実にする。 観察、記録等を丁寧かつ正確におこなう。 作業は丁寧、確実にこなう。(できるようになったらスピードアップ) 次に何をすべきか、常に考える習慣をつける。 コミュニケーション能力を育成する意識を持つ。 <p>以上について意識して授業に臨んでください。</p>
--

令和4年度「農業選択」(野菜) シラバス

単位数	5 単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A組・B組
教科書	野菜 (実教出版)	副教材等	総合実習ノート

1 学習の到達目標

野菜の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、野菜の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を身に付ける。

2 重点目標

- ・温室メロンやトマトの栽培方法について理解する。
- ・生育をよく観察し、状況にあった管理ができるようになる。
- ・丁寧な実習ができ、協力して物事をすすめることができる。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	温室メロンの栽培	第4章 2 温室メロン 1) 栽培上の特性 2) 経営上の特性 3) 作型と品種の 選び方 4) 栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> ・生育の経過について知る。 ・生育に必要な環境と、生育の特性について知る。 ・メロンの生産動向や季節による需用など、経営の特性について知る。 ・作型の種類を知り、良苗の選択を行う。 ・播種の方法と、その後の管理方法を理解する。 ・鉢上げに必要な環境、また徒長や飛び節の原因を知る。 ・定植を行う。 ・整枝、誘引の意義と方法について理解する。 ・雌雄異花の性質と受精から果実肥大、ネット形成までの成長過程を観察し、高品質生産のための管理技術を知る。 	出席状況 服装・教具の整備 行動観察 実習結果 ノート提出
	温室メロンの栽培	中間考査 5) 商品価値を高める技術 6) 栽培の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・玉つりの効果を理解し、技術を習得する。 ・病害虫について知り、その防除方法を理解する。 ・安全な農薬の使用方法を理解する。 ・日よけ掛けの役割と品質との関係を理解する。 ・消費者が求めるメロンとは何かを知る。 ・メロンの収穫をする。 ・出荷時の規格、価格変動について理解する。 ・メロンの玉ふきや仕分け、調整をする。 ・メロンの販売を行う。 	出席状況 服装・教具の整備 行動観察 実習結果 ノート提出
7		期末考査		
9 10	トマトの栽培	5 トマト 1) 栽培上の特性 2) 経営上の特性 3) 作型と品種・ 良苗の選び方 4) 栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> ・生育の経過について知る。 ・生育に必要な環境と、生育の特性について知る。 ・トマトの生産動向や季節による需用など、経営の特性について知る。 ・作型の種類を知り、良苗の選択を行う。 ・播種の方法と、その後の管理方法を理解する。 ・定植を行う。 ・仕立て、誘引の意義と方法について理解する。 ・両性花の性質と受精から果実肥大までの生長過程を観察する。 ・玉つりの効果を理解する。 ・ホルモン処理の役割について理解する。 ・トマトの収穫・調整方法を学ぶ。 	出席状況 服装・教具の整備 行動観察 実習結果 ノート提出
		中間考査		

11	トマトの栽培		<ul style="list-style-type: none"> ・糖度測定、重量測定等の品質検査を学ぶ。 	出席状況 服装・教具の整備 行動観察 実習結果 ノート提出 ワークシート レポート
12			<ul style="list-style-type: none"> ・栄養繁殖野菜の特性について理解する。 ・抽だい・花芽分化のしくみを理解する。 ・感温性と休眠についてその形態を観察する。 ・生理障害の原因とその防止について学ぶ。 ・病害虫の原因とその防除について学ぶ。 	
		期末考査		
1	光環境について	第2章	<ul style="list-style-type: none"> ・植物に対する光の働きについて学ぶ。 	出席状況 服装・教具の整備
	土壌について	2 野菜の栽培環境と生育調節 1) 光環境とその調節 5) 地下部の環境とその調節	<ul style="list-style-type: none"> ・施設栽培での最適な環境を整える。 ・土の物理的性質について知り、構造を理解する。 	行動観察 実習結果 ノート提出
2		学年末考査		
3				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	生産技術の仕組みや野菜生産の果たす社会的な意義や役割などについて関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、労働生産性や資本生産性などの向上を図る能力と態度を身に付けている。
思考・判断・表現	生産と経営の現状や今日的な課題を見だし、野菜にかかわる体験的、継続的な栽培活動を通して、観察、実験、調査、記録などの活動をし、その経過や結果を的確に表現している。
技能	実践的な生産活動と、知識の深化を図る課題解決的な学習活動などを通して、基本的、体系的な技術を習得するとともに、野菜生産などに応用できる体系的な技能を身に付けている。
知識・理解	野菜の生理・生態的な特性や生産に適した環境とそれらと生育の相互関係などの基本的な概念や各種の野菜生産、経営管理や情報管理及びフードシステムを理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ol style="list-style-type: none"> 1 安全面は重要です。怪我防止の観点からも、適切な服装（実習服・安全靴・帽子）で実習しましょう。（授業規律）。 2 出席状況を重視します（出席重視）。 3 自らよく考え、的確に判断し、協力しながら行動しましょう。分からないときはすぐに質問して下さい。 4 ノートの提出をしましょう（提出物はきちんと記入し、期限を守る）。

令和4年度「食品流通」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A・B組
教科書	実教出版 食品流通	副教材等	オリジナルワークシート

1 学習の到達目標

農産物や農産物を原料とする食品の流通に必要な知識と技術を習得し、食品の特性と流通構造を理解するとともに、食品の流通と管理の合理化を図る能力を育てる。

2 重点目標

身近な米、青果物、畜産物等の流通について基礎的な知識を習得する。また、世界の食料事情や日本の食糧需給について理解し、食料の安定的な供給について関心を高める。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	現代生活と食品流通	流通の始まりと発展	私たちの生活と流通 自給自足、物々交換から市へ 近代的な流通の発展	流通とは何かを理解できる（ワークシート分析） 生活と流通の関わりについて興味を持って学ぶことができる（ワークシート分析） 生産と消費のへだたりについて理解し、これを説明することができる（班別学習行動観察） 流通の働きについて、身近な事例を参考にして考察する（班別学習行動観察） 青果物の商品特性について学ぶ（ワークシート分析） 青果物の消費・購入の変化と流通変化の関係について、グラフを読み解くことができる（ワークシート分析）
		流通の働き	生産と消費のへだたり 物流、商流、情報流 流通と費用	
5	おもな食品の流通	青果物の流通 中間考査	流通を支えるしくみ 青果物の商品特性と卸売市場 青果物流通の変化と急増する輸入青果物	
6	現代生活と食品流通	食品流通の役割	生活に欠かせない食品流通 食品流通に求められるもの	食品流通の重要性について資料を活用することができる。また、食品流通に求められる安定性、安全性、効率性についてグラフ等を活用して表現できる（ワークシート分析） 所得水準と食料消費の関連について興味をもって学ぶことができた（班別学習行動観察） 外国と比べ、日本の食料消費の特徴について理解できる。また、世界の食料生産と人口について、グラフ等で表現することができた（ワークシート分析） 国際食料価格の特徴と貿易の流れについて、資料を参考に説明できる（班別学習行動観察）
		経済発展と食糧消費	経済システムの基本 所得水準と食料消費	
7	経済活動と食料	世界の食料事情 期末考査	増加する人口と食料生産 世界の食料需給、輸出する国、輸入する国 グローバル化する食品流通の意義と問題点	
9	経済活動と食料	日本の食生活、食料需給と自給率	日本の食生活 日本の食料需給と農産品貿易 日本の食料自給率	日本の食料消費の変化について興味をもって学んだ（班別学習行動観察） 食料生産・輸出入の動向について資料を活用できる（班別学習行動観察）
10	おもな食品の流通	米の流通	食品としての特性 米の分類・種類 流通制度 検査と表示制度 商品としての特性	日本の自給率の動向について、グラフや表を理解できる（ワークシート分析） 米の食品特性と流通について、興味をもって学ぶことができた（ワークシート分析）
		麦の流通 中間考査	麦の種類と用途 小麦粉の流通	麦の商品特性と流通について理解することができた（ワークシート分析） 小麦粉の特性と製品について、身近な商品から考えることができる（班別学習行動観察）

				別学習行動観察)
11	経済活動と食料 食品流通のしくみと働き	私たちがとりまくフードシステム 食品流通の特徴 食品流通のしくみ 価格の形成と流通経費	フードシステムのしくみ フードシステムを構成する産業 商品と生産、需用の特徴 流通経路と担い手 卸売業者、小売業者 価格の決定 販売価格の形成	食品流通の位置づけを理解することができた(ワークシート分析) フードシステムのしくみについて説明できる(班別学習行動観察) 商品としての食品の特徴を理解できた(ワークシート分析) 食品の需用の特性についてグラフや表で示すことができる(ワークシート分析) 流通経路の概要を知り、卸売業者や小売業者の役割について説明することができた(班別学習行動観察)
12	おもな食品の流通	畜産物の流通 期末考査	食肉の商品特性 食肉の種類と流通 牛乳・乳製品の流通	畜産物の商品特性と流通について、興味をもって学ぶことができた(班別学習行動観察)
1	食品の品質と規格	食品の品質と安全性	食品の品質と機能	食品にどのような役割があるか興味をもって学ぶことができる(班別学習行動観察)
2	食品マーケティング	食品マーケティング	食品の信頼と安全性 マーケティングの始まりと供給過剰の時代	食品の品質と安全性について説明することができる(班別学習行動観察) マーケティングの意味と、生じた背景について理解できる(ワークシート分析)
2		加工食品の流通	加工食品の商品特性 加工食品の多様性と流通 地場加工食品と流通	加工食品の多様性と日本の生んだ加工食品について資料を活用し、わかりやすく発表できる(班別学習行動観察)
3		学年末考査		

4 評価の観点

関心・意欲・態度	食料消費の動向やフードシステムの役割などについて関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに品質を保持するために流通の効率化と管理の合理化を図る能力と態度を身に付けている。
思考・判断・表現	食品流通の現状や今日的な課題を見だし、農産物の流通を中心とした食料供給に関する分野における自らの職業生活、企業倫理や責任、環境への負荷について考え、その経過や結果を的確に表現している。
技能	地域の農産物や加工食品などの具体的事例の学習を通して、流通経路、品質と規格、輸送と保管、マーケティングなど食品流通に関する基礎的、体系的な技能を身に付けている。
知識・理解	食品の特性と流通構造及び農産物の輸出入の増加や食に対する安全・安心の観点から、安全な食品の供給に必要な組織についての基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。

5 評価の方法

オリジナルワークシートの分析、班別行動・発表の行動観察、授業の行動観察、定期考査、出席状況等を観点別に評価する。 上記4観点を総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>(1) オリジナルワークシートは提出となります。しっかり授業に参加して記入し、提出しましょう。提出されたオリジナルワークシートは必ず添削して返却します。このワークシートは態度(平常点)等で評価しますので必ず毎回提出してください。</p> <p>(2) 班別のグループ学習やビデオ視聴を行います。スーパーの広告についての分析や牛乳の飲み比べを行うなど、身近な食材の流通を題材としたグループワークです。受け身ではなく、主体的に行動し、意見をまとめたり発表したりしましょう。</p> <p>(3) 食品流通の教科書は毎時間活用します。常に机の上に置いておきましょう。</p>

「選択2 グリーンライフ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	自動車科 3年C組 情報処理科 3年D組
教科書	グリーンライフ (実教出版)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

交流・余暇活動の展開に必要な知識と技術を習得し、農業や農村のもつ多面的な機能と対人サービスの特性を理解するとともに、交流、余暇活動を導入した経営の改善を図る能力と態度を育てる。

2 重点目標

体験的な学習をとおして地域理解を深め、地域資源の発見に努める。
農場内にある資材や生産物を使って、ものづくり体験する。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 グリーンライフの世界	1 人間生活とグリーンライフ	人間生活とグリーンライフについて理解する。	授業の準備ができる。(教科書, ノート等) 学習への取組態度 ノートの記入ができる。 観察記録ノートの記入ができる。 提出物の提出ができる。 適期に必要な管理を理解し, 各管理作業を確実にすることができる。
		3 グリーンライフの学びの世界	グリーンライフの学びの世について理解する。	
5	第2章 農業・農村の機能の発見と活用	自然環境と農業・農村の発見・活用	自然環境と農業・農村の発見・活用について理解する。 ・ 自然観察 (定点スケッチ等) ・ 地域を知る (周辺地域の散策・調査・地域マップの作成) ・ 環境整備活動	
		地域農産物の発見と栽培・加工	地域農産物の発見と栽培・加工について理解する。 ・ 地域特産物の調査 ・ 作物の栽培実習 ・ 調理実習 ・ 作品製作	
6	第1章 グリーンライフの世界	2 グリーンライフと交流・余暇活動型経営	グリーンライフと交流・余暇活動型経営について理解する。	定期考査
	第2章 農業・農村の機能の発見と活用	自然環境と農業・農村の発見・活用	自然環境と農業・農村の発見・活用について理解する。 ・ 自然観察 (定点スケッチ等) ・ 地域を知る (周辺地域の散策・調査・地域マップの作成) ・ 環境整備活動	
		地域農産物の発見と栽培・加工	地域農産物の発見と栽培・加工について理解する。 ・ 地域特産物の調査 ・ 作物の栽培実習 ・ 調理実習 ・ 作品製作	
7			定期考査 (期末)	

9	第2章 農業・農村の機能の 発見と活用	自然環境と農業・農村の発見・活用 地域農産物の発見と栽培・加工	自然環境と農業・農村の発見・活用について理解する。 ・ 自然観察（定点スケッチ等） ・ 地域を知る（周辺地域の散策・調査・地域マップの作成） ・ 環境整備活動	授業の準備ができる。（教科書，ノート等） 学習への取組態度 ノートの記入ができる。 観察記録ノートの記入ができる。 提出物の提出ができる。 適期に必要な管理を理解し，各管理作業を確実に行うことができる。 定期考査
10			地域農産物の発見と栽培・加工について理解する。 ・ 地域特産物の調査 ・ 作物の栽培実習 ・ 調理実習 ・ 作品製作	
11				
12			定期考査（期末）	
1	第2章 農業・農村の機能の 発見と活用	自然環境と農業・農村の発見・活用 地域農産物の発見と栽培・加工	自然環境と農業・農村の発見・活用について理解する。 ・ 自然観察（定点スケッチ等） ・ 地域を知る（周辺地域の散策・調査） ・ 環境整備活動	授業の準備ができる。（教科書，ノート等） 学習への取組態度 ノートの記入ができる。 観察記録ノートの記入ができる。 提出物の提出ができる。 適期に必要な管理を理解し，各管理作業を確実にすることができる。 定期考査
2			地域農産物の発見と栽培・加工について理解する。 ・ 作物の栽培実習 ・ 調理実習 ・ 作品製作	
3				
			定期考査（学年末）	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	農村の豊かな自然や景観，農業・農村の面的機能を活用した交流や余暇活動に興味・関心をもち，農業・農村の特性の活用した対人サービスに関する実地的・体験的な学習をとおして，栽培，加工や自然体験の援助などを取り入れた経営改善を図る態度を身に付けている。
思考・判断・表現	地域調査の記録や国民の価値観の変化，また参加者ニーズと対人サービスとの関連を多面的に考察し，農業・農村の持つ魅力を再発見することで課題を適切に判断するとともに，その課題解決のためにプレゼンテーションができる能力を身に付けている。
技能	交流・余暇活動の展開に必要な基礎的・基本的な知識と技能を身に付け，農業や農村のもつ多面的な機能とそれを活用した対人サービスを適切に実施するとともに，それらを導入した経営についての考察などを的確に表現する。
知識・理解	交流・余暇活動の展開に必要な基礎・基本的な知識と技術を身に付け，農業や農村のもつ多面的な技能と対人サービスの特性を理解し，交流，余暇活動を導入した経営の必要性について理解している。

4 評価の方法

定期考査，4観点（関心・意欲・態度，思考・判断・表現，技能，知識・理解）の4観点から評価基準に従い，総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス，授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻，欠席をしない。 ・授業の準備（授業に臨む気持ち，時間を守る，教科書，ノート，不要な物は持ってこない等）を確実にする。 ・課題解決の意識を持ち，何をすべきか，常に考える習慣をつける。 ・コミュニケーション能力を育成する意識を持つ。 <p>以上について意識して授業に臨んでください。</p>
--

「選択3 農業経営」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A組・B組
教科書	農業経営 (実教出版)	副教材等	わたしたちのJA

1 学習の到達目標

農業経営の情報や農業経営と管理に必要な知識と技術を習得させ、農産物流通におけるマーケティングの必要性和重要性を理解させるとともに、経営管理の改善を図る能力と態度を育てる。また、農業経営における課題を把握することで、食料・農業・農村にかかわる政策の必要性を理解し、今日的な課題を解決しようとする能力と態度を育てる。

2 重点目標

- ・農業の基本的な知識と技術を習得する。
- ・農産物流通におけるマーケティングの必要性和重要性、及びGAPを活用した経営改善を考える能力と態度を身につける。
- ・農業経営における今日的な課題を解決しようとする能力と態度を身につける。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 農業の動向と 農業経営 1 日本と世界 の農業 2 農業・農村 と食料・環境 3 こんにちは の農業経営	①世界の農業の現状 ②世界と日本農業の動向 ③食糧の需給と貿易 ①農業・農村の機能と役割 ②食料と農業 ③農業と環境保全 ④農業と地域社会 ①持続的農業の進展と有機農産物 ②農業経営の変化 中間考査	世界の農業の現状について学ぶ。 世界と日本農業の動向について理解できる。 食料の需給と貿易について理解できる。 農業・農村の機能と役割について学ぶ。 食料と農業について理解できる。 農業と環境保全について理解できる。 農業と地域社会について理解できる。 持続的農業の進展と有機農産物について理解できる。 農業経営の変化について理解できる。	行動観察 ノート・課題提出 中間考査
5	第2章 農業経営の組織と運営 1 農業経営の主体と目標 2 農業経営の要素 3 農業経営組織の組み立て 4 農業経営の集約的取り組みと法人化 5 農業経営の運営	①さまざまな農業経営 ②農業経営の目標 ①生産と経営の要素 ②生産要素の特性と利用 ①農業経営組織 ②経営部門の選択 ③農業経営組織のなりたちと組み立て ①農業経営の集約的取り組み ②農業法人経営 ①経営者能力と管理運営 ②農業経営の集約化 ③経営の規模拡大 期末考査	さまざまな農業経営について興味関心を持つことができる。 農業経営の目標について理解できる。 生産と経営の要素について理解できる。 生産要素の特性と利用について理解できる。 農業経営組織について理解できる。 経営部門の選択について理解できる。 農業経営組織のなりたちと組み立てについて理解できる。 農業経営の集約的取り組みについて理解できる。 農業法人経営について理解できる。 経営者能力と管理運営について理解できる。 農業経営の集約化について理解できる。 経営の規模拡大について理解できる。	行動観察 ノート・課題提出 期末考査
6	第3章 農業経営と情報 3. 農業のマーケティング	①農産物流通と市場 ②農産物流通とマーケティング 中間考査	マーケティングとは何かを理解する。 また、その活動や農業におけるマーケティングの特徴を理解する。新聞等の資料を読み、理解を深める。 農産物における「取引＝市場」を理解し、農産物市場の役割と農産物価格の特徴を理解する。 供給と需要の特徴を理解し、農産物の価格形成のしくみを理解する。 農産物の特徴を再確認しながら、生鮮農産物のいろいろな流通経路について理解する。新聞等の資料を読み、理解を深める。 農産物流通のパターンと価格について理解する。 卸売市場について理解する。 共同販売とその有利性を理解し、マーケティングの重要性を知る。「規模の経済」を理解する。 いろいろな流通の工夫について、新聞等の資料を読み、マーケティングが必要	行動観察 ノート・課題提出 中間考査
7	9	10		

			<p>であることの理解を深める。 マーケティングの発展的段階を理解する。</p>	
11		<p>③農協のマーケティング ④農業経営者のマーケティング</p> <p>期末考査</p>	<p>農協の販売について理解し、農業経営におけるマーケティングが重要であることを理解する。新聞等の資料を読み、実例を探し、具体的な取り組みについて理解を深める。農協以外の販売について、資料等を読み、理解を深める。 時代の変化に対応したマーケティングを理解する。 農産物市場の二極化について理解し、具体的な事例を新聞等の資料等から見つけ、まとめる。農協のいろいろなマーケティング戦略について、資料を読み、まとめ、理解を深める。一件の農家がどのように販売しているか理解する。 4つのPを理解し、トータルマーケティングの重要性を理解する。 新聞等の資料から、魅力ある農産物をアピールする表示を見つけるなど、トータルマーケティングについて理解を深める。GAPによる農場管理等を理解し、農業の経営改善について理解を深める。</p>	<p>行動観察 ノート・課題提出 期末考査</p>
12				
1	4. 農業経営の社会環境	<p>①農業経営にとっての地域 ②農業政策と食料政策</p> <p>学年末考査</p>	<p>地域社会における、集落、混住化、都市化について理解する。 農業経営における地域の実態について理解する。</p>	<p>行動観察 ノート・課題提出 学年末考査</p>

4 評価の観点

関心・意欲・態度	農業経営に関する諸課題について興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	農業経営に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技能	農業経営に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業に関する諸課題を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	農業経営に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業の意義や役割を理解している。

5 評価の方法

4 観点について（定期考査・出席状況を含む）総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・遅刻、欠席をしない。
 - ・授業の準備（授業に臨む気持ち、時間を守る、教科書、ノート、服装、不要な物は持ってこない等）を確実にする。
 - ・専用ノートを使用して、（ルーズリーフ可）毎時間きちんと整理し、プリント、定期考査問題は貼付する。
 - ・課題解決の意識を持ち、何をすべきか、常に考える習慣をつける。
 - ・授業中はコミュニケーション能力を育成する時間であり、質問、意見は必要に応じて積極的にする。
- 以上について意識して授業に臨んでください。

「択4 食品製造」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A組・B組
教科書	食品製造 (実教出版)	副教材等	教員作成プリント

1 学習の到達目標

食品製造に必要な知識と技術を習得し、食品の特性と加工方法及び貯蔵の原理を理解するとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。

2 重点目標

- ・食品衛生の知識やHACCPの基礎的な内容を理解し、食品の加工・製造の実験に取り組む態度と姿勢を身につける。
- ・食品の特性や加工方法、原理を理解するための能力と態度を身につける。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第4章 食品加工と 食品衛生	I. 食品と 食品衛生	食品の安全を守るための食品衛生の重要性を理解する。 HACCPの基礎的な内容を理解する。	食品衛生への関心が高まり、適切な身だしなみで実験に取り組めるかを確認
5	第6章 農産物の加工 1. 穀類の加工 ③小麦 ④パン	II. 食品の加工 1. グルテンの抽出 (p85) 2. 強力粉と薄力粉の特性 (p82~86)	グルテンの抽出実験を通して、グルテンの特性を理解する。 クッキーの製造実験を通して、強力粉と薄力粉の特性を理解し、つくりかたを習得する。 クッキーのつくりかたを理解し、各班で副材料を計画・準備し、班毎でクッキーを製造する。	小麦粉生地への関心が高まり、グルテンの特性が理解でき、適切に実験に取り組む姿勢と実験の記録を確認 副材料を適切に選択し、班で協力することができ、安全に実験に取り組む姿勢と実験の記録を確認
6	第8章 発酵食品の製造 ①発酵食品とは ②発酵食品と微生物	3. イースト発酵 (p88、196~199) (発酵について)	基本的なパンの製造を通して、イースト発酵の原理を理解し、つくりかたを習得する。 基本的なパンの製造法を理解し、自分の力で製造する。	発酵への関心が高まり、パンの製造をすることができるかを確認 副材料を的確に選択することができ、班で協力し合い実験に取り組んでいるかを確認 食品衛生を理解し、適切にべ製造に取り組む姿勢と実験の記録を確認
7	第4章 食品加工と 食品衛生 4. 食品添加物	4. 食品添加物 (p62~64)	各種果実から天然酵母を抽出する方法を理解する。 抽出した天然酵母から発酵種をつくる実験を通して、天然酵母と発酵について理解する。 マフィンの製造を通して、膨張剤(ベーキングパウダー)の働きを理解する。	天然酵母への関心が高まり、天然酵母を取り出し、発酵種をつくることができるかを確認 発酵の理解を深めることができたか実験の記録を確認 食品添加物への関心が高まり、膨張剤の働きを理解し、適切に加工品を製造することができるかを確認
9	第2章 食品製造の基礎 第6章 農産物の加工 5. 果実類の加工	5. 果実の加工とゲル化(タンパク質の凝固) (p28、136)	実験をしてきた内容をまとめ、理解を深める。 寒天とゼラチンの比較実験を通して、果実加工とゲル化のしくみを理解し、寒天やゼリーのつくりかたを習得する。 寒天やゼリーのつくりかたを理解し、各班で副材料を計画・準備し、班毎で寒天とゼリーを製造する。	取り組んできた実験を的確にまとめられているかノートを 確認 果実加工とゲル化への関心が高まり、適切に実験に取り組む姿勢と実験の記録を確認 寒天とゼラチンの特性が理解でき、適切に実験に取り組む姿勢と実験の記録を確認 副材料を的確に選択することができ、班で協力し適切に実験に取り組む姿勢と実験の記録を確認
10	第7章 畜産物の加工 3. 鶏卵の加工	6. 小麦粉と卵の加工品 (p190~194)	期末考査 洋菓子の製造を通して、小麦粉(薄力粉)と卵の特性を理解し、 (1) マドレーヌのつくりかたを習得する。 (2) パウンドケーキのつくりかたを習得する。 (3) パウンドケーキのつくりかたを理解し、各班で副材料を計画・準備し、班毎でパウンドケーキを製造する。	小麦粉と卵の加工への関心が高まり、適切に実験に取り組む姿勢と実験の記録を確認 副材料を的確に選択することができ、班で協力し適切に実験に取り組む姿勢と実験の記録を確認

11	(第7章 畜産物の加工 3. 鶏卵の加工) 第6章 農産物の加工 6. めん類 3. いも類の加工	(6. 小麦粉と 卵の加工品) (p190~194) (p102~105) 7. 学校農産物 を 利用した加工 品 (p113~114) 期末考査	(4) 麵の製造を通して、小麦粉(強力粉)と卵の特性 を理解し、 ①うどんのつくりかたを習得し、強力粉と薄力粉の比 較実験をする。 ②パスタのつくりかたを習得する。 さつまいも(ベニハルカ)の特性を理解し、いも類の 加工品を製造する。 発酵パンと学校産の米粉を利用したパンの製造をと おして、発酵と米の利用を理解する。 比較実験することで、特性を理解する。 実験をしてきた内容をまとめ、理解を深める。	麵の加工品への関心が高ま り、適切にうどんを製造する ことができるかを確認 小麦粉の種類を理解し、班で 協力し、適切にパスタの製造を することができるかを確認 学校農産物を利用すること への関心が高まり、適切に実験 に取り組む姿勢と実験の記録 を確認 発酵と米粉の利用への関心 が高まり、適切に実験に取り組 む姿勢と実験の記録を確認 小麦と米の比較ができ、考察 や結論を実験の記録で確認 各種実験のまとめを適切に できているかノートを確認
1 2 3	1. 穀類の加工 ②米	8. 発酵パンと 米粉の利 用 (p80・81・87~ 95) p80・81) 学年末考査	実験をしてきた内容をまとめ、理解を深める。	米の特性を理解し、杵と臼を 適切に扱うことができるかを 確認 二次加工への関心が高まり、 適切に米の加工をすることが できるかを確認 各種実験のまとめを適切に できているかノートを確認

4 評価の観点

関心・意欲・態度	食品(穀類、野菜、果実及び畜産物の加工品並びに発酵食品)について関心を持ち、意欲的に探究しようとする とともに、品質と生産性の向上並びに衛生管理の徹底を図る能力と態度を身に付けている。
思考・判断・表現	食品製造の現状や今日的な課題を見だし、食品製造にかかわる体験的、継続的な実習を通して、観察、実験、調 査、記録などの活動をし、その経過や結果を的確に表現している。
技 能	実践的な加工と貯蔵に関する実習と、知識の深化を図る課題解決的な学習活動を通して、基本的な食品の加工と貯 蔵に関する基本的、体系的な技術を習得するとともに、各種食品の製造に応用できる体系的な技能を身に付けている。
知 識 ・ 理 解	食品産業が安全な食料を安定的に供給し、人々に豊かな食生活を提供する社会的役割についての基本的な概念や食 品の特性と加工方法及び貯蔵の原理を理解し、知識を身に付けている。

5 評価の方法

考査(農業鑑定を含む)、4観点(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解)、出席点を総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ol style="list-style-type: none"> 安全面は重要です。怪我防止の観点からも、実習服等の着用をきちんとしましょう(授業規律)。 機器類をたくさん使います。丁寧に扱い、加工室は常に清潔に保ちましょう。 出席状況を重視します(出席重視)。 自らよく考え、的確に判断しながら行動しましょう(的確な行動)。 ノートの提出を確実にしましょう(提出物はきちんと記入する)。

「選択4 植物バイオテクノロジー実践」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A・B組
教科書	植物バイオテクノロジー (実教出版)	副教材等	自作ワークシート

1 学習の到達目標

科目「植物バイオテクノロジー」で身に付けた態度及び知識・技術を基礎として、農業の各分実で活用する能力や、実生活に応用できる実践力を育てる。またその技術を安全に配慮しながら活用したり、関連産業の発展や持続可能な社会づくりに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。

2 重点目標

- ・無菌操作・培養ができるようになる。
- ・バイオテクノロジー技術の可能性と、農業や環境分野に応用する技術を体験し、有用性を理解する。
- ・適切な服装や態度で実習にのぞみ、班員と協力しながら、安全に実験を進めることができるようになる。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	植物組織培養の実際	実験計画と進め方 安全管理 実験の基礎技術 培地作成の基礎 計量器具の取り扱い	実験室での注意事項を学ぶ。 器具、機器の名称や用途を覚える。 電子天秤、メスシリンダー、ピペット類を用いた試薬の計量を行う。	口頭試問 ワークシート分析 行動観察・結果確認 記録状況・結果確認
		固形培地作成 細菌類の培養	PDA培地の作成手順の習得と特性を理解する。 身の回りに生息するカビ、バクテリアの採取・培養を行う。 培養物の観察を行い、スケッチする。	記録状況・結果確認 行動観察・結果確認 記録状況
5	植物組織培養の実際	pHとは 調整方法	ムラサキキャベツ搾汁を用いたpH比色実験を行う。	行動観察・結果確認
		復習	板書ノート・ワークシートを整理し、学習内容の整理定着と、わかりやすいノート作成を行う。	ワークシート分析
6	植物組織培養の実際	無菌播種法 無菌操作の基礎	H培地を作成する。 培地、器具等の殺菌、滅菌を行う。 クリーンベンチの使用方法を学ぶ。	記録状況・行動観察 行動観察 結果確認・行動観察
		胚軸培養	人工気象器を教材として、培養条件（温度・光条件）の設定を行う。 培養物を観察し、スケッチする。 MS培地（ホルモンフリー）を作成する。 クリーンベンチの使用方法を学ぶ。 外植体（胚軸）の摘出を行う。 作成した培地に置床する。 暗黒培養について培養条件（温度条件・暗黒培養）を設定する。	機器操作 記録状況 結果確認・行動観察 結果確認・行動観察 結果確認・行動観察 結果確認・行動観察 結果確認・行動観察
7	植物組織培養の実際	復習	学習内容の整理板書ノート・ワークシートを整理し、学習内容の整理定着と、わかりやすいノート作成を行う。	ノート分析 期末考査
		期末考査		
9	植物組織培養の実際	不定胚誘導培養	カルスの観察を行う。 MS培地（オーキシン添加）を作成する。 ホルモンの効果についてカルスの変化を観察して学ぶ。 培地、器具等の殺菌、滅菌を行う。 クリーンベンチの使用方法を学ぶ。 不定胚誘導に適した培養条件を設定する。 MS培地（ゲランガム使用）を作成する。	記録状況 記録状況・結果確認 結果確認・行動観察 結果確認・行動観察 結果確認・行動観察 機器操作 結果確認・行動観察

10		器官培養 復習	不定芽誘導培養適した外植体を選定する。 培地、器具等の殺菌、滅菌を行う。 クリーンベンチの使用方法を学ぶ。 不定芽・不定根誘導について培養条件を設定する。 板書ノート・ワークシートを整理し、学習内容の整理定着と、わかりやすいノート作成を行う。	結果確認・行動観察 結果確認・行動観察 結果確認・行動観察 機器操作 ノート分析
11	植物組織培養の実際	遺伝資源の保存	希少植物の増殖方法と遺伝子汚染について学ぶ。 H培地を作成する。 培地、器具等の殺菌、滅菌を行う。 クリーンベンチの使用方法を学ぶ。	記録状況 記録状況・結果確認 結果確認・行動観察 結果確認・行動観察
12		DNAとは 微生物による水質浄化 復習 期末考査	野菜からのDNA抽出 DNAの観察 バイオカプセルの作成 板書ノート・ワークシートを整理し、学習内容の整理定着と、わかりやすいノート作成を行う。	機器操作 口頭試問 結果確認・行動観察 ワークシート分析 口頭試問 結果確認・行動観察 ノート分析 期末考査
1	植物組織培養の実際 バイオテクノロジー 技術の応用2	順化 インビトロプラ ントの作成 復習 学年末考査	ハードニングの方法と効果について学ぶ。 植え込み材料の選定し、植えつける MS培地作成（染料使用）を作成する。 培地、器具等の殺菌、滅菌を行う。 クリーンベンチの使用方法を学ぶ。移植する。 板書ノート・ワークシートを整理し、学習内容の整理定着と、わかりやすいノート作成を行う。 実技試験	ワークシート分析 行動観察・結果確認 行動観察・結果確認 行動観察・結果確認 行動観察・結果確認 ワークシート分析 行動観察・結果確認 学年末考査

4 評価の観点

関心・意欲・態度	植物バイオテクノロジーの意義や役割など、植物バイオテクノロジーの現状や今日的な課題などに関心を持っている。組織培養技術を利用して野菜等の品質改善を図るなど農業の各分野で活用する能力が身に付いている。
思考・判断・表現	品種改良など利便性の追求とともに安全性の確保を図ることの重要性を理解している。植物を中心としたバイオテクノロジー関連分野における自らの職業生活について考えている。
技能	組織培養などの体験的な学習を通して、無菌操作、培養、順化等に関する技術を習得している。
知識・理解	植物体のもつ分化全能性等の特性とバイオテクノロジーの技術的特質について理解している。農業の各分野におけるバイオテクノロジーの意義や役割を理解している。細胞や遺伝子の構造を理解し、遺伝子の組換えや細胞融合の仕組みに関する知識が身に付いている。

5 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・出席を常にしてください。 ・実習を伴う科目です。実習に必要な教具を準備し、適切な服装で参加してください。（白衣は貸し出します） ・ワークシート、定期考査問題等を整理するために、糊、ハサミを各自で用意してください。 ・各実習内容の原理や意味を考えながら実習してください。 ・ノート提出を定期的に行われます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。 ・安全に配慮して、実習してください。

選択4 「グリーンライフ」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸 科 3年 AB組
教科書	グリーンライフ (農文協出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

農林業・農山村の特色を生かした生活体験を提供する活動に必要な知識と技術を習得させ、地域資源の有用性を理解させるとともに、地域に根ざした事業の振興に寄与できる能力と態度を育てる。

2 重点目標

農場内にある資材や生産物を使って、ものづくり体験をする。
農村の魅力と利用について認識する。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 グリーンライフの世界 第2章 農業・農村の機能の 発見と活用	1 人間生活とグリーンライフ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界のグリーンライフの潮流を学ぶ ・余暇活動の変遷を学ぶ ・身近な地域の魅力を発見する ・大栄農場の観察 	大栄農場の観察 地形・樹木・雑草等を観察 ワークシート
5		1 農業・農村の魅力 (作品制作)	<ul style="list-style-type: none"> ・農村での地域興しの例をあげる ・農村の資源と文化を知る ・タケの利用を学ぶ ・竹垣を作る 	ワークシート 農村の分化を考える 竹の特徴を理解する 作品制作 行動観察
6		2 自然環境と農業・農村の発見 (作品制作)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の発見 ・自然の特徴と自然環境の活用を知る ・農業・農村体験の例をあげる ・観賞炭作りと炭の利用 ・農産物の加工 ・和紙の利用 	農村での体験例を挙げる ワークシート 行動観察 作品制作 行動観察 ワークシート
7		3 農業・農村の機能 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・農村景観・文化の活用例をあげる ・地域農産物の加工 ・里山の自然 ・ルーラルアメニティーについて 	農村の機能を考える 里山の特徴を考える ノート 行動観察
9	第3章 グリーンツーリズム	1 グリーンツーリズムの特徴と歩み	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの取り組みとその特徴 	ワークシート ノート 行動観察
10		2 おもな取り組み 3 農業・農村生活の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムと農業・農村 ・稲わらの利用 ・ミニ門松作り ・シュロ縄の結び方 	ワークシート 稲わらを準備できる 男結びができる 行動観察

11	第4章 市民農園	1 市民農園の特徴とあゆみ体験例	<ul style="list-style-type: none"> 市民農園とそのあゆみ 市民農園のタイプと特徴 	あゆみと現状を理解する ノート
12		2 市民農園と農業・農村生活の向上 (作品制作) 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 新たな活動への発展 交流による生活文化の向上 ミニ門松作り 稲わらの編み込み 竹の準備 	農村との関係を考える ノート 作品制作 行動観察 編み込みができる
1	第5章 観光農園、直売所	1 観光農園、直売所の特徴とあゆみ 2 直売所と農業・農村生活の向上	<ul style="list-style-type: none"> 観光農園、直売所とその特徴 観光農園、直売所のあゆみ 直売所のタイプとその特徴 地域の活性化と文化と生活の向上 	現状を理解し特徴を考える ノート 行動観察 直売所のあゆみを考える

3 評価の観点

関心・意欲・態度	グリーンライフに関する諸課題について関心を持ち、その普及や改善を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	グリーンライフに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識を基に、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技能	都市部におけるグリーンライフのニーズを理解し、農林業・農山村の多面的機能や地域資源の有用性を発揮するために必要な、基礎的な技術を扱うことができる。
知識・理解	グリーンライフに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、グリーンライフの意義や役割を理解している。そして、その力を諸課題の解決に向けて、生かすことができる。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の4観点から評価基準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>遅刻・欠席をしない。</p> <p>授業の準備（時間を守る、教科書、ノート、服装等）を確実にする。</p> <p>実習を伴うので、実習服の準備を忘れない。</p> <p>作品制作があるので、作業は丁寧に確実に進行。また、のこぎり等の工具を使うので安全に留意する。</p> <p>コミュニケーション能力を育成する意識を持つ。</p>
--

「総合実習（時間割外）」（果樹）シラバス

単位数	1 単位（時間割外に実施）	学科・学年・学級	園芸 科 3年 AB組
教科書	果樹（実教出版）	副教材等	総合実習ノート

1 学習の到達目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得し、経営と管理についての理解を深めるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を身に付ける。

2 重点目標

- ・一年間の果樹の栽培管理を理解する。
- ・果樹（ナシ・カキ・ウメ・キウイフルーツ・ブドウ等）の生育管理と剪定を理解する。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	果樹の栽培技術	(1) ナシの摘蕾	ナシの受粉・開花特性を理解する。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認 ・ネット設置の確実性と作業に対する積極的な姿勢である。（行動観察）
5		(2) ネット張り	ナシネット設置の意味を理解し、病虫害・気象災害防除の大切さを理解する。	
6		(3) ナシの摘果	ナシの着果特性と摘果の目的を学習し、摘果法を理解する。	
7	果樹の栽培技術	(4) ウメの収穫と調整	ウメの収穫法と調整法を学び、果実の価値や需要等を学習する。	・摘果の目的を理解し、幼果への観察力、摘果する果実の判断力がついた。（行動観察） 果実収穫に取り組む姿勢と技能を評価し、販売実習におけるコミュニケーション力を評価。（行動観察） ・袋掛けの正確な作業、実習への積極的な姿勢である。（行動観察）
7		(5) 袋掛け	袋掛けの意味を学習し、果実に対する市場での評価を理解する。	
10	果樹の栽培技術	(6) ナシ・クリの収穫と調整	ナシの収穫法と調整法を学び、果実の価値や需要等を学習する。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認 ・実習をとおして、果実収穫に取り組む姿勢と技能を評価し、販売実習におけるコミュニケーション力を評価する。（行動観察）

11		(7) ナシの病害虫対策	落葉片付け (埋設) 及び粗皮削り	<ul style="list-style-type: none"> ・実習をととしてナシの病害虫防除方法を理解し、実践できる。 (行動観察) ・スコップ・熊手等の用具とブロー等の農業機械を正確そして安全に扱うことができる。 (行動観察)
12		(7) 剪定	ウメ・カキの剪定方法を学習する。	
1	果樹の栽培技術		ナシ・キウイフルーツ・ブドウ・の剪定方法を学習する。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な果樹の剪定技術の習熟度を評価する。(行動分析) ・用具の知識と正しい使用法を評価する。(行動分析) ・基本的な果樹の剪定技術の習熟度を評価する。(行動分析) ・用具の知識と正しい使用法を評価する。(行動分析)
2				
3				

4 評価の観点

関心・意欲・態度	農業の各分野の実験・実習など実際の、体験的な学習を通して、農業の各分野に関心を持ち、意欲的に取り組もうとするとともに、勤労観や職業観を育成する態度を身に付けている。
思考・判断・表現	農業の各分野の体系化、総合化された知識と技術を習得し、経営や管理の改善に必要な企画力、管理能力、問題解決能力やコミュニケーション能力などを身に付け、自らの考えを的確に表現している。
技能	生産や経営管理における知識や技術の役割を理解し、農業生産や経営管理の各場面に応用し、活用することができる技能を身に付けている。
知識・理解	農業の各分野の実験・実習など実際の、体験的な学習を通して、各分野の体系化、総合化された知識と技術を理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

5 評価の方法

出席、ノート提出及び、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> ・出席を常にしてください。 ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。 ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、記入してください。 ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。 ・実習ノート提出を定期的にしてもらいます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。 ・安全に配慮して、実習してください。
--

「総合実習（時間割外）」（作物）シラバス

単位数	1 単位（時間割外に実施）	学科・学年・学級	園芸 科 3年 AB組
教科書	作物（実教出版）	副教材等	総合実習ノート

1 学習の到達目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得し、経営と管理についての理解を深めるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

2 重点目標

- ・時間厳守、適切な服装や態度で実習にのぞむ。
- ・実習内容を記録できるようになる。
- ・畑作物の栽培方法について学習し理解する。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	春作物（果菜類）	春作物について	<ul style="list-style-type: none"> ・本校栽培の春作物について学習する。 ・圃場について理解する。 ・露地栽培について知る。 ・早生栽培について学習する。 ・普通栽培について学習する。 ・早生栽培との違いを理解する。 ・マルチの種類を学習する。 ・根菜類について知る。 ・果菜類との違いを理解する。 ・栽培の準備物を知る。 ・豆類の特性について学習をする。 ・圃場管理の内容を理解する。 ・雑草について学習する。 	実習服を正しく着用できているか確認する。 早生栽培の目的が理解できたか。 農具を適切に使用できたか確認する。 果菜類の管理が適切にできたか確認する。 豆類の栽培方法が理解できたか。 除草作業が適切におえたか。
	露地作物栽培	早生栽培について		
	マルチ栽培	普通栽培について		
	根菜類の栽培	根菜類について		
5	豆類の栽培	豆類について		
	圃場管理	作付品目について		
6	露地圃場管理	根菜類の栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・根菜類の定植方法を理解する。 ・根菜類の定植をする。 ・畝間の除草をする。 ・株間、畝間を理解する。 ・害虫防除について学習する。 ・コムギの準備について学習する。 ・コムギの収穫について理解する。 ・収穫後の管理内容を理解する。 ・根菜類の畝間の除草作業の意味について理解する。 ・果菜類の収穫適期を理解する。 ・果菜類の収穫をする。 ・果菜類の調整をする。 ・収穫後の植物残渣処理の目的を理解する。 	安全に実習できているか確認する。 定植が適切か確認する。 除草作業が適切か確認する。 小麦について理解できたか確認する。 収穫の作業について理解できたか。 病害虫防除について理解できたか確認する。 植物残渣を処理できたか確認する。
	露地圃場管理	コムギ収穫準備		
	果菜類の管理	コムギ収穫、調整		
	露地圃場管理	根菜類の管理		
7		果菜類の収穫		
		果菜類の調整 果菜類の片付け		
9	秋作物（根菜類）	秋作物とは 作付準備 秋作物播種	<ul style="list-style-type: none"> ・秋作物について理解する。 ・秋作物について作付準備をする。 ・播種する作物について学習する。 ・秋作物を播種する。 ・大栄農場の場所を知る。 ・ソバについて学習する。 ・ソバの刈り取り方法を理解する。 ・除草作業を行う。 ・間引きなど管理実習を行う。 ・根菜類の病害虫防除を適切に行う。 ・根菜類の収穫適期を学ぶ。 ・試し掘りをして成長度合いを理解する。 ・根菜類の収穫を実際に行う。 ・根菜類の調整作業について理解する。 ・実際に調整作業を行う。 	実習服を正しく着用できているか確認する。 作付に気を付けるポイントが分かったか確認する。 適切な播種方法で評価する。 ソバについて学習状況を評価する。 根菜類について管理ができたか確認する。 収穫時期を判断できたか評価する。 調整作業ができた
	大栄農場管理	ソバ播種について		
	圃場管理	根菜類の管理		
10	収穫調整	根菜類収穫		
		根菜類調整		

				か評価する
11	収穫 調整 コムギ管理	秋作物の収穫 根菜類の調整 コムギ播種準備について コムギの播種	<ul style="list-style-type: none"> 秋作物収穫適期を学習する。 秋作物の収穫方法を理解する。 実際に収穫を行う。 収穫後の調整作業を理解し、行う。 収穫可能なものを暫時収穫していく。 収穫可能なものを暫時収穫していく。 コムギ播種について必要な農機具の取扱いについて学習する。 コムギについて学習する。 コムギ播種について学習する。 実際にコムギを播種する。 秋作物に使用した被覆資材などを片付ける。 収穫後の植物残渣の適切な処理方法を学習する。 圃場から植物残渣を取り除く。 ソバの調整方法を理解する。 	秋作物の収穫適期を判断できるか確認する。 収穫作業ができているか評価する。 調整作業ができているか評価する。 コムギの種子について理解できたか確認する。 ソバの収穫について理解できたか確認する。
12	圃場管理 ソバ管理	秋作物管理 ソバ収穫調整について		
1	コムギ管理	麦踏み作業について	<ul style="list-style-type: none"> コムギ栽培に必要な知識を理解する。 麦踏みの目的を理解する。 コムギの麦踏みを行う。 露地圃場の片付け方法を学ぶ。 植物体の撤去をおこなう。 	作業服を適切に着られているか確認する。 コムギの管理作業が適切か確認する。 春作に必要な作業が出来るか確認する。
2	露地圃場管理 コムギ管理	春作の準備について 麦踏み作業について	<ul style="list-style-type: none"> 麦踏みの目的を理解する。 コムギの麦踏みを行う。 	麦踏みの内容について理解できたか作業で確認。 分げつ時期が理解できたか確認。
	圃場管理	区分けと春作準備について	<ul style="list-style-type: none"> 根菜類植え付けに必要な条件を学習する。 実際に根菜類を植え付ける。 コムギの分げつを理解する。 分げつに必要な条件を学習する。 露地圃場に必要の元肥について理解する。 堆肥の散布を行う。 栽培する場所の区分けを行う。 	春作物の準備ができたか確認。 作型について理解できたか確認する。
	春作物管理	育苗作業について		
3	春作物播種	直まきについて	<ul style="list-style-type: none"> 早生栽培をする作物の播種をする。 発芽に必要な温度条件や水分条件を学習する。 春作に必要な資材を圃場に準備する。 種子の下準備について学習する。 	圃場管理が適切に行えたか評価する。 種子について理解できたか確認する。

4 評価の観点

関心・意欲・態度	農業の各分野の実験・実習など実際の、体験的な学習を通して、農業の各分野に関心を持ち、意欲的に取り組もうとするとともに、勤労観や職業観を育成する態度を身に付けている
思考・判断・表現	農業の各分野の体系化、総合化された知識と技術を習得し、経営や管理の改善に必要な企画力、管理能力、問題解決能力やコミュニケーション能力などを身に付け、自らの考えを的確に表現している。
技能	生産や経営管理における知識や技術の役割を理解し、農業生産や経営管理の各場面に応用し、活用することができる技能を身に付けている。
知識・理解	農業の各分野の実験・実習など実際の、体験的な学習を通して、各分野の体系化、総合化された知識と技術を理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

5 評価の方法

出席状況、実習手帳提出及び関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の4観点から評価規準に従い総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> 出席を常にしてください。 実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。 毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、記入してください。 次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。 実習ノート提出を定期的に行ってもらいます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。 安全に配慮して、実習してください。

「総合実習」(食品製造) シラバス

単位数	1 単位 (時間割外に実施)	学科・学年・学級	園芸 科 3年 AB組
教科書	食品製造 (実教出版)	副教材等	教員作成プリント、実習ノート

1 学習の到達目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得し、経営と管理についての理解を深めるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

2 重点目標

小麦の加工 (パン製造) を中心として、食品製造に必要な基本的な知識・技術を習得する。また、これらの体験学習を通して、ものづくりの基礎的知識、技術を身に付け、社会で必要な関心・意欲・態度を養う。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第5章 果実類の加工	1. ブルーベリーと園圃管理について ①ブルーベリーについて ②圃場づくり ③定植方法について	ブルーベリー園の圃場づくりや定植等の実習を通して、栽培方法や管理方法について理解する。 ブルーベリーの品種や特性等についても実習ノートにまとめ、理解を深める。 茶園管理や機械の整備等の実習を通して、茶園の管理・茶樹の管理方法について理解する。	果実の栽培や管理実習への取り組み姿勢を確認 品種や特性を的確に捉え、観察でき、記録できているか取り組みと実習手帳を確認 栽培や管理方法について、取り組み姿勢や実習手帳を確認 茶の特性の理解、観察を的確に記録できているか実習手帳を確認
5	付録 茶 (教科書 p131～p136、234、235)	2. 茶園管理について ①茶について ②茶樹の管理 ③茶樹浅刈り	座学においても、茶についての実習ノートを整理し、まとめ、理解を深める。	茶園管理に使用する機械や器具を適切に取り扱うことを確認 実習内容をノートに整理し、圃場での栽培や管理方法が理解できているか実習手帳、ノートを確認
6	第6章 農産物の加工 第4章 食品加工と 食品衛生	3. 小麦について ①小麦の特性と加工について ②小麦の栽培・収穫方法について (播種: 2学期) 4. 食品衛生について ①食品衛生の重要性について ②食品衛生行政について ③食品衛生に関する法律について	小麦 (夢四方・農林6 1号) 圃場での実習を通して、小麦の特性や栽培、収穫方法について理解する。 小麦の加工原理を理解し、小麦を利用した加工食品のつくりかたを習得する。 小麦の特性とその加工について、ノートを整理し、まとめ、理解を深める。 小麦粉の加工実習を通して、食品の安全を守る食品衛生の重要性を理解する。	原材料 (小麦) の生産実習への取り組み姿勢を確認 小麦の特性を的確に捉え、観察でき、記録できているか取り組みと実習手帳を確認 収穫実習への取り組みと実習内容を的確にまとめているか、取り組み姿勢と実習手帳、ノートを確認 食品衛生の重要性を理解し、実習に正しく取り組み、記録できているか実習手帳を確認 食品衛生と関係法規を理解でき、食品を取り扱う服装や身だしなみを適切に整えているかを確認
7	(教科書 p77～86、46～49)		食品の安全を守るための食品衛生の重要性を理解する。 食品衛生行政のしくみを理解する。 食品衛生に関する法律には、どのようなものがあるかを理解する。	
9	第5章 果実類の加工	5. 果実類の加工 ①果実の特徴とその加工品 ②ジャム類 ③果実飲料 ④シラップ漬け ⑤乾燥果実	果実の特徴とその加工原理を理解する。 ブルーベリーを利用した加工実習を通して、ブルーベリーの特徴について理解し、ジャム加工のつくりかたを習得する。 学校農産物 (加工用梨) を利用した加工実習をとおして、加工用梨の特徴について理解し、ジャム加工のつくりかたを習得する。	食品衛生を理解し、的確に実習に取り組む姿勢を確認 果実の特徴が理解でき、適切にジャム加工に取り組む姿勢と実習手帳を確認 加工用果実の特徴が理解でき、適切にジャム加工に取り組む姿勢と実習手帳を確認 ジャム加工実習を衛生的に取り組む姿勢を確認 安全に製品をつくることができるか、取り組み姿勢と実習記録を確認
10	第6章 農産物の加工 (教科書 p131～150、87～95)	6. 穀類の加工 ①パン	ジャムの加工実習を通して、貯蔵の原理と貯蔵方法を理解する。 パンの製造実習を通して、原材料やパン加工のつくりかたを習得する。	継続的な実習の活動記録が適切にできているか実習手帳を確認、食品衛生が理解でき、適切に製パン実習に取り組む姿勢と実習記録を確認

11	第6章 農産物の加工	ア. ロールパン イ. 菓子パン	ロールパンと菓子パンの製造実習を通して、日本風菓子パンを理解する。 日本風菓子パン等のつくりかたを習得する。 準備、製造、販売までの一連の流通の過程を学び、実践を行う。	パン加工について関心が高まり、適切に製パン実習に取り組む姿勢と実習の記録を確認 各種日本風菓子パンの特徴を理解でき、適切に取り組む姿勢と実習記録を確認
12	(教科書 p87～99、 113～114)	※小麦の播種	小麦の播種方法を理解し、習得する。	
1	第6章 農産物の加工	②菓子類	ビスケットやスポンジケーキの製造実習を通して、菓子類の特徴を理解する。 洋菓子系の各種菓子のつくりかたを習得する。	菓子類の加工について関心が高まり、適切に各種菓子をつくることのできるかを確認
2				
3				

4 評価の観点

関心・意欲・態度	農業の各分野の実験・実習など実際の、体験的な学習を通して、農業の各分野に関心を持ち、意欲的に取り組もうとするとともに、勤労観や職業観を育成する態度を身に付けている
思考・判断・表現	農業の各分野の体系化、総合化された知識と技術を習得し、経営や管理の改善に必要な企画力、管理能力、問題解決能力やコミュニケーション能力などを身に付け、自らの考えを的確に表現している。
技能	生産や経営管理における知識や技術の役割を理解し、農業生産や経営管理の各場面に応用し、活用することができる技能を身に付けている。
知識・理解	農業の各分野の実験・実習など実際の、体験的な学習を通して、各分野の体系化、総合化された知識と技術を理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

5 評価の方法

出席状況、ノート提出及び関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の4観点から評価規準に従い総合的に評価する。
--

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> ・出席を常にしてください。 ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。 ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、記入してください。 ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。 ・実習ノート提出を定期的にしてもらいます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。 ・安全に配慮して、実習してください。
--

総合実習（時間割外） 「草花」 シラバス

単位数	1 単位（時間割外に実施）	学科・学年・学級	園芸 科 3年 AB組
教科書	草花（実教出版）	副教材等	総合実習ノート

1 学習の到達目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

2 重点目標

草花は毎日の観察が必要であり、管理作業等も日常的に行い、手間を掛けることを認識する。
草花栽培の管理を習得する。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	花壇用草花の育苗	<ul style="list-style-type: none"> ・サルビア ・マリーゴールド ・ニチニチソウ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポット上げ用の土作り 土壌ふるい機の扱い 土の種類と配合 ポリポット土詰め ・発芽後の管理 （かん水、置肥、殺虫剤 ずらし、・3.5号ポットに移植 よい苗、悪い苗の判別 ・各種子のは種と管理 	実習ノート 行動観察 土詰めができる 苗のポット上げができる 実習ノート 行動観察
	ドライフラワー用の草花の栽培 花壇用草花の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・センニチコウ ・ニゲラ ・カイザイク 春苗の利用	駅前花壇の植栽	花を収穫し乾燥ができる 実習ノート 行動観察
6	切り花栽培	バラの管理	<ul style="list-style-type: none"> ・追肥 ・農薬散布 殺菌剤、殺虫剤 	実習ノート 行動観察 追肥と農薬の散布ができる 作品評価 行動観察
	販売実習 鉢花用草花の栽培 園芸デザイン	バラの利用 花壇用草花	<ul style="list-style-type: none"> ・コサージュ作り ・アレンジの練習 ・花壇苗の出荷（販売） 	実習ノート 行動観察
7	鉢花用草花の栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーブ類 草花の栄養繁殖	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーブ類の繁殖 ・発根後の管理 ・花の収穫と乾燥 ・花の染色 ・花の保存 	実習ノート 行動観察
9	花壇用草花の育苗	・パンジー	<ul style="list-style-type: none"> ・は種床作り ・は種（は種機使用） ・は種後の管理 かん水、通風、 ・よい苗、悪い苗の判別 ・エチオール・ゴニアの鉢上げ 	実習ノート 行動観察 は種トレイの準備ができる 自動は種機が使える
	鉢物用草花	草花の栄養繁殖		実習ノート
	ドライフラワーの利用	ドライフラワーの作品製作	<ul style="list-style-type: none"> ・壁掛け ・竹の利用 ・ボトルの利用 	実習ノート 行動観察
10	切り花栽培	バラの管理	<ul style="list-style-type: none"> ・追肥 ・農薬散布 殺菌剤、殺虫剤 	作品評価 行動観察 実習ノート 行動観察

11	花壇用草花の利用 ドライフラワーの利用	校内花壇植栽 ドライフラワーの作品制作	<ul style="list-style-type: none"> ・円形花壇にパンジー、葉ボタンを植える ・プランター植え ・リース作り 	実習ノート 行動観察 花壇植栽とプランター植えができる 作品評価 行動観察 販売実習ができる 実習ノート 行動観察
12	販売実習	シクラメン	<ul style="list-style-type: none"> ・シクラメンの出荷前調整の仕方を身につける ・客に対する接し方 	実習ノート 行動観察 温室の制御が理解できる
1	生産施設	草花の生産施設・設備とそ の利	<ul style="list-style-type: none"> ・環境制御温室 天窓、側窓の自動開閉 液肥の循環、 ・暖房設備 温湯、電熱線 ・自動かん水 	実習ノート 行動観察
2	切り花生産 花壇用草花の生産	バラの剪定 花壇用草花の生産の準備 花壇用草花のは種 花壇用草花のは種 花壇用草花のは種 1年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・露地植えのバラ、鉢植えのバラの剪定 ・草花用土作り 赤土、腐葉土、堆肥の特徴 マリーゴールドは種 サルビアは種 マリーゴールドは種 	実習ノート 実習ノート 行動観察 実習ノート 行動観察 実習ノート 行動観察
3			記録簿の点検、次年度の栽培計画	実習ノート 行動観察

3 評価の観点

関心・意欲・態度	草花栽培の実際的・体験的な学習を通して、生産管理や流通に関心を持ち、意欲的に取り組もうとするとともに、勤労観を身につけている。
思考・判断・表現	草花栽培の知識と技術を習得し、生産管理の維持、改善に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力などを身に付け、自らの考えを的確に表現している。
技 能	草花生産における知識や技術の役割を理解し、草花生産の各場面に応用し、活用することができる技能を身に付けている。
知 識 ・ 理 解	草花栽培の実際的・実験的な学習を通して、草花の体系化、総合化された知識と技術を理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」・「思考・判断・表現」・「技能」・「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

出席を重視します。 実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し参加して下さい。 毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し記入して下さい、 実習ノートの提出を定期的に行ってもらいます。 安全に配慮して行動して下さい。

「総合実習（時間割外）」（野菜）シラバス

単位数	1 単位（時間割外に実施）	学科・学年・学級	園芸 科 3年 AB組
教科書	野菜（実教出版）	副教材等	総合実習ノート

1 学習の到達目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得し、経営と管理についての理解を深めるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を身に付ける。

2 重点目標

- ・適切な服装や態度で実習にのぞみ、実習内容を記録できるようになる。
- ・露地野菜（トウモロコシ・カボチャ・ダイコン・レタス等）の栽培方法について理解する。
- ・販売実習を通して、高校生としてふさわしい態度で、お客様とのコミュニケーションが取れるようになる。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	トウモロコシ・カボチャの栽培	野菜類の育苗技術	農具の使用方法・管理方法を学ぶ。 育苗上の注意を学ぶ。 苗の管理技術を学ぶ。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
5		露地栽培における果菜類の栽培	トンネル被覆による効果を学ぶ。 カボチャの定植を行う。 整枝を行う。 誘引を行う。	
6	トウモロコシ・カボチャの栽培	施設・トンネル使用による早出し栽培	トウモロコシの収穫適期の見分け方を学ぶ。 トウモロコシを収穫し、計量・調整を行う。 販売実習を行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
7			病害虫防除の方法について学ぶ。 追肥を行う。 カボチャの収穫を行う。 販売実習を行う。	
			農業鑑定競技会として実施	
9	ブロッコリー・レタス・ダイコンの栽培	露地栽培における葉菜類の栽培	育苗トレイを使用し、ブロッコリー・レタスのは種を行う。 かん水を行う。 トンネルの開閉、温室窓の開閉による温度調整技術を学ぶ。 定植を行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
10		露地栽培における根菜類の栽培	土壌の適性pHを測定する。 苦土石灰を作目に応じたpH調整を行う。 ダイコンのは種を行う。 ハウレンソウのは種を行う。 病害虫防除の方法について学ぶ。	

11	ブロッコリー・レタス・ダイコンの栽培	露地栽培における根菜類の栽培	ブロッコリーを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 レタスを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 ハウレンソウを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
12			ダイコンを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 販売実習を行う。 農業鑑定競技会として実施	
1	土壌について	土壌の種類・性質	土壌消毒を行う。 病害虫対策の方法を学ぶ。 雑草対策の方法を学ぶ。 土壌の適性pHを測定する。 苦土石灰を作目に応じたpH調整を行う。土の性状 土質・土の性状 肥料配合を行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認 意見発表会原稿評価で代替
2	野菜の育苗	野菜類の育苗技術	施肥技術について学ぶ。 マルチングを行う。 セル成形苗を育苗する。 播種を行う。	
3			ポリポットの種類・使用方法について学ぶ。 鉢上げを行う。	

4 評価の観点

関心・意欲・態度	農業の各分野の実験・実習など実際の、体験的な学習を通して、農業の各分野に関心を持ち、意欲的に取り組もうとするとともに、勤労観や職業観を育成する態度を身に付けている。
思考・判断・表現	農業の各分野の体系化、総合化された知識と技術を習得し、経営や管理の改善に必要な企画力、管理能力、問題解決能力やコミュニケーション能力などを身に付け、自らの考えを的確に表現している。
技能	生産や経営管理における知識や技術の役割を理解し、農業生産や経営管理の各場面に応用し、活用することができる技能を身に付けている。
知識・理解	農業の各分野の実験・実習など実際の、体験的な学習を通して、各分野の体系化、総合化された知識と技術を理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

5 評価の方法

出席、ノート提出及び「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・出席を常にしてください。 ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。 ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、記入してください。 ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。 ・実習ノート提出を定期的に行われます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。 ・安全に配慮して、実習してください。
--

令和4年度 自動車科「課題研究」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	自動車科 3年 C組
教科書	無	副教材等	無

1 学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

2 重点目標

自分で工業に関する課題を見つけ、自ら学び自ら考え、主体的に判断し、問題をよりよく解決しようとする資質や能力を育成する。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	テーマ設定・班編成	計画を立案する	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の研究内容について、自発的に計画を立案する。 ・各班と個人の興味・関心と技術の相関性を考えた上で行動できている。 	行動観察・実験分析 【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【技能】 【知識・理解】
		班別研究 計画と活動 技術確認	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った活動を行う。 ・調査・研究・実験を繰り返し、テーマ作品を製作する。 ・技術を学び確認する。 	
5	研究過程	調査・研究・実験	<ul style="list-style-type: none"> ・各テーマの経過観察を行い、進捗度をはかり、計画を確認する。 	
6				
7				
9	研究過程	調査・研究・実験	<ul style="list-style-type: none"> ・各テーマの経過観察を行い、進捗度をはかり、計画を確認する。 	
10				

11	中間発表	小御門祭での発表	・文化祭で展示、発表のために、製作物、展示物を完成させる。	
12	研究過程	調査・研究・実験	・各テーマの経過観察を行い、進捗度をはかり、計画を確認する。	
1	研究発表	プレゼンテーション	・プレゼンテーションソフトを使用して、研究発表をわかりやすくプレゼンする。 ・1年生、2年生ともに発表見学を行い、評価アンケートを実施する。	行動観察・ 課題研究報告書 分析 【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【技能】 【知識・理解】
2				
3				

4 評価の観点

関心・意欲・態度	課題研究に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけさせる。
思考・判断・表現	課題研究に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。
技 能	課題研究の分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、物作りを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知 識 ・ 理 解	課題研究の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。

5 評価の方法

作品製作・実験に対する取組む姿勢や、課題研究報告書から【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】【技能】【知識・理解】を総合的に判断し評価する。

6 担当者からのメッセージ

日頃より、課題を見つけ調査し、技術や産業、または工業の発展と生活とのかかわり方を考えておくとよい。

令和4年度 自動車科 3年「実習」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	自動車科 3年 C組
教科書	無	副教材等	3級自動車ガソリン・エンジン／ 3級自動車ジーゼル・エンジン／ 3級自動車シャシ (社団法人日本自動車整備振興会連合会出版)

1 学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育てる。

他の科目で習得した工業や自動車に関する知識や技能を十分活用して、実習中のいろいろな事象を科学的に考察し、学習した技術を応用するなど理論と実際を総合的に学習する。また、協力・責任・勤労など整備士として望ましい態度や習慣を身に付ける。

2 重点目標

実車や部品に触れながらよく観察をすることで、目には見えない電気や圧力の動きについて想像力を働かせながら考察し、理論と実際を総合的に学習する。

2 学習の計画

ローテ	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1	ジーゼル・エンジン	3グループ3ローテーションで実施 ・ジーゼル・エンジンの基礎 ・燃料噴射ポンプ ・燃料噴射ノズル ・黒煙テスター ・実技試験	・ガソリン・エンジンとの相違点を中心にジーゼル・エンジンの基礎を学ぶ。 ・使用工具の名称と取り扱いを確認する。 ・ポンプを分解する。 ・構造と原理を学習する。 ・部品点検・測定を行う。 ・ポンプを組み立てる。 ・試運転を行う。 ・ノズルテスターを使ってノズルの燃料噴射行程を観察する。 ・排気ガスの測定を行う。 ・実習報告書の作成および実技試験を通して理解を深め、学習内容を確認する。	学習活動の観察 【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【技能】 【知識・理解】 筆記・実技試験・ 作品製作・実習報告書 【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【技能】 【知識・理解】
2	法令に基づく自動車整備作業 法令に基づく自動車検査作業	・法令に基づく自動車整備作業について ・フロントディスクブレーキの整備作業 ・リヤドラムブレーキの整備作業 ・フロントホイールアライメントについて ・法令に基づく自動車検査作業について	・道路運送車両法に基づく整備について理解する。 ・作業項目を確認・理解する。 ・フロントディスクブレーキを分解する。 ・各部品を点検し、再使用の可否及び修理の必要性の有無を判断する。 ・フロントディスクブレーキを組み立てる。 ・リヤドラムブレーキを分解する。 ・各部品を点検し、再使用の可否及び修理の必要性の有無を判断する。 ・リヤドラムブレーキを分解する。 ・各部品を点検し、再使用の可否及び修理の必要性の有無を判断する。 ・リヤドラムブレーキを組み立てる。 ・キャンバ・キャスタ・キングピン傾角の役割を確認・理解する。 ・キャンバ・キャスタ・キングピン傾角をそれぞれ測定し、必要に応じて調整する。 ・道路運送車両法に基づく検査項目を確認・理解する。使用する検査機器の名称と取り扱いを確認する。	

		<ul style="list-style-type: none"> ・法令に基づく自動車整備作業後の検査作業 ・大型車の整備 ・実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキテストによる制動力検査を行う。 ・スピードテストによる速度計の精度検査を行う。 ・サイドスリップテストによるタイヤの横滑り量検査を行う。 ・ヘッドライトテストによる光軸の測定・調整を行う。 ・排気ガステストによるCO・HC濃度の測定・調整を行う。 ・騒音計による排気騒音の測定を行う。 ・実習報告書の作成と実技試験を通して理解を深め、学習内容を確認する。 ・実車の整備作業を通して、大型自動車と普通自動車、トラックと乗用車の相違点について学ぶ。 ・実習報告書の作成および実技試験を通して理解を深め、学習内容を確認する。
3	電気装置	<ul style="list-style-type: none"> ・充電装置 オルタネータ ・実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用工具の名称と取り扱いを確認する。 ・オルタネータを分解する。 ・部品を点検する。 ・構造と原理を学習する。 ・オルタネータを組み立てる。 ・試運転を行う。 ・実習報告書の作成および実技試験を通して理解を深め、学習内容を確認する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・始動装置 スターター モータ ・実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・スターターモータを分解する。 ・部品を点検する。 ・構造と原理を学習する。 ・スターターモータを組み立てる。 ・試運転を行う。 ・実習報告書の作成および実技試験を通して理解を深め、学習内容を確認する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・点火電装品 ・実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイテンションコードを点検する。 ・コンデンサを点検する。 ・イグニッションコイルを点検する。 ・スパークプラグの火花試験を行う。 ・配線図の読み方を習得する。 ・実習報告書の作成および実技試験を通して理解を深め、学習内容を確認する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・シャシ電装品 ・実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャシ電装部品の構造を観察し、回路図を作成する。 ・水温センサーの抵抗特性を実験・観察する。 ・電気配線図の読み方を習得する。 ・実習報告書の作成および実技試験を通して理解を深め、学習内容を確認する。

3 評価の観点

関心・意欲・態度	工業技術に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	工業技術に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技 能	工業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知 識 ・ 理 解	工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。

4 評価の方法

各パートで実施する実習・実験に対する取組む姿勢や、実習報告書・作品等の提出物または試験（口頭・実技・筆記）から【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】【技能】【知識・理解】を総合的に判断し評価する。
ただし、評価においては全パートを通して判断するため、特定のパートにおいて実習報告書・作品等が未提出、または試験に不合格の場合は欠点とする。また試験は定期考査と関係なく各パートの終了時に行うこととする。

5 担当者からのメッセージ

どの単元でも構造や原理が重要になってきます。2年次までの授業内容をしっかり復習して授業に臨んでください。
実習報告書等の提出期限は必ず守ってください。

令和4年度 自動車科「原動機」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	自動車科 3年 C組
教科書	原動機（実教出版）	副教材等	無

1 学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、原動機によりエネルギーを有効活用することに必要な資質・能力を育成する。

2年次「原動機」で学習した性能試験と流体実験をさらに深化させ、実験を通して流体の性質と力学を理解し、エネルギー変換と環境についての知識を習得する。自動車の性能試験を通して、熱エネルギーと機械的仕事から熱力学と力学の関わりを理解する自動車の性能試験を通じて自動車の安全にかかわる基本技術を理解する。

2 重点目標

性能試験を通して自動車のエンジン性能を含めた各種性能を理解する。
流体実験を通して流体機械について動作原理を理解する。

3 学習の計画

ローテ	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
	2グループ2ローテーションとして実施			
1	性能試験	<p>シャシダイナモメーターの取り扱い</p> <p>定常性能と過渡性能</p> <p>シャシダイナモメーターによる自動車の各種性能試験</p> <p>電子制御燃料噴射装の学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シャシダイナモメーターへの車両の設置と固定、各種センサー類の取り付けを行う。 ・シャシダイナモメーター制御用ソフトのパラメータ設定および操作方法を学ぶ。 ・負荷装置（リターダー）により一定負荷を加えた場合の定常性能と等価慣性質量（ローラー）により加速抵抗を加えた場合の過渡性能の違いについて学ぶ。 ・定地走行燃費試験を行う。 ・モード燃費試験を行う。 ・加速時燃費試験を行う。 ・馬力試験を行う。 ・シャシダイナモ試験を行う。 ・シミュレーション試験を行う。 ・電子制御燃料噴射装置について学習する。 	<p>学習活動の観察</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【技能】</p> <p>【知識・理解】</p> <p>作品製作・実技試験</p> <p>・実習報告書</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【技能】</p> <p>【知識・理解】</p>
	ガソリンエンジンの故障探求	<p>故障診断装置の種類と測定可能項目</p> <p>ダイアグノーシス診断装置を用いたエンジン点検および故障探究</p> <p>オシロスコープを用いたエンジン点検および故障探究</p> <p>総合診断装置を用いたエンジン点検および故障探求</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・故障診断装置の歴史と種類について学ぶ。 ・故障診断装置の種類によって診断可能な測定項目が違うことを理解する。 ・国際規格によってデータ化が義務づけられている故障履歴データをダイアグノーシス診断装置を用いて読み出し、エンジン点検及び故障探究を行う。 ・オシロスコープを用いて各種センサーの入出力波形を観察し、エンジン点検及び故障探求を行う。 ・自動車メーカーが提供している各種データを総合診断装置（スキャンツール）により比較することによって、エンジン点検および故障探求を行う。 	

2	流体実験	流体と流れの分類	<ul style="list-style-type: none"> 流体において、圧縮性と非圧縮性、粘性と非粘性があり、粘性がある圧縮性流体と粘性がない非圧縮性流体（完全流体）では物体周りの流れに大きな違いがあることを実験を通して理解する。 	
		レイノルズ数	<ul style="list-style-type: none"> 物体の大きさ、流れの速さ、流体の粘性の大きさが物体周りの流れに及ぼす影響を実験を通して理解する。 	
		圧縮性粘性流体の流れと物体間に発生する抗力	<ul style="list-style-type: none"> 圧縮性粘性流体を代表して、空気の流れと物体間の抵抗について実験を通して理解する。 	
		風洞実験装置の種類	<ul style="list-style-type: none"> 風洞実験装置について、基本構造（各部の役割）と種類について学ぶ。 	
		簡易風洞実験装置による代表的形状周りの流れ	<ul style="list-style-type: none"> 板、立方体、円柱、角柱、球といった代表的な形状の物体周りの流れを観察し、物体の形状と流れの間にはどのような関係があるのかを考察する。 	
		簡易風洞実験装置による代表的形状間の抗力の測定	<ul style="list-style-type: none"> 流れが及ぼす代表的な形状の物体に作用する抗力を測定した結果から物体周りの流れと抗力との関係を考察する。 	
		抗力低減形状物体の製作	<ul style="list-style-type: none"> 実験と考察の結果から、同一な投影面積の物体において、より抗力を低減できる形状を考察し模型を製作する。 	
		製作した模型の風洞実験	<ul style="list-style-type: none"> 製作した模型周りの流れの観察、抗力の測定を通して物体形状と流れの関係についての理解を深める。 	

4 評価の観点

関心・意欲・態度	各種原動機に関心を持ち、エネルギー消費と環境問題との関連を図る。新エネルギーの活用などに、意欲的に探究しようとするとともに、安全に有効活用する能力を身につけている。
思考・判断・表現	原動機が社会生活や産業において果たしている重要性を見だし、新エネルギーの活用について探求し、報告書として提出できる。
技能	流体実験や性能試験実習を通して、基本操作を習得するとともに、それらの課程や結果を的確に記録、整理、探究する技能を身に付けている。
知識・理解	流体機械の構造、機能を理解し、基本的な力学計算能力を身に付けている。また、性能試験の基本を理解し自動車関連法規の概要を理解している。

5 評価の方法

<p>【関心・意欲・態度】、【思考・判断・表現】、【技能】および【知識・理解】の4観点から総合的に評価する。</p> <p>ただし、評価においては全パートを通して判断するため、特定のパートにおいて実習報告書・作品等が未提出、または試験に不合格の場合は欠点とする。</p> <p>また試験は定期考査と関係なく各パートの終了時に行うこととする。</p>
--

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>安全で正しい実験実習の手順を学んだ後、正確な実験を行い、その結果を忠実にまとめることにより、理論が理解できる。実験・実習を伴うので事故がないよう心がけること。実験結果をきちんと考察しレポートにまとめ上げることが重要である。</p>
--

令和4年度 自動車科「自動車工学」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	自動車科 3年 C組
教科書	自動車工学1 (実教出版)	副教材等	令和2年度法令／3級自動車ガソリン／3級自動車シャシ (社) 日本自動車整備振興会連合会) 自動車整備士学科試験過去問題集 (整研出版社)

1 学習の到達目標

自動車の構造と機能に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。

2 重点目標

国家資格である自動車整備士 (三級ガソリンエンジン, 三級ジーゼルエンジン, 三級自動車シャシ) 3種目の合格を目指す。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	電気装置 整備 始動装置	半導体 バッテリー 電装整備 始動装置の構成	半導体の特性, 自動車における用途を考えながら学習する。 自動車シャシ分野の電気装置について概要を学ぶ。 バッテリーの用途, 構成部品, 種類について学ぶ。 バッテリーの進化と取り扱いについて詳細を学習する。 電気装置の構造を理解し整備の本質を学ぶ。 始動装置の機能についてプリントに記入しながら内容を整理し学習する。	学習活動の観察 【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【技能】 確認小テスト 【技能】 【知識・理解】 練習問題 【技能】 【知識・理解】
5		始動装置の種類 構造 機能 整備 中間考査	減速装置について学習する。 小テストを実施し理解度を把握し, プリントに記入しながら内容を整理する。 整備について機器の起こりうる現象を整理し理解できる。	ノート提出 【思考・判断・表現】 【技能】 【知識・理解】
6	充電装置 法令	概要 構造 機能 整備	充電装置の構成部品についてICTを活用して, 実物観察。 実際に走行する自動車を映像で見ながら学習する。 始動装置の種類について学ぶ。 始動装置の構造・機能・整備について学ぶ。	中間考査 【技能】 【知識・理解】
7		総則 定義 「道路運車両法」 自動車の種別 自動車の登録等 保安基準 抹消登録 道路運送車両 期末考査	自動車の種別について別表を明確に理解し, 区別できる。 新規登録の申請について学ぶ。 保安基準を理解する。 分解整備事業について理解できる。 自動車ファイルについて学ぶ。 凡例問題を含めて確実な知識とする。 各種登録について明確な知識とする。	期末考査 【技能】 【知識・理解】
9	灯火装置	点検, 整備, 検査 自動車整備事業 概要 明るさ, 色 照明機器 灯火回路	公道を走行する自動車の基準について明確な知識とする。 点検整備記録簿について詳細に熟読し確実な知識とする。 灯火装置の概要と必要性を考え学習する。 照明機器, 標識機器, 信号機器について分類分けして考える。 安全基準の明るさと色について学習する。 構成部品について現代の傾向と併せて考える。 自動車配線の仕組みを知る。	学習活動の観察 【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【技能】 確認小テスト 【技能】 【知識・理解】
10	燃料	石油の精製 燃料	石油の主成分を学び自動車のエネルギーを考える。 ガソリンの熱エネルギーを考察する。	練習問題 【技能】

11	潤滑剤	潤滑剤の目的 減摩 冷却	エンジン各部を潤滑する目的について考え学習する。 油膜について学習する。 摩擦熱の減少と吸収から冷却を考える。	【知識・理解】 ノート提出 【思考・判断・表現】 【技能】 【知識・理解】
		緩衝 防錆 密封 清浄 潤滑剤の種類 中間考査	圧力分散を考察する。 空気、水分の接触について考える。 潤滑油の機密性を考える。 洗浄作用の理由を考える。	中間考査 【技能】 【知識・理解】
12	燃料装置	計器	計器の種類について学習し、計器の構成部品を学ぶ。 計器の構造・機能・整備について学ぶ。	【知識・理解】
		ホーン	ホーンの概要を考え、ホーン等の構成部品について学習する。 ホーンの種類について学習し、計器の構成部品を学ぶ。 計器の構造・機能・整備について学ぶ。	
12	燃料装置	暖冷房装置 系統 点火 制御 コモンレール	冷暖房装置の構成部品について学習し、構造を考える。 燃料系統の構成部品について学習し、種類について理解する。 高電圧発生原理を考え理解できる。 各種フィードバック機構を考える。 コモンレールについて学習し、環境性能を考え学習する。 インジェクタの動作について学ぶ。	【知識・理解】
		センサ 期末考査	フースト圧センサ、吸気温度センサについて学ぶ。	
1	認定試験に向けて		認定試験について「傾向」を掴み合格に向けて学習する。 副教材の問題集を学習しながら、教科書で問題を確認し、学習する。	学習活動の観察 【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【技能】 練習問題 【技能】 【知識・理解】 ノート提出 【思考・判断・表現】 【技能】 【知識・理解】 学年末考査 【技能】 【知識・理解】

4 評価の観点

関心・意欲・態度	自動車工学に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につける。
思考・判断・表現	自動車工学に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。
技 能	自動車工学の分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、物作りを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知 識 ・ 理 解	自動車工学の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。

5 評価の方法

【関心・意欲・態度】、【思考・判断・表現】、【技能】および【知識・理解】の4観点から総合的に評価する。また、提出物および小テスト、定期テストにより理解度を把握し、評価する。
--

6 担当者からのメッセージ

日頃から、自動車の形状や構造に関心を持ち、環境や産業、技術や工業の発展、加えて生活とのかかわりを考えていると興味や理解が深まると思います。また整備士国家資格取得に向けて意識改革して授業に臨んでください。

令和4年度 自動車科「自動車整備」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	自動車科 3年 C組
教科書	実教出版 自動車整備	副教材等	3級自動車ガソリンエンジン/3級自動車ジーゼルエンジン/3級自動車シャシ/法令教材 (社団法人日本自動車整備振興会連合会 出版)

1 学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、自動車の性能の維持、快適で安全な走行及び環境汚染の防止に必要な資質・能力を育成する。

自動車における構造強度や機構、自動制御・電氣的制御の基礎を学習する。強度計算や、構造体の種類、また基礎的な電気部品や論理回路、コンピュータプログラムによる機器の制御を実習形式で学習する。学習した技術を応用するなど理論と実際を総合的に学習する。また、他の科目で学習した工業や自動車に関する知識や技能を十分に活用して、様々な事象を科学的・工学的に観察・考察することを習慣づけ、地域で活躍できる能力と態度を育て、かつ「協力・責任・勤労」など整備士として望ましい態度や習慣を身につける。

2 重点目標

自動車に用いられている様々なコンピュータプログラムの手法を理解する上で、ライトレースカーに関するプログラムを作成する。同時にモーターの特性や自動車の運動性能についても検証する。自動車の強度について学習するにあたり「はり」の強度について学習し、重量の低減と強度の向上を両立するモデルを設計・製作する。また、実験結果を検証し、考察することで思考能力を高める。

3 学習の計画

ローテ	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
	3グループ3ローテーションとして実施			
1	ライトレースカーの設計製作と性能評価	ライトレースカー制御用基板の製作	ライトレースカー制御用基板の製作を通して2年次「自動車整備」で学習した電子回路について習熟する。	学習活動の観察 【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【技能】 【知識・理解】
		モーター制御プログラムによる制御用基板の動作確認	モーターの回転制御のプログラムを用いて制御用基板の動作確認をする。	実技試験・作品製作・実習報告書 【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【技能】 【知識・理解】
		モーターの性能測定	モーターの性能測定を行い、性能線図を作成する。性能線図の読み取り方を学習し、その特性を理解すると同時にエンジンの性能特性との違いも理解する。	【技能】 【知識・理解】
		ライトレースカー車体の設計製作	モーターの特性を理解した上でギヤ比の選定、駆動方式、重量配分、センサー位置等の設計を行い、ライトレースカーを製作する。	
		基本プログラムの作成	ライトレースカーに制御用基板とセンサーを取り付け、作成した基本プログラムを入力してテストコースを走行させる。	
		応用プログラムの作成およびライトレースカーの車体改良	基本プログラムによるテストコース走行を観察し、基準タイム以内に完走できるようにプログラムと車体の改良を行う。	
		実技試験	実技試験としてタイムレースを行い、書き込みソフト(PICプログラマ)の使い方を含めてプログラミングとハードウェア制御の全般について、2年次「自動車整備」学習したプログラミングについて習熟する。 同時に車体改良を通して、自動車の構造・原理に関する理解を深める。	

2	車両類似構造物の強度設計（橋梁模型の設計製作）	<p>はりの曲げ応力と剪断応力</p> <p>断面係数</p> <p>構造体</p> <p>橋梁模型製作</p> <p>実技テスト</p>	<p>応力の概念と種類について実験を通して学ぶ。</p> <p>はりの種類とはりにかかる力について実験を通して学ぶ。</p> <p>曲げモーメントについて実験を通して学ぶ。</p> <p>曲げモーメントの分布について実験を通して学ぶ。</p> <p>断面形状による関わりについて学ぶ。</p> <p>断面形状による影響について実験を通して学ぶ。</p> <p>自動車の車体の構造について学ぶ。</p> <p>自動車以外の構造体（橋梁・タワー等）について学ぶ。</p> <p>はりの曲げ応力、剪断応力の大きい橋梁模型を設計製作する。</p> <p>破壊が起こるまで橋梁模型の耐荷重試験を行い、破壊された部分を観察することで、どこにどのような応力が加わっていたのかを分析・考察する。</p> <p>基準値を超える耐荷重となるまで橋梁模型の設計製作を繰り返すことで強度設計に習熟し、応力、構造体についての理解度を深める。</p>	
3	自動車リンク機構（実車の運転操作とリンク機構の設計製作）	<p>実車の運転と操作によるリンク機構の動作確認</p> <p>リンク機構の種類と動作理論</p> <p>模型製作と動作確認</p> <p>課題製作</p> <p>実技試験</p>	<p>フォークリフトの運転操作を通して旋回時に発生する外輪差、内輪差について理解する。</p> <p>トーイングトラクタによる運転操作（牽引作業）を通して機械の運動の伝達、変換方法について理解する。</p> <p>自動車の各部に使用されているリンク機構およびその他の機械リンク機構の動作理論について学ぶ。</p> <p>自動車に使用されているワイパー、ステアリング、サスペンションの各リンク機構を模型で再現し、その動作理論について理解する。</p> <p>課題となる動作を再現するリンク機構を設計し、模型を製作して動作確認する。</p> <p>再びフォークリフトおよびトーイングトラクタの運転操作を行い、リンク機構の動作について理解を深める。</p>	

4 評価の観点

関心・意欲・態度	コンピュータなどによる自動制御、リンク機構とその動作、応力と構造体など、自動車整備に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	コンピュータなどによる自動制御、リンク機構とその動作、応力と構造体など、自動車整備に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技能	コンピュータなどによる自動制御、リンク機構とその動作、応力と構造体など、自動車整備に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	コンピュータなどによる自動制御、リンク機構とその動作、応力と構造体など、自動車整備に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。

5 評価の方法

<p>各パートで実施する実習・実験に対する取組む姿勢や、実習報告書・作品等の提出物または試験（口頭・実技・筆記）から【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】【技能】【知識・理解】を総合的に判断し評価する。</p> <p>ただし、評価においては全パートを通して判断するため、特定のパートにおいて実習報告書・作品等が未提出、または試験に不合格の場合は欠点とする。</p> <p>また試験は定期考査と関係なく各パートの終了時に行うこととする。</p>
--

6 担当者からのメッセージ

<p>作品の完成期限やレポート等の提出期限は必ず守ってください。</p> <p>どの単元でも構造や原理が重要になってきます。2年次までの授業内容をしっかり復習して授業に臨んでください。</p>
--

令和4年度 商業科「課題研究」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	情報処理 科 3年D組
教科書	なし	副教材等	班によっては必要な場合あり

1 学習の到達目標

商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図る。
問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

2 重点目標

目標設定した資格の取得とプレゼンテーション能力の向上を目指す。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	課題研究の主題の設定		1クラスを数班に分けて、担当教諭4～5人がそれぞれの指導に当たる。 4月当初に生徒の組み分けを行う。	課題研究日誌 グループごとに課された課題
5	年間計画の作成		商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図るよう、自発的に学習を進める。 年間の学習計画を作成する。	課題研究日誌 グループごとに課された課題
6	各グループによる課題研究の実施		各グループによる課題を行い、自発的に学習を進める。	課題研究日誌 グループごとに課された課題
7	各グループによる課題研究の実施		各グループによる課題を行い、自発的に学習を進める。	課題研究日誌 グループごとに課された課題
9	各グループによる課題研究の実施		各グループによる課題を行い、自発的に学習を進める。	課題研究日誌 グループごとに課された課題
10	各グループによる課題研究の実施		各グループによる課題を行い、自発的に学習を進める。	課題研究日誌 グループごとに課された課題

11	各グループによる 課題研究の実施 研究報告書の作成		各グループによる課題を行い、自発的に学習を進める。 研究報告書の作成。	課題研究日誌 グループごとに課 された課題 研究報告書
12	各グループによる 課題研究の実施 研究報告書の作成		研究報告書の作成。	課題研究日誌 グループごとに課 された課題 研究報告書
1	研究報告書の作成 発表		研究報告書の作成。 全体での課題研究発表会	課題研究日誌 グループごとに課 された課題

3 評価の観点

関心・意欲・態度	ビジネスに関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。
思考・判断・表現	ビジネスに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。
技 能	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知 識 ・ 理 解	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、ビジネスの意義や役割を理解している。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

この授業は、自ら課題を設定し、自分から進んで学習する科目です。そのため講義形式の授業ではありません。毎時間休まず出席し、課題解決に向けた学習への取り組み姿勢が非常に大切です。

令和4年度 商業科「総合実践」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	情報処理 科 3年D組
教科書	新版総合実践 (実教出版)	副教材等	ビジネスコミュニケーション (実教出版)

1 学習の到達目標

商業の各分野に関する知識と技術を実践的活動を通して総合的に習得する。
ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行う能力と態度を育てる。

2 重点目標

- ・始業前に授業場所に着席をし、始業と同時にきちんとした挨拶をおこない、ビジネスにおける時間厳守の態度を修得する。
- ・様々なビジネスシーンに応じたビジネスマナーを習得する。
- ・売買取引で必要な最低限の知識と実務を習得する。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1編 「総合実践」の基礎 第1章 「総合実践」の学習にあたって	・オフィスの仕事と「総合実践」の学習 「総合実践」の学習上の心得	学習目標と内容や学習方法、授業を受ける上での身だしなみについて確認する。	授業態度 学習意欲・授業態度
			今までに学んだ商業の知識や技術を十分に生かしながら、学習を進める	
5	第2章 応対の心得	マナーの基本	応対の一般的心得について学習する。 話しかたと言葉づかいを身につける。 来客との応対や電話による応対について、正しい言葉づかいを実践的に学習する。	実習状況・提出物
			ビジネスマナー	
6	ビジネス関連知識 1	コミュニケーションの役割 コミュニケーション能力の向上	企業内のコミュニケーションを学ぶとともに、職場の人間関係やチームワークの必要性について学習する。	授業態度 学習意欲・授業態度 実習状況・提出物
			企業外とのコミュニケーションを学ぶとともに、効果的な交渉を進める話法とうについても学習する。	
7		面接練習 期末考査	就職試験対策を兼ねたビジネス関連知識や、面接の方法について学習する。 面接練習	考査得点・出席状況
9	ビジネス関連知識 2	面接練習	就職試験対策を兼ねたビジネス関連知識や、面接の方法について学習する。	授業態度 学習意欲・授業態度
10	第2編 「基本取引」 第1章 取引開始にあたって 第2章仕入取引 同時同業法による 基本取引	仕入取引	同時同業法による取引演習の必要事項を確認する。 文書および商品の流れについて、学習する。	実習状況・提出物
			同時同業法による仕入取引について学ぶ。 値段の問い合わせや商品の発注、商品の受け取り、代金の支払いについて、それぞれの文書を作成しながら学習する。	

11	第3章 販売取引	販売取引	同時同業方による仕入取引について学ぶ。 文書および商品の流れ、値段の見積もり、商品の受注、商品の発送 代金の受け取りについて、それぞれの文書を作成しながら学習する。	授業態度 学習意欲・授業態度
12	第4章 取引のまとめ (会計処理)	会計処理	諸経費の支払いや伝票の集計と転記、決算業務について学習する。	実習状況・提出物
		期末考査		考査得点・出席状況
1	ビジネス関連知識 3	学年末考査	社会人としての一般常識について学習する。	授業態度 学習意欲・授業態度 実習状況・提出物 考査得点・出席状況

4 評価の観点

関心・意欲・態度	自分の意見や考えを的確に表現できている。仕事に関心を持ち、常に考えるという態度がある。進んで学習しようとしている。
思考・判断・表現	実際の企業で仕事に従事するために必要な資質を身につけている。また、ビジネスに必要な表現力を身につけている。
技 能	同時同業法による取引の流れを理解している。
知 識 ・ 理 解	商業の各分野における基礎的・基本的な知識を身に付け、総合的に活用することの意義や必要性について理解している。

5 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

説明をしっかりと聞き、その後、自分で実践していくようにして下さい。分からないところは、そのままにしないで質問をするようにして下さい。実習をしっかりとやることによって、理解が深まっていくと思います。
--

令和4年度 商業科「経済活動と法」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	情報処理科 3年D組
教科書	経済活動と法 (実教出版)	副教材等	経済活動と法 問題集 (実教出版)

1 学習の到達目標

ビジネスに必要な法規に関する基礎的な知識を習得し、経済社会における法の意義や役割について理解する。
経済事象を法的に考え、適切に判断して行動する能力と態度を育てる。

2 重点目標

法の必要性和役割を理解し、自己の意見を発表できる力を養う。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	第1章 経済社会と法	1 変化発展する経済社会と法	経済活動の円滑な流れは、法によって行われていることを理解する。 道徳・慣習・宗教上の戒律などの特徴をとらえ、法と比較しながら、法の本質を明らかにする。	授業態度観察 提出プリントの分析
	第2章 権利・義務と財産権	1 権利・義務とその主体 2 物と財産権 中間考査	権利・義務の主体としての自然人及び法人について理解する。 物件の対象としての物の概念と範囲を理解する。	提出ノートの評価分析 指名による質問の解答分析 定期考査の解答分析
6 7	第3章 財産権と契約そしてその保護	1 財産権と契約 2 物の売買 3 物の貸借 4 契約によらない財産権の変動" 期末考査	契約と財産権のかかわりについて理解する。 売買と貸借に伴う法律上の決まりについて理解する。 売買と貸借については我々の生活に密着しているため、具体例を挙げることで理解を深める。 契約・相続以外に、権利関係を変動させる制度である時効について理解する。 時効は、なぜ制度として存在するのか、その存在理由を考える。	提出プリントの分析 提出ノートの評価分析 授業態度観察 指名による質問の解答分析 定期考査の解答分析
	第3章 財産権と契約そしてその保護 第4章 企業活動に関する法	5 財産権の保護 1 企業活動の主体 2 営業活動の自由と制限 3 株式会社と法 中間考査	権利者が自己の財産を守るためにどのような対応をすればいいのかを理解する。 財産権の中で、物権にはその侵害に対して物権的請求権が認められるが、比較的身近な事例を多く示すことによって、具体的な知識・理解を得る。 商人とはどのような者をいうか、商人概念を理解する。 営業自由原則について理解する。 商人となりうるのは自然人と法人であることを明らかにする。 サービス産業の内容について理解する。 営業自由の原則の制限を整理する。	授業態度観察 提出プリントの分析 指名による質問の解答分析 提出ノートの評価分析 定期考査の解答分析
9 10	第3章 財産権と契約そしてその保護 第4章 企業活動に関する法	5 財産権の保護 1 企業活動の主体 2 営業活動の自由と制限 3 株式会社と法 中間考査	権利者が自己の財産を守るためにどのような対応をすればいいのかを理解する。 財産権の中で、物権にはその侵害に対して物権的請求権が認められるが、比較的身近な事例を多く示すことによって、具体的な知識・理解を得る。 商人とはどのような者をいうか、商人概念を理解する。 営業自由原則について理解する。 商人となりうるのは自然人と法人であることを明らかにする。 サービス産業の内容について理解する。 営業自由の原則の制限を整理する。	授業態度観察 提出プリントの分析 指名による質問の解答分析 提出ノートの評価分析 定期考査の解答分析

11 12	第5章 取引に関する法	1 手形・小切手と法	営利社団法人としての株式会社の法的意義を理解する。 手形・小切手について法律上の要件と制度について理解する。	授業態度観察 提出プリントの分析 指名による質問の解答分析 提出ノートの評価分析 定期考査の解答分析
		2 金融取引	手形・小切手の基礎的知識を確認する。	
		期末考査		
1	第6章 企業の責任と法 発展学習	1 法令遵守	市民の生活を守る法律の存在について理解する。 特殊売買の性質などを「生活の知恵」として理解する。 消費者信用については、これから社会人を目指す若い高校生にとって必須の生活の知恵であるため、しっかりと理解する。 労働に関する一般性としての民法上の諸規定を理解する。 労働に関する特別法としての労働三法を理解する。 親族の範囲など戸籍を含めてその法律関係を理解する。 夫婦の法律関係について婚約・結婚から離婚・死別までの種々で適用される法律について理解する。 親と子の法律関係に適用される法律について理解する。 人の死亡に伴う財産の整理のあり方について学習し理解する。	授業態度観察 提出プリントの分析 指名による質問の解答分析
		2 消費者と一かしい消費者であるために		
3 労働と法	労働に関する特別法としての労働三法を理解する。	提出ノートの評価分析		
4 家族と法	親族の範囲など戸籍を含めてその法律関係を理解する。	定期考査の解答分析		
		学年末考査		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	経済生活やわれわれの市民生活が安定的に営まれることは、法の存在による「法化社会」であるからである。従って、法の知識、法的思考が生活上必須のことであることに関心を持ち、意欲的に学習しようとするか。
思考・判断・表現	ある事象の解釈について、また条文についてなどの生成過程や立法の趣旨を論理的に思考し、どう判断しとらえることができるか。
技 能	新聞記事などを通してそれらのことが「法化社会」でどのように扱われ、条文と関連できるか具体的にとらえることができるか。
知 識 ・ 理 解	経済活動や市民生活のあるところ法あり、と実感し理解することが知識の裏づけをもってないうるか。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」, 「思考・判断・表現」, 「技能」, 「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>授業前に教科書や問題集、ノートを机の上に準備すること。</p> <p>提出物は、期日を守り必ず提出すること。</p> <p>自分の意見を活発に発言すること。</p>

令和4年度 情報処理科「電子商取引」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	情報処理科 3年D組
教科書	電子商取引 (実教出版)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を習得し、情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解する。

情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を身につける。

2 重点目標

Webページの作成方法や、表現方法についての知識を身につける。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 情報通信技術の進歩とビジネス	1. ビジネスの変化	情報通信技術の発展が、ビジネスの形態や広告・広報活動をどのように変化させてきたかを学習します。	発言内容 ワークシート
5	第2章 コンテンツの制作	2. 情報通信ネットワークの活用と課題	通信ネットワークを担う企業の役割と業務、個人情報や知的財産権の保護と重要性について学習します。	発言内容 ワークシート 実習作品
		1. ファイルの形式	図形・静止画・動画・音声などのファイル形式やその特徴について学習します。	
		2. 図形	基本図形や組織図、グラフの取り込みと編集方法を理解し、図形情報の効果的な利用法を学習します。	
6		3. 静止画	静止画データの取得方法やこれを活用するための技法を学習します。	中間考査 考査問題に対する 解答点数
		4. 動画	動画データの取得方法やこれを活用するための技法を学習します。	
		5. 音声	音声データの取得方法やこれを活用するための技法を学習します。	
7		6. 情報の統合	情報を統合することの意義や役割について理解するとともに、情報を統合するための技法を学習します。	考査問題に対する 解答点数
9	第3章 ウェブデザインと 広告・広報	1. ウェブページ制作までの手順	ウェブページを制作するための手順について学習します。	発言内容 ワークシート 実習作品
10		2. ウェブデザイン設計	ウェブデザインの意義や役割について理解させるとともに、デザインの基礎的な知識を学習します。	考査問題に対する 解答点数
		3. ウェブページ制作の基礎	HTMLの基本的なタグやスタイルシート (CSS)、JavaScriptの利用方法を理解するとともに、ウェブページ作成ソフトウェアやワープロソフトウェアを利用する方法で、ウェブページを作成する基本的な技法を学習します。	
		4. ウェブページ制作の応用	CMSの意義や役割について学習します。	
		中間考査		考査問題に対する 解答点数

11	第4章 ウェブページの公開	1. ネットワーク機器の種類と機能	通信ネットワークの仕組みや役割について理解させるとともに、ウェブページを管理・運営するために必要なネットワーク機器の基本的な知識を学習します。	発言内容 ワークシート 実習
12		2. 公開の方法	ウェブページを公開するための手順について理解させるとともに、インターネットの基礎的な知識を学習します。	
		期末考査		考査問題に対する 解答点数
1		1. 電子商取引のしくみ 学年末考査	電子商取引の意義や役割について学習します。	発言内容 ワークシート 考査問題に対する 解答点数

4 評価の観点

関心・意欲・態度	ビジネスにおける電子商取引の必要性に気づき、商取引に情報通信技術を活用しようとする意欲を持って、電子商取引システムの構築に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしている。
思考・判断・表現	電子商取引システムを構築するために、目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用したり、顧客の立場に立ったデザインに加工する工夫を行うとともに、分かりやすい情報発信ができる。 知的財産権を意識したウェブデザイン設計を行うことができる。
技 能	図形や静止画、動画、音声などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用および、ウェブページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用して電子商取引システムを作成できる。
知 識 ・ 理 解	ビジネスにおける電子商取引の意義や役割を理解するとともに、ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や分析、企画・立案、制作、公開の手法を身につけている。

5 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

実習を伴う授業のため、毎時間きちんと出席し、授業に取り組むことが大切です。また、実習作品やワークシートなどの提出物は、必ず期限内に提出するようにしてください。

令和4年度 「ビジネス基礎」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸・自動車科 3年ABC組
教科書	ビジネス基礎 新訂版 (実教出版)	副教材等 学習進度に応じて必要なプリントを教員側が用意する。	

1 学習の到達目標

複雑で多様なビジネス社会を見る目を養い、常に大きく変化する社会の将来を見通す力を身に着ける。社会は多種多様の仕事を行う人々で成り立ちどのような仕事をし、社会が成り立っているのかを理解する。

2 重点目標

ビジネスの基礎用語とマナーを身に付け社会に出て即戦力となれるようイメージをしながら授業に取り組む。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	1章 商業の学習ガイダンス	1節 21世紀にはばたく	ビジネスはどのような世界かを学ぶ。	中間 考 査
5	2章 経済と流通の基礎	1節 経済のしきみとビジネス	経済活動の基本的考え方、ビジネスの役割について学ぶ。	
6	3章 ビジネスの担い手	2節 経済活動と流通 1節 ものの生産者 2節 サービスの生産者	生産者の役割と種類について学び、生産者は今後どのように変わっていくのかを考察する。	
7		3節 小売業・卸売業・物流業・金融業・情報通信業	それぞれの業種の役割と、業種の中でどのような種類があるのかを学ぶ。今後の各業種の変化を考察する。	期 末 考 査 課 題 平 常 点

9	4章 企業活動の基礎	1節 ビジネスと企業 2節 企業活動と税 3節 企業倫理	企業の組織、目的、種類について学ぶ。 企業が納める税金と納め方について学ぶ。	中間考査
10	5章 ビジネスと売買取引	1節 売買取引の手順 2節 代金決済	企業に求められる倫理観を学ぶ。 企業間の売買取引とふだんの買い物の違いを考察し、売買取引に用いる文書を学ぶ。	
11	6章 売買に関する計算	1節 売買計算の基礎 2節 売買計算の応用	代金の支払い方法について学ぶ。 割合、利益額、仕入原価の計算を学ぶ。 度量衡、外国貨幣の換算・利息の計算について学ぶ。	
12				期末考査 課題 平常点
1	7章 ビジネスとコミュニケーション	1節 コミュニケーションの役割	コミュニケーションにはどのような種類があるのかを学ぶ。	学年末考査 課題 平常点

4 評価の観点

① 関心・意欲・態度	経済と流通のしくみや企業・売買の意義と役割について関心を持ち、基礎知識を吸収しようとしているか。
② 思考・判断・表現	基礎知識を社会生活の中で、活用・応用して将来各自の進路と関連させながら思考、判断を行っていけるか。
③ 技能	社会の動向に反応し情報収集を積極的に行い、それに対して自分の考えを持ち相手に伝えることができるか。
④ 知識・理解	実務で必要とされる知識や常識を習得できているか。ビジネス活動に関する用語の意味を理解しているか。

5 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

「ビジネス基礎」は実社会での実務基礎や社会人として身に付けておくべき事まで幅広く学習するので将来の進路と関連付けて理解を深めてください。また授業は緊張感と3年生としての自覚を持って取り組んでください。